

hiroba ひろば

Number 92
2019 December



ARC2019

作品集



建築士事務所憲章

建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。

- 一 誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
- 一 健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産の形成を図ります。
- 一 自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽します。
- 一 設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
- 一 互いに信頼を深め、連帯の精神をもって職務を全うします。

平成20年5月

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会
(平成25年4月1日一般社団法人に名称変更)

社団法人 北海道建築士事務所協会は、本憲章を誓約する建築士事務所を会員とする法定団体です。

平成21年1月

一般社団法人 北海道建築士事務所協会
(平成25年1月4日一般社団法人に名称変更)



〈一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会シンボルマーク〉

“建築”の基本構成である“塊”、“面”、“線”の3つの普遍的要素をもとに構成し、“屋根の建築”といわれる日本建築のイメージを取り込み、柔らかな曲線によって、繊細な日本美を表現しました。

目次 CONTENTS

巻頭言 令和を迎えて

一般社団法人北海道建築士事務所協会 副会長・旭川支部長 重綱 博美…………… 2

第44回「北の住まい」住宅設計コンペ 映える【ばえる】…………… 4

最優秀賞に受賞して
 北海学園大学4年 三浦 光雅…………… 13
 北海学園大学4年 佐藤 拓未……………

平成30年度 北海道赤レンガ建築賞・北海道赤レンガ建築奨励賞…………… 15

平成30年度 高校生建築デザインコンクール…………… 22

第43回建築士事務所全国大会（福島大会）…………… 31

栄誉を称えて…………… 34

各支部からのおたより…………… 38

札幌支部 岡田 幸生	函館支部 佐藤 公郎	桧山支部 大古 正平
後志支部 佐藤 裕	小樽支部 中野 隆二	空知支部 中田 信広
名寄支部 筒井 正敏	留萌支部 荒谷 順一	室蘭支部 半崎 敏裕
十勝支部 小野寺一彦	釧路支部 久保 伸裕	根室支部 田村 正範

2019 アクションレポート

- ・建築士事務所登録等事務の業務について…………… 51
- ・設計等の業務に関する報告書に係る事務について…………… 52
- ・改正建築士法業務報酬基準 講習会…………… 53
- ・建築士定期講習…………… 54
- ・管理建築士講習…………… 55
- ・震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針講習会…………… 56
- ・開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会…………… 57
- ・既存住宅状況調査技術者講習…………… 58
- ・建築士事務所キャンペーンについて…………… 59

平成31年度・令和元年度 委員会開催状況…………… 62

行政等への要望活動…………… 63

日本建築学会北海道支部 第39回北海道建築作品発表会

札幌市立大学デザイン学部教授 山田 良…………… 65

新入会員の紹介（平成30年12月～令和元年11月）…………… 67

令和元年度 一般社団法人北海道建築士事務所協会 役員・支部長・委員会名簿…………… 69

ARC 2019 建築作品集…………… 73

編集後記…………… 98

広報委員会委員 宮房 晋矢……………

令和を迎えて

一般社団法人北海道建築士事務所協会

副会長・旭川支部長 重 綱 博 美



本年5月1日に徳仁天皇が即位され、「令和」が始まりました。新元号には「世界が調和され、平和が永遠に達成される」というメッセージや「人々が美しく心を寄せあうなかで文化が生まれ育つ」などの意味が込められていると言われていています。10月22日は即位礼正殿の儀として、本年限りの祭日となり世界に記すべく各国から来賓を迎え皇位の継承を国内外に示されました。新しい時代の始まりです。

令和が始まってまだ半年あまりですが様々な事がありました。近年、我が国では西暦と和暦の両用にやや混乱が生じ、新元号を機に西暦化を進める機運もありましたが、令和が始まると多くの公文書でこれまでの通り和暦が使われ、やはりなじみやすいと感じています。そこに私たちの独自性を見ることが出来ると思います。日本人の特徴として「礼儀正しい」「おとなしい」「温厚」「他国の流行や文化に積極的」「集団行動を重視」「周りの人に合わせる」「本音と建て前がある」「自己表現が苦手」等とされています。私たちの国は島国で、孤立言語と言われる日本語を概ね母語とし、鎖国を行った歴史や狭い国土でたびたび起きる大きな災害を乗り越えて今に至っています。そして私たちの国は、先人のたゆまぬ努力や私たちの国民性を持ってとても豊かで四季あふれる美しい国であり続ける事が出来ました。また類い希なる向上心をもって、これまで夏冬のオリンピックや万国博覧会、サッカーのW杯など世界的なイベントや数々の国際大会を経験しました。その力は、主要国以外で、はじめて開催されたラグビーW杯でも大いに発揮されました。日本代表の快進撃と共にジェントルマンシップとノーサイドの精神は、私たちの感性に共鳴するスポーツであり、非常に多くの人々がラグビーに興味を持ち今年最大の社会現象となりました。また開催会場や参加国のキャンプ地では、日本の「おもてなし力」が、とてもほほえましい交流として連日世界に発信され、日本への興味を深める事となりました。令和の意味は、私たちが持つアイデンティティーなのだと思います。また、ラグビーW杯の期間中にはF1日本グランプリも開催されるなど世界的なイベントが同時に行われる、なんとも贅沢な国です。

一方、我が国は災害が多い国であり私たちは昨年、胆振東部地震やその後の全道に及んだブラックアウトに襲われ、今年是全国で台風被害が多発し、今なお避難生活を送られている方々も多数います。温暖化の影響なのか、災害規模は年々大きく気候自体も特異変化しているようにも感じられます。被災地には多くのボランティアが活躍され、先のラグビー W 杯カナダチームが、試合が不能となった釜石でボランティア活動された事が話題となり、共に思いやる気持ちやおもてなしの心は、たとえ言葉が通じなくとも人を動かす力があることも知りました。しかし、台風 15 号の被害が大きかった千葉県は、首都圏に有りながら長らく停電が続くなど先進国のそれとは思われず、我が国のインフラの脆弱性も感じる事となりました。

今年の日事連全国大会は、福島で「七転び・八起き」～福島からのメッセージ～をテーマに行われました。本大会は本来 2011 年に行われる大会でしたが、東日本大震災により中止となり本年、復興をテーマに行われました。大会に向けて、宮城・岩手などを回り福島をはじめ、東北各県が皆さんの力により、目覚ましく復興する姿を拝見し敬服する大会となりました。宮城県の女川町も震災では甚大な被害があり多くの尊い命が失われました。町は復興推進課を設け復興に力を注ぎ、JR 女川駅やシーパルピア女川など新しい観光施設や住宅の高台移転など、目覚ましい復興や新たな来訪者に建築の持つ大きな力を見ることが出来ました。一方で災害はそれまでに刻まれた歴史や文化も飲み込み、同じ過去には戻れない現実も見せつけられました。私たちは、手がけている建築が過去を未来につなげて行くものであることも忘れずに、この職責を果たして行かなければなりません。

さて、私たちの業務の現状はどうでしょうか。国が提唱する働き方改革が、本年度より施行され「長時間労働の是正」と「生産性向上」が掲げられており、多くの業界で行われてきた長時間労働が減少に向う事は大変喜ばしいですが、建築業界を取り巻く労働者数は、建築系学校の縮小、若者の建築離れなどから特に若年層の低下が顕著であり、高齢者ほど多い逆ピラミッド型となっています。これは私たち北海道に限らず、全国的な状況となっています。少ない人材は、大都市部が新卒あるいは就労希望者の雇用の中心となっており、地方都市であればあるほど新しい雇用の機会が減っており、ほぼ皆無といった企業も多数ある状況です。簡単な解決策はありません。当事務所協会としても人材不足の危機感から物づくりに対する興味を小中学生からもってもらおうと様々な啓蒙を行っていますが、これからは外国人の登用も含め人材確保には多方面の取組を行う必要があります。協会が率先すべき事業と考えます。

私たち北海道の建築は世界的にも大変厳しい自然環境で作られてきた技術です。改正建築物省エネ法の公布や ZEH、ZEB の推進などに伴い、私たちがこれまで培ってきた省エネ技術は、国全体で取り組むものとなってきました。東京をはじめとする多くの自治体で省エネ住宅設計のためのマニュアル出版や解説がなされています。私たちは、この技術をデザイン性や多様性をさらに高めて行く必要があると考えます。建築によって暖房や冷房のエネルギーが多岐に渡る選択が可能で現在、良い建築の最適化には電気設備・機械設備との連携が不可欠であることは言うまでもありません。当協会では、業務の連携のために関連団体との協議を持っていますが、それをさらに進め研鑽を重ねることは時代の先を行くこととなります。北海道の食が世界から注目されてように、「令和」は北海道の建築デザインが地球温暖化防止の担い手として世界に発信し、また建築設計の魅力を伝えて行く時代として行きましょう。

課題 映える【ばえる】

わたしたちの日々の生活は、さまざまなモノやコトに溢れている。そのありようを工夫することで、これまで気にかけてこなかったモノやコトが、際立ち“映える”ことがある。

どのようなモノやコトが、どのような背景に対して、どのように“映える”ことで、わたしたちの生活が豊かになるのだろうか。さらに、その豊かさを、他人と共有することによって、何がもたらされるのだろうか。また、それは一過性なのか、継続するのか。

“映える【ばえる】”をテーマに、北の地を舞台にした現代のすまいを考えてほしい。

計画条件

- 北海道内の地域と敷地、住戸形式、家族構成等は自由に設定してください。

賞金

- 最優秀賞 25万円（1点）
- 優秀賞 5万円（2点）
- 奨励賞 2万円（4点）

締切

- 2019年8月19日(月) 持参の場合は16時必着。
なお、土曜日、日曜日は、受付できません。
郵送の場合は8月19日消印有効。

参加資格

- 一般、学生等を問いません。
- 北海道内居住者とし（学生・生徒は北海道内の教育機関に在籍している者に限ります）。
- 個人参加、グループ参加は自由です。

提出物

(1) 図面

作品名、設計趣旨及び設計意図を表現する図面（縮尺は自由）。図面には、氏名、記号、サインなどを記入しないでください。A1(841×594)サイズ一枚、横づかい。表現は自由です。ハレパネ又はスチレンボー

ド（厚さ5mm程度）などでパネル化してください。

(2) 返信用ハガキ

受付番号をお知らせするために使用しますので62円の官製ハガキに応募者の住所、氏名を記入して提出してください。

（官製ハガキ以外は、受付できません。）

(3) 応募用紙

応募作品の「作品名」と応募者の郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、所属先名（学生は、学校名・学年）、電話番号をA4版の用紙に記入して（形式は自由）応募作品とともに提出してください。

審査委員（委員は五十音順）

委員長 米田 浩志

北海学園大学工学部教授

委員 赤坂 真一郎

㈱アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役

委員 小澤 丈夫

北海道大学大学院工学研究院教授

委員 小西 彦仁

ヒココニシアーキテクチャ㈱代表取締役

委員 佐藤 孝

北海道科学大学名誉教授

委員 澤田 貞和

㈱日本工房代表取締役

委員 松田 真人

㈱都市設計研究所代表取締役

選考経過

①一次審査 (2019年8月26日～30日)

一次審査通過者の受付番号は9月6日(金)に主催者ホームページ (www.do-kjk.or.jp/) で発表します。

②二次審査 (2019年9月17日10:00～)

一次審査通過作品からベスト10を選出します。

③最終審査 (2019年9月17日13:00～)

二次審査通過作品 (ベスト10) から各賞 (7作品) を決定します。

最終審査は「公開審査」とし、ANAクラウンプラザホテル札幌23階白樺で行います。

入賞者発表

・2019年9月下旬

入賞者に直接通知するとともにホームページでも発表します。

入賞作品の展示等

①2019年10月21日(月)～10月25日(金)

大五ビル 6階ホール(札幌市中央区大通西5丁目11)

②2019年11月15日(金)～11月17日(日)

札幌地下街オーロラスクエア

・1次審査通過作品は、協会広報誌「ひろば」(12月発行)に掲載します。

また、最優秀賞の方には、同誌への寄稿をお願いします。

応募作品の著作権等

- ・応募作品の著作権及び版権は、応募者のものとします。ただし、この事業の趣旨に基づいて、主催者が図書の出版や、新聞、雑誌、その他に掲載又は啓発宣伝などに利用する場合は無償で認めるものとします。

第44回「北の住まい」住宅設計コンペ 入賞者名簿

最優秀賞 三浦光雅 北海学園大学4年
(共同作品) 佐藤拓未 北海学園大学4年

優秀賞 加持亮輔 株式会社 エスエーデザイン
オフィス一級建築士事務所

優秀賞 長谷川怜史 北海道大学大学院2年

奨励賞 舘 龍太郎 室蘭工業大学大学院1年

奨励賞 柳瀬祥太 室蘭工業大学4年
(共同作品) 川去健翔 室蘭工業大学4年

奨励賞 池田昇太郎 北海道大学大学院1年
(共同作品) 大伏玄泰 北海道大学大学院2年

奨励賞 田村 幹 室蘭工業大学4年

・応募作品は原則として返却しません (返却希望の場合は、事務局に相談してください)。

主催

(一社)北海道建築士事務所協会

後援

北海道

(一財)北海道建築指導センター

(一社)北海道建築士会

(公社)日本建築家協会北海道支部

(一社)日本建築学会北海道支部

(株)北海道建設新聞社



表彰式

最優秀賞

「霞む住まい 澄む暮らし」

三浦光雅 (北海学園大学 4年)
佐藤拓末 (北海学園大学 4年)

(共同作品)



「映える」という今回の投げかけに、作者は「霞む住まい 澄む暮らし」という美しく詩的な言葉でこたえてくれた。提案は、5層をなす塔状建築。中央に居室をもつRC造のコアがあり、その四周を半外部空間とし、階段やバルコニーがコアに巻き付くように配置されている。建物全体は、不規則なリズムで大小に割り付けられたフレームと、視覚的に透過性のある材料で覆われている。コアをなすRC壁は内側に傾斜し、半外部空間は上階にいく程大きくなる。一方、2階全体を半屋外空間として開放することによって、3階以上のRC造のコアは、空中に浮遊しているかのように見える。

敷地は、JR 銭函駅近くにある小樽市見晴町。海と山が近く、海岸沿に幅の狭い平地が東西に伸びる。この塔状建物は、南に迫る山と北に開ける海に対峙し、この土地独特の自然光、湿気、香り、風が織りなす四季と一日の変化に呼応することによって、まさに「霞む住まい」としてたち現れるであろう。そして、半外部空間には、日々の生活と、周囲をとりまく自然やまちの様相が直結した「澄む暮らし」が、楽しく浮かび上がる可能性が秘められている。

優れた空間構成、詩的なイメージと言葉を組み合わせた力作であるが、作者の言う「合理性」の解釈にやや疑問が残った。作者が言うように、建築を構成する「合理」と、それと相見えることによって生じる「映え」との相関関係については、より精緻で論理的な探求が必要であろう。

審査委員 小澤 丈夫

優秀賞

「場所と語らう家」

加持 亮 輔

株式会社 エスエーデザインオフィス一級建築士事務所



透き通る素材が建物の外周を張り巡らせ、内に行くほどに硬い壁へと幾重ものレイヤーがあり光、視覚、温度、音などのグラデーションがかかる、その間を行き来しながら周辺環境を感じ生活する場所を提案したものである。

断熱ラインが明確に内と外に分かれる現在の寒冷地住宅において、場所との関係が希薄になっていると作者は言う、そこにおいて多様なレイヤーは内外を曖昧にしつつも外部の環境と内部空間を美しく仕切り、それは様々なシーンをつくり出している。

傾斜屋根の天井の鏡面も内部の深くまで外部を映し込み多様な情景が展開され、まさに季節により、そして朝夕に様々な「映える」場をつくりだし、北の住まいに新展開を期待させる、ただし図式が強くこれを越える魅力的な建築的提案があればと思うが、優秀作品であるには違いない。

審査委員 小西 彦仁

優秀賞

「合わせ鏡の残像」

長谷川 怜 史

北海道大学大学院 2年



最近注目されている2拠点生活の提案です。東京と北海道、それぞれを楽しむ住宅の平面は、ひとつの長方形を凸凹線によって2分割したもので、合わせ鏡のように互いを補完し合う構成となっています。

小説風の文章や、線対称に表現された手描きドローイングによるプレゼンテーションは秀逸で、ライフワークバランスや過疎化の問題にも繋がる明快な提案は審査員を惹きつけました。

物語（ソフト）としての提案が美しいだけに、その先にある建築（ハード）にも同レベルの魅力を持たせることができれば、最優秀を十分に狙える強い作品になり得たのではないのでしょうか。

審査委員 赤坂 真一郎

奨励賞

「光彩の余剰」

館 龍太郎

室蘭工業大学大学院 1年



この作品は、シンプルな切り妻の半分には通常の住宅機能が収納され、残り半分には、住宅から張り出してきたデッキや階段が収納された大きなサンルームとして構成されています。このサンルームで、住宅部分で行われる生活を「映え」させ、例えば、夜間これらが光の中に浮かび上がる事で、個の生活が外部とつながっていくことを意図しています。

北海道では極めて一般的なサンルームの空間概念を拡張し、一見なんの変哲もない切り妻屋根の住宅に二つの空間を用意することで、新たな空間構成となっています。シンプルでスマートな扱いは、そのまま、実作品に転用できそうな可能性を感じさせるものです。

惜しむらくは、住宅からどういった行為がサンルームににじみだすのかのツッコミがやや不足しており、もっとぐちゃぐちゃした構成がシンプルなサンルームの中に展開しても良かったのではとの感想を持った作品でした。

審査委員 松田 真人

奨励賞

「Side 映え Side」

柳瀬 祥太 (室蘭工業大学 4年)
川去 健翔 (室蘭工業大学 4年)

(共同作品)



テーマ“映える【ばえる】”には、インターネット上で写真共有するSNSの「インスタ映え」からの捉え方もあろう。この作品「Side 映え Side」は、このネット文化の「映え」の解釈から生まれた虚実の空間提案であり、ネット世界とリアル世界を鏡による虚像と実像に重ねている。

部屋を見ると虚像の鏡壁に空けられた開口には、帰宅した家族が突然に現れる事もあり、虚像空間にリアルな日常が同居する。外壁は鏡張りで、道を挟んだ石積みの擁壁が映る。この虚像のファサードに開けられた窓からは、リアルな生活が映える。

ネット時代にあって、テーマに素直に対応した「リア充」作品である。

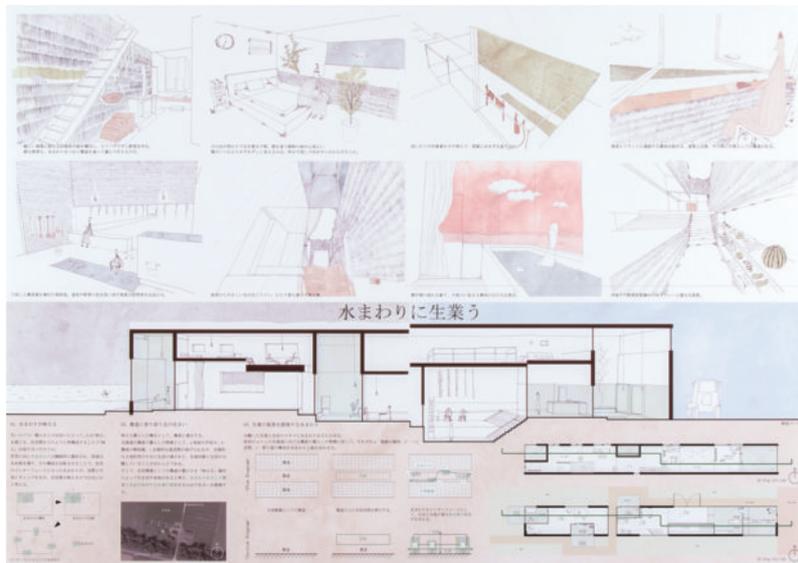
審査委員 佐藤 孝

奨励賞

「水まわりに生業う」

池田昇太郎（北海道大学大学院1年）
大伏 玄泰（北海道大学大学院2年）

（共同作品）



水まわりの集約を解体し、住宅の構図を変える試みを農家住宅で実現しようとした作品。農業と生活が共存する生業風景は、北海道らしい住まいへの試みで興味をそそられた。

敷地は平坦で広大な農地の一角である。広い農地に住宅と道路が幾何学的な模様を描いています。

しかし残念ながら住宅の構図が変わるところまで来ていない。北の住まいの可能性を感じたが、新たな魅力ある空間が出来ていない。農業景観を楽しむだけでなく農作業と生活が共存する楽しい場を作ってほしい。例えば、住宅と農業用水路との関係、雨水や地下水の利用、住宅排水の農業への利用などを手掛かりに、農業と生活が共存する場を加えることにより、さらに魅力ある空間になりそうである。そんな夢を与えてくれる好作品である。最後に住宅のスケールが少し大きいのでは。

審査委員 澤田 貞和

奨励賞

「重なる生活とノゾキアナ」

田村 幹

室蘭工業大学4年



この作品は、不思議なとてもユニークな住宅です。2階高さの平行な壁に対して直角方向の2階高さの9枚の壁（ガラス製の引き戸）が細長い部屋のような空間を仕切っており、この建具を開けたり閉めたりして、生活の要求に応えるという仕掛けです。建具の開け閉めと、ところどころにある格子状のルーバーが相まって、外から眺めると実に不思議な光景が生まれ、時には奥の森まで透けて見えるかもしれません。無機質な街並みに対してこの住宅を挟むことにより、生活がそして街が「映える」効果を生み出しているように思えます。

そして、このレイア状のガラススクリーンの間には屋根のない外部空間が挟まれており、良い季節には様々な行為が可能になりそうです。

一方で、とてもユニークであるために、「本当に街に開いてしまっても良いのだろうか？ 街から覗き込まれていいのだろうか？」という疑問も湧いてきて、プライバシーとパブリックの間の格闘がもう少しあってもよかったのではと思える作品です。

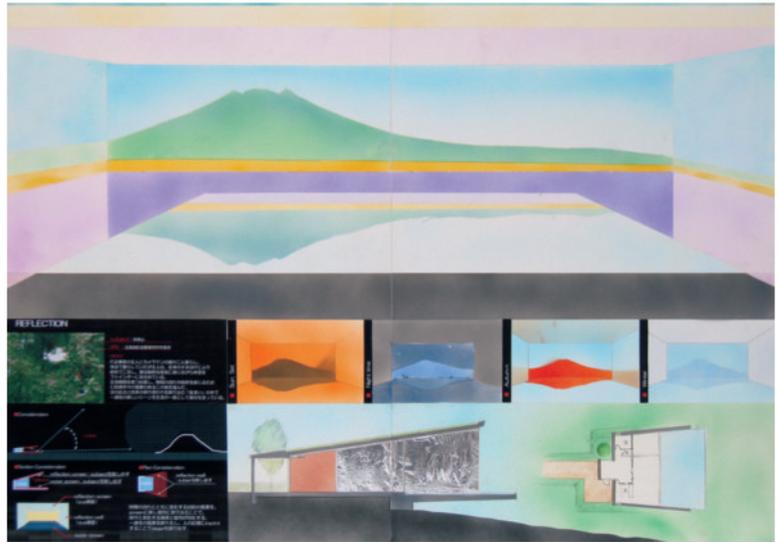
もしかして、住宅の置かれる場所がこの住宅にふさわしい場所があったのかもしれませんが、或いは、生活をガードする異種のスクリーンが住宅の中に挟まれても良かったのでは？

審査委員 松田 真人

2次審査通過作品

鎌田 晃 嘉

星槎道都大学 3年



山崎 巧 (室蘭工業大学大学院 1年)
浅野 樹 (室蘭工業大学大学院 1年)

(共同作品)



三浦 光雅 (北海学園大学 4年)
大橋 凜翔 (北海学園大学 4年)

(共同作品)



1次審査通過作品

岡本 凌

北海学園大学 4年



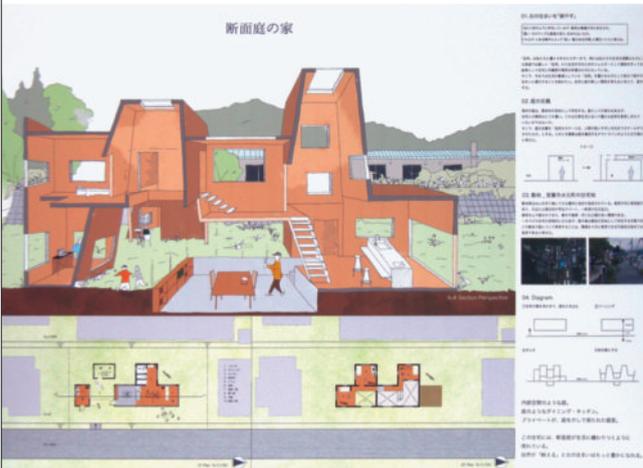
原田 芳貴

星槎道都大学 3年



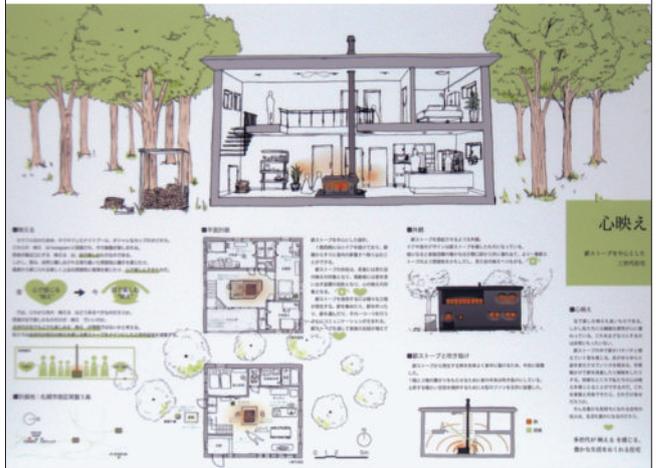
大西 将貴

室蘭工業大学 4年



石井 桃子 (札幌市立大学 4年)
久津 将和 (北海学園大学 4年)

(共同作品)



浅井 敬太

室蘭工業大学大学院 1年



蝦名 鍊 (室蘭工業大学大学院 1年)
吉住 佳子 (室蘭工業大学 4年)

(共同作品)



総 評

住宅を具体化する上で、何を最優先にするのか、その選択性は設計者のスタンスによって多様である。言うまでもなく、住宅は生活者のための器であり、その器に豊かさを与えるのが設計者の基本的役割である。その生活の目的性を前提としながらも、諸条件の組み立ての優先順位によって住宅の個性が生み出されていく。今回の課題タイトル、「映える【ばえる】」は、一見 SNS の表徴的なイメージを印象付ける用語ではあるが、この用語を通して、住宅の目的性を改めて問うたものである。「映える」を客観的にとらえると、「映える」ための「図」が、どのような背景としての「地」から生み出されるのか、その関係に着目できる。果たして、その「図」となるものが、生活なのか、建築なのか、あるいは建築の部分なのか、解釈は多様である。また、その「地」となるものが、生活なのか、建築なのか、あるいは建築の部分なのか、これも解釈は多様である。いずれにせよ、「図」に着目することによって必然的に「地」が生み出され、住宅の目的性を再確認できる機会であった。

今回、44 回目を迎える北の住まい住宅設計コンペの応募総数は 49 作品であった。総数としては近年において平均的な数である。8 月下旬に開催された 1 次審査において、各審査委員が 7 を持票として選出をおこなった。全投票において、1 票でも投じられたものが 1 次審査通過作品となった。今年は 16 作品が選出された。9 月 17 日に開催された 2 次審査会においては、16 作品から 10 作品を選出した。この 10 作品は、ベスト 10 入賞作品と位置付けられている。その後、同日午後には開催された 3 次（最終）審査会は、当日参加したオーディエンスを前に公開でおこなわれた。各審査委員から評価の視点を提示しながら、議論を重ね、投票を繰り返し、最優秀賞 1 点と優秀賞 2 点、奨励賞 4 点を決定した。

最優秀賞作品（三浦・佐藤案）は、初期の審査の段階から評価の高い作品であった。居住コアの外周部にアクティビティ空間を配置して生活の広がりを増幅させているのが特徴である。居住の純度が高いコアスペースと異なって、アクティビティ空間は生活の多様なシーンが展開できる空間であった。その空間を取り巻くファサードはランダムな木製格子によって包み込み、建築の輪郭を弱めながら生活そのものが「映える」建築形式を提案していた。完成度の高い作品であった。優秀賞作品（長谷川案）も、初期の審査から評価の高い作品であった。文学的なプレゼンを装いながら、現代的な住まい方が提案されていた。住宅を北海道と東京に構える二地域居住によって、生活の豊かさを新たに生み出すのと共に、相互の建築形式を合わせ鏡のように関係付けていた。生活と場所をどちらかに依存しながらも、片方の生活を残像として表出させたその着眼点は秀逸であった。場所の比較から生み出される「映え」のあり方はとても印象深かった。もう一つの優秀賞作品（加持案）は、北海道の気候風土とそこから生み出される現象に着目し、住空間にその特性を繊細に反映させていた。各方位における特徴を丁寧に読み込みながら、住空間に複数のレイヤーを配置していたのが特徴である。場所との対話は建築設計上必要不可欠ともいえる。その場所性を「映え」させながら、北の住まいのあり方に直接的に提案していた作品であった。奨励賞受賞作品 4 点もそれぞれ上位に劣らずユニークな視点を持った作品であったことも強調しておきたい。

このコンペの場において、「映える」ことの意味を、様々な作品を通して再考することができた。今まで様々な北の住まいのあり方が追求されてきたが、今後も将来に向けて絶えずアイデアが蓄積されていくことが予想される。このコンペは、可能性の追求そのものに重要な価値があると言える。SNS における「映え」は、刹那的なイメージではあるが、恒常的な建築においても偏在するものである。豊かな住環境を生み出すためにも、「映え」の探求は重要な意味を持つ。冬になると北海道は雪によって白一色になる。その中で、住まいが「映える」風景を幾度となく目にしてきた。北海道の住宅は、その雪景色との関係がすべてを物語っているのではないだろうか。

審査委員長 米田 浩志

コンペ最優秀賞に受賞して

第44回北の住まい住宅設計コンペ最優秀賞受賞者

三浦 光雅（北海学園大学4年）

佐藤 拓未（北海学園大学4年）

（共同作品）

第44回北の住まい住宅設計コンペにおいて最優秀をいただいた。今回の受賞に際して、この誌面に寄稿文を書く機会をいただいたので、受賞作品について、受賞の感想をお話出来ればと思う。

今回のコンペの課題タイトルは「映える」であった。これは応募者達にとって悩ましいものであっただろう。まず、映えるとはどのような状態を指すのか考える。すると、それは全て相対化された概念であり、別の何かとの差異によって生じる状態だと言える。例えば、人工と自然、実像と虚像、都市と個人など、建築的な関係性を再編するようなイメージが湧く。しかし、このイメージには大きな落とし穴がある。それは、前回のコンペの課題タイトル「場所を受ける」とどう違うのか説明がつかなくなるということだ。つまり、住まいに対する何かを緻密に分析した上で、それに依存することなく、新たな全体性を獲得するような提案が求められていると解釈した。

一方で、私たちが映えるという言葉から真っ先に思い当たったのはピントの調節である。写真の背景部分をぼかし、対象物をくっきりと浮かび上がらせる撮影技法の1つだが、これを建築的手法に置き換えることを試みた。住まいは住人が暮らすための背景だとすれば、住まいをぼかすことで暮らしが際立つのではないか。我々は建築を見るときにスラブがあって、そこにドアや窓が開いて、中に入ると家具が置いてあって…といった具合に、スケールの序列関係によって認識している。ならば、その関係性を等価に扱うことで建築物をぼかすことが出来るはずだ。

また、当然のことだが、北の住まいとして革新的な案であるかというのも指標の1つだろう。北海道の雄大で厳しい自然環境に対してどのように向き合うのか、受け身になるのではなく、住まいの方から発信していくような応答関係を築くことが豊かな生活を送ることに繋が

る。私たちは北海道の住宅に多く見られるサンルームに注目した。住宅にサンルームを設置することは環境工学的な観点から北海道の気候風土に対して有効であることは間違いない。しかし、実際は消極的な空間に留まっていることが多く、冬期に物干し場や倉庫として利用されるサンルームは反って陰湿な印象を与え、時には恐怖さえ感じさせる。これは住宅の端部にくっつけるような場当たり的な配置計画に起因している。もっと住人の生活習慣の流動性の中でサンルームをつくることは出来ないだろうか。

これらを踏まえ、居室の外周部に廊下や階段等の動線を巻き付けるように設置し、半屋外化する。そしてガラスの窓サッシに一定の幾何学的なパターンを与え、スラブや造作家具の輪郭を隠すことでスケールの序列関係が失われ、半屋外空間を流動するモノとコトが際立って見えてくる。スケールアウトした住まいの中でアクティビティに溢れる暮らしにピントが合う状態が完成する。さらに、この空間を最大限に有効活用するため、建築面積を出来る限りコンパクトにし、高さ方向にボリュームを拡張した塔型の住宅を提案した。住人が積極的に半屋外空間に飛び出し、周辺地域に対して生活の懐を垣間見せることで豊かな風景やコミュニティをつくるきっかけとなる。また、幾何学的なパターンで構成されたファサードが住宅に全く新しい全体性をもたらしている点もこの提案の魅力だろう。

今回の受賞に関しては、私たちが信じた北の住まいの在り方が間違っていなかったという自身に繋がった。しかし、それと同時に、多くの講評をいただく中で、この提案は未完成であることが浮き彫りとなり、まだまだ修練が足りないことを痛感した。北の住まい住宅設計コンペは北海道の建築に携わる者としてのカンを養う絶好の機会のように感じる。次回も多くの刺激的な作品が集まり、発見的な議論が展開されることを願う。



平成 30 年度	
北海道赤レンガ建築賞	上士幌町生涯学習センター わっか
北海道赤レンガ建築奨励賞	白糠町立庶路学園／白糠町認定こども園 庶路こども園

平成 30 年度 北海道赤レンガ建築賞

■主 催

一般財団法人 北海道建築指導センター
 一般財団法人 北海道建設技術センター
 公益社団法人 日本建築家協会北海道支部
 一般社団法人 北海道建築士会
 一般社団法人 北海道建築士事務所協会
 北海道

■趣 旨

地域社会の発展に貢献する創造性豊かな建築物等を表彰することにより、本道における建築創造活動を促進し、健全な地域文化の発展と広く建築文化に対する意識の高揚を進め、もって、地域に根ざしたまちづくりの推進などを図ることを目的とします。

■表彰内容

- ・北海道赤レンガ建築賞 1点 表彰状、銘板
 - ・北海道赤レンガ建築奨励賞 数点 表彰状
- 両賞とも、北海道知事が建築主・設計者・施工者を表彰します。

■募集対象

北海道内に建設され、平成 30 年 3 月 31 日までに竣工した建築物及び建築物群とします。ただし、住宅など個人の利用に限定されるものは除きます。

■募集期間

平成 30 年 8 月 1 日から平成 30 年 8 月 31 日まで

■応募作品数

20 作品

北海道赤レンガ建築賞実行委員会

一般財団法人 北海道建築指導センター
 一般財団法人 北海道建設技術センター
 公益社団法人 日本建築家協会北海道支部
 一般社団法人 北海道建築士会
 一般社団法人 北海道建築士事務所協会
 一般社団法人 北海道設備設計事務所協会
 一般社団法人 日本建築構造技術者協会北海道支部
 公益社団法人 日本建築積算協会北海道支部
 一般社団法人 建築設備技術者協会北海道支部
 一般社団法人 北海道建設業協会
 一般社団法人 北海道電業協会
 一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会
 北海道管工事業協同組合連合会
 一般社団法人 北海道建築技術協会
 北海道

※実行委員長(一財)北海道建築指導センター理事長
 石塚 弘

北海道赤レンガ建築賞審査委員会

委員長 羽深 久夫 札幌市立大学デザイン学部教授
 副委員長 遠藤謙一良 (公社)日本建築家協会北海道支部長
 委員 石塚 弘 (一財)北海道建築指導センター理事長
 委員 菅沼 秀樹 (一社)北海道建築士事務所協会
 委員 小町 美穂 (一社)北海道建築士会理事

平成 30 年度協賛者 (敬称略)

株式会社西沢工務店 株式会社森川組 株式会社久米設計
 北成建設株式会社 久島工業株式会社 丸建工業株式会社
 天内工業株式会社 株式会社北洋設備設計事務所
 恵庭建設株式会社 植本電設工業株式会社



南側外観：内部の活動が見える、庇を四周にまわした圧迫感のない外観



プレイルーム：地産産カラマツ材を活かしたシンボルとなる架構



プロムナード：互いの活動が見える自由な居場所

■**建築主** 上士幌町

■**設計者** (株)アトリエブंक
(有)金箱構造設計事務所

■**基本計画** 北海道大学 大学院工学研究院 建築計画学研究

■**施工者** 《萩原・川田・橋内・米倉経常建設共同企業体》
萩原建設工業(株) 川田工業(株) (株)橋内建設
米倉建設(有)
《スズキ・宮内・大昭経常建設共同企業体》
(有)スズキ電気 (株)宮内電気 大昭電気工業(株)
《奥原・塚田経常建設共同企業体》
(株)奥原商会 (株)塚田設備工業
《ネクサス・森岡建設経常建設共同企業体》
(株)ネクサス (株)森岡建設

■**建築物の概要**

所 在 地：河東郡上士幌町上士幌東 3 線 237 番地

主 要 用 途：生涯学習センター等

構造及び階数：木造一部 RC 造 2 階建

建 築 面 積：3,354.01 m²

延 べ 面 積：4,122.16 m²

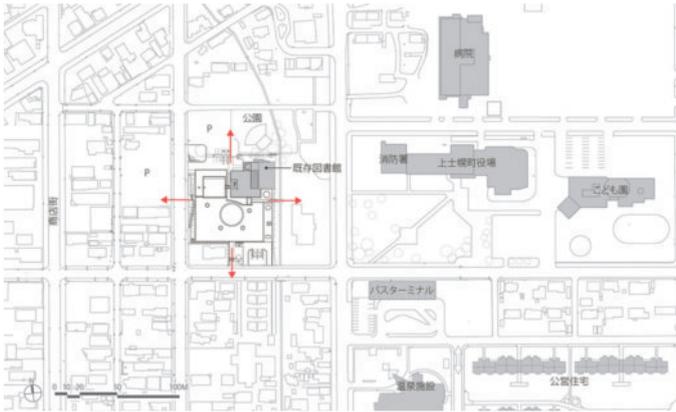
竣 工 年 月 日：平成 29 年 6 月 27 日

□**企画の特徴**（地域との関わりなど、特に配慮した点）

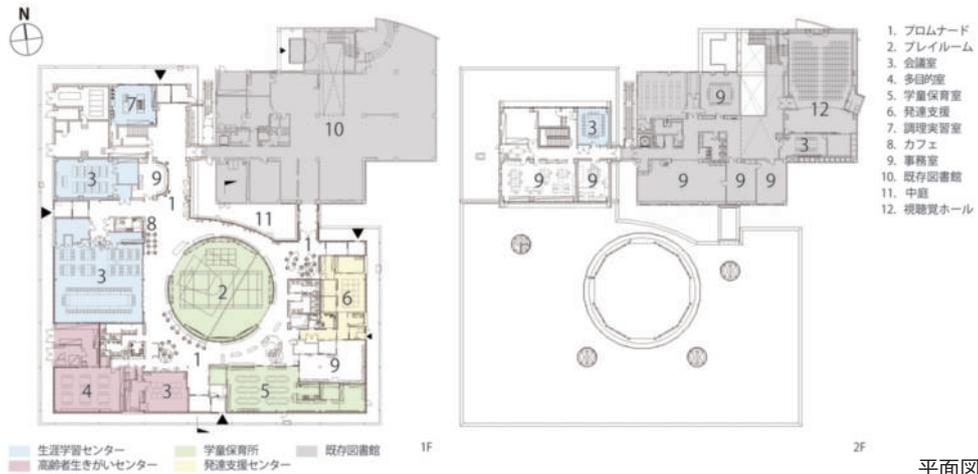
「上士幌町生涯学習センターわっか」は、これまで町内に別々にあった 5 施設（発達支援センター、生涯学習センター、学童保育所、高齢者生きがいセンター、図書館）の機能を複合化した施設です。人口減少と高齢化に直面する上士幌町において、単体としての機能更新・充実だけでなく、統合することで可能となる新しい機能や相乗効果を生むことを重要視し、「世代間コミュニケーションを生む場」「ふらっと立ち寄りたくなる魅力あふれる場」「様々な活動を感じる活気あふれる場」を掲げ計画しています。整備にあたり、中高生、子育て世代、高齢者など、幅広い世代の参加によるワークショップやシンポジウムの開催、策定経過の広報掲載など、構想段階から住民参加を進めました。

□**設計の特徴**

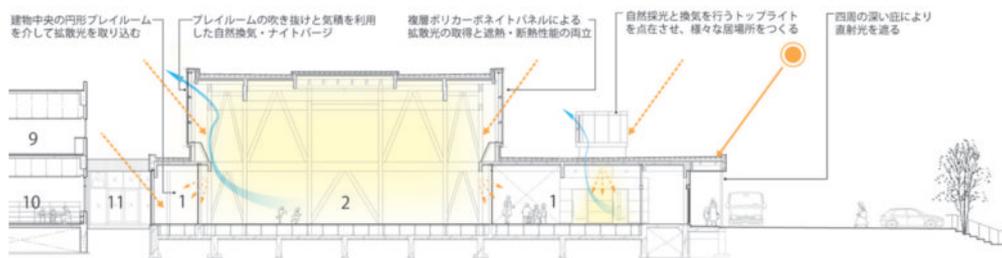
敷地は商店街・公共施設等が隣接し、四周からアクセスが見込める立地です。圧迫感が無く入りやすい平屋を基本とし、既存図書館を L 型で囲む表裏のないコンパクトなボリュームとしています。4 カ所のエントランスを結ぶ「プロムナード」は、まちとつながる機能的な動線であると同時に、町民の自由な居場所になります。建物のシンボルとなる円形プレイルームは、



配置図



平面図



断面図

吹き抜けの全面ポリカーボネイトパネルから自然光を建物内部に効果的に取り込みます。構造は平屋部分を木造、2階建て部分をRC造とした適材適所の構造計画です。木造部分は地場材であるカラマツの大断面集成材により7.2mグリッドのスパンとし、フレキシブルな平面計画と木の温かみある開放的な空間を実現しています。

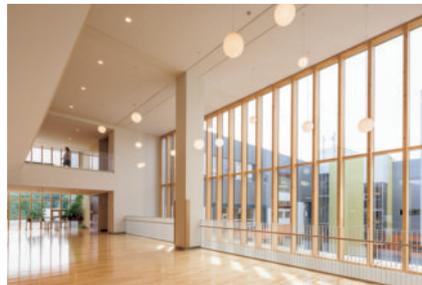
□施工の特徴（工法の特徴、施工上の配慮、工夫等）

建物のシンボルとなるプレイルームの屋根には、カラマツ集成材の梁が井桁のように巧みに構築され、一般部の柱梁においても見せる構造部材として形成される意匠となっています。その建物の主軸となる大断面カラマツ集成材および、構築木材には、上士幌町産、十勝産の地場産木材にこだわり施工しました。軸組みの接合部には、細部にわたり積極的に金具接合法を採用したことで、耐力の向上と共に、加工手間の削減、現場作業性の向上で、不足する労務を抑えました。また、施設の設備については、監理者と電気設備・機械設備ルートの検討を重ね、

効率良く床下暖房ピット内や小屋裏に配管配線を納めたことで、大きな空間を実現しています。

□完成後の地域への貢献度等

平成29年6月の供用開始以来、お祭り・シンポジウムのイベントなどが行われ、多くの住民に利用されています。役場に寄った後、生涯学習センターで活動や休憩をし、そのまま商店街で買い物をするなどの「はしご利用」や、子ども達の放課後や休日の居場所としての利用なども多く見られるようになりました。子どもからお年寄りまで様々な世代の活動が同居し、ガラスのスクリーン越しにそれぞれの様子が見えることで、自然と世代間交流が生まれるようになりました。町では老朽化が著しい公共施設について住民の意見を交えながら、現在まで再編への事業を進めています。平成30年春には近隣に公共交通結節点となる「上士幌町交通ターミナル」も完成しました。今後も生涯学習センターが、様々な世代の交流の結節点となることを期待します。



- **建築主** 白糠町
- **設計者** (株)アトリエアク
- **施工者** 《山根・葵・宮脇特定建設工事共同企業体》
 山根土建(株) 葵建設(株) 宮脇土建(株)
 《八百坂・村井・坂野特定建設工事共同企業体》
 (株)八百坂建設 村井建設(株) 坂野建設(株)
 《北電・サンエス・清水・関特定建設工事共同企業体》
 北電工業(株) サンエス電気通信(株) 清水電機(株)
 (有)関電機工業舎
 《山田・太平洋特定建設工事共同企業体》
 山田水道機工(株) 太平洋設備(株)

■ **建築物の概要**

所在地：白糠郡白糠町西庶路学園通1丁目1番地
 主要用途：小学校・中学校・こども園
 構造及び階数：RC造 一部SRC造・S造 3階建
 建築面積：4,692.35㎡
 延べ面積：9,270.42㎡
 竣工年月日：平成30年2月28日

□ **企画の特徴**（地域との関わりなど、特に配慮した点）

白糠町立庶路学園は、東日本大震災以降、津波災害を避ける対策として高台への移転を計画し、海拔30m以上に敷地を造成することで実現した幼・小・中一貫校である。旧庶路小・中学校は老朽化もさることながら校舎が海拔10m以下と低く、震災以降子ども達の安全確保が急がれていた。また、庶路地区には山はあっても避難に適した高台がなく、庶路学園計画は安全な場所づくりとしても必要であった。避難ルートの確保、複数のエネルギーによる設備システム、冬季を想定した災害時対応を考慮した設備計画等、地域の避難施設として充実した機能とスペースを確保している。

□ **設計の特徴**

プロポーザルでの特定を受け、1年に渡る建設検討委員会での議論が始まった。道内ではまだ例の少ない一貫校として、また、こども園の併設と特殊な学校の構成、そして地域開放と避難施設としての充実等、高台のない地域としてはこの際一番安全な場所の確保が必要であり、地域住民全員が避難できることが最重要課題であると認識した。1階はこども園、一般開放と



避難に関するフロアを中庭を囲む構成としている。2階は低学年1～4学年、管理部門、小体育スペース。3階は中・高学年5～7学年と8・9学年を中庭を挟み配置している。その他オープンな特別教室、中高学年用の図書コーナーも併設している。全体は中庭を囲み回遊性のある構成とし、交流も学習にも行き止りのない使い方ができるようにと思い計画した。今すでに始まっているアクティブラーニングへの対応も回遊空間から生まれる。

□施工の特徴 (工法の特徴、施工上の配慮、工夫等)

- 建築
1. 外断熱・木製の断熱サッシ→開口部のデザインに自由度が増す。
 2. スラブ上に木床組→スラブ上に温水パイプを敷設、事故防止と健康の床組。
 3. 中庭、光と風、安全→光、風、自然の恵みを普通に享受できる半屋外空間。

四季を通じた庶路学園の環境確保のためには外断熱を原則とする。採光、通風の為の中庭は、外壁面積が増え熱負荷的には不利になるが、大規模建築には必要と考える。

- 設備
1. ヒートパイプ給気・3種換気→熱負荷を減少。
 2. 土壌蓄熱→1階のみ土壌蓄熱暖房(電気)。白糠町は太陽光発電、バイオマス発電の町でもある。
 3. 床下暖房→2・3階はスラブと木床の間に温水管を敷設。低温水を循環させ均一な暖房空間とする。熱源は灯油とペレットの併用。

□完成後の地域への貢献度等

白糠町立庶路学園は庶路地区の高台に建設されたことで庶路地区の安心・安全のシンボルとして地域に根付くつあります。本校の最大の特徴である、こども園・小学校・中学校の一体型施設では校内交流やスペースの共有等、多様な学習が展開され、白糠町の教育理念に基づいた学習環境がさらに充実し注目を集めています。こども園においては越境入園をされた方や、入園の問い合わせが増えており、地域からの関心も高まっています。現在、地域交流として一般開放を開始したところですが、今後は1階交流・開放スペースも含めた運用についても検討を進め、新たな地域交流の核となることを期待しております。

審査講評

平成30年度(第31回)北海道赤レンガ建築賞は8月31日締切りで、20作品の応募があった。第19回(平成20年度)以降では、第30回(平成29年度)の32作品、第24回(平成23年度)の23作品に次ぐ応募数であった。その内訳は、所在地別をみると、日高、後志、檜山、留萌、オホーツク、根室を除く以外の8振興局内から応募があり、石狩が7、空知・胆振・渡島・上川・十勝・釧路がともに2、宗谷が1であった。建築主別をみると、国はなく、市町村が9、営利法人が8、社会福祉法人・特殊法人・その他が1であった。主な用途別をみると、店舗が5、社会福祉・保健施設が合わせて4、宿泊施設が3、学校・教育施設と事務所と観覧場・展示施設が2、集会・交流施設とその他が1であった。設計事務所所在地別をみると石狩が14で、渡島・上川・釧路・道外が計6と石狩の集中がみられるが、建築主別は市町村等が9、営利法人が8、社会福祉法人・特殊法人・その他がそれぞれ1で、公共建築と民間建築で均衡がとれていた。

この応募結果を受けて、9月7日(金)に第2回審査委員会を予定していたが、9月6日の胆振東部地震発生のため中止となった。その後、改めて10月3日(木)に第2回審査委員会を開催して、現地審査の対象作品を選出した。第2回審査委員会では審査基準の確認として、北海道赤レンガ建築賞の主旨にあるように、「北海道赤レンガ建築賞は、地域社会の発展に貢献する創造豊かな建築物等を表彰することにより、建築文化の振興や地域に根ざしたまちづくりを推進させることを目的…」を踏まえ、「赤レンガ建築賞20周年によせて」(『北海道赤レンガ建築賞1988-2007』平成20年1月刊、所収)にある越野武氏の『強く、正しく、美しく』を基本に、物語を紡ぐ建築であることを目指すこととした。また、建築主・設計者・施工者を表彰することで、建築主に関わらずその作品が地域の力になる建築の力があること、さらに、50年を経過すれば文化財建造物として基準の対象になるので、文化財保護法における文化財指定基準の一つである「意匠的に優秀なもの」に該当することも重要な基準であると考えた。

この審査基準の確認を踏まえ、審査員全員で作品ごとの講評を行い、現地審査の対象に選出した(以下に、整理番号順に記す)。

- ①「HakoBA 函館 THE SHARE HOTELS」(RC造3階+S造4階、延べ1,995.03㎡)
- ②「あるくらす 沼田町暮らしの安心センター」(RC造1階、延べ1,894.08㎡)
- ③「上士幌町生涯学習センター わっか」(木造+RC造2階、延べ4,122.16㎡ 既存部1,791.37㎡)
- ④「白糠町立庶路学園 白糠町認定こども園 庶路こども園」(RC造+SRC造+S造3階、延べ9,270.42㎡)
- ⑤「びゅあの実 放課後等ディサービス・運動施設」(木造1階、延べ252.59㎡)
- ⑥「ナチュの森」(S造2階、延べ5,807.19㎡)

「北欧の風 道の駅とうべつ」、「西野そらいろ保育園」、「CONCIERGE FURANO」、「赤平市炭鉱遺産ガイドンス施設」、「さくらプラザ」、「豊島温泉 川島旅館」も現地審査対象候補として挙げた。

第2次審査にあたる現地審査は、審査員5名全員と事務局で10月23日(火)から11月12日(月)にかけて行った(10/23(火)あるくらす 沼田町暮らしの安心センター、10/25(木)びゅあの実 放課後等ディサービス・運動施設、10/29(月)ナチュの森とHakoBA 函館 THE SHARE HOTELS、11/12(月)白糠町立庶路学園 白糠町認定こども園 庶路こども園と上士幌町生涯学習センター わっか)。

第4回審査委員会は、現地審査(6作品の現地審査を第3回審査委員会とみなした。また、関係する作品がある審査員は該当する作品の現地審査に参加していない。)の実施後に、審査員5名が現地審査の審査評を提出し、12月14日(金)に開催した。はじめに、第2回審査委員会で検討した審査基準を踏まえ審査の流れを確認し、審査員の講評と北海道赤レンガ建築賞の選考を行い、その後赤レンガ建築奨励賞の審査を進めることで合意した(関係する作品がある審査員は該当する作品の講評、賞の選出に参加しない)。結果、審査員4名の投票により、本賞は「上士幌町生涯学習センター わっか」とした。本賞選考後、奨励賞対象作品の有無について審議して、審査員5名で、奨励賞を「白糠町立庶路学園 白糠町認定こども園 庶路こども園」とした。

6作品のテーマは、歴史的建造物のリノベーション、中心市街地における住民の健康づくりを目指す医療・福祉施設、中心市街地において既存施設に接続した複合施設、防災拠点を兼ねた小中学校の統合とこども園の併設、発達障害児童支援と体操教室の体育施設、中学校跡地における校舎活用と景観に配慮した開かれた工場、と道内179市町村が抱える今日的課題に対する模範解答のようである。審査過程で審査員がとくに感じたことは、計画段階から運営までの地元住民や地元行政との関わり方の強度や密度であった。平成30年度(第31回)北海道赤レンガ建築賞は、本賞に上士幌町と奨励賞に白糠町の公共建築が選ばれたが、少子高齢化と人口減少社会への対応した公共施設の機能集約化と防災機能を備えた複合化をテーマにし、住民のあらたな活動の場も見事に創出している。2作品ともに、一つの建築づくりはあらたな地域づくり、地域の再構築に結び付き、切り離せないものであることを示し、他の市町村にとっても好事例になると考えられる。北海道赤レンガ賞は、地域の力になる建築であることが求められているが、公共・民間を問わず、今まで以上に地域との結びつきという意味での「公共性」が重要になってきたと強く感じられた。

平成 30 年度(第 31 回)北海道赤レンガ建築賞 **上士幌町生涯学習センター わっか**

上士幌町生涯学習センターは、将来のまちづくりや町施設の再配置計画を踏まえたセントラルベルト構想のなかで、分散していた発達支援センター・生涯学習センター・学童保育所・高齢者生きがいセンターの 4 施設と既存の図書館を統合した複合施設である。

既存の図書館と単に接続させるのではなく、図書館 2 階の教育委員会と新設の社会福祉協議会等の事務スペースを連続させ、既存図書館を L 字形に囲んで諸施設を配置し、4 面のアプローチを可能にしている。4 周を巡るアプローチと出入口をもつ水平の深い庇は雁木空間で、町民の談話や待合スペースとなり、内外から目が届く安全性の高い空間である。4 つの出入口につながるプロムナードは、円形のプレイルームを囲み 5 施設を結び付け、回遊性のある空間である。円形のプレイルームは、地元カラマツ材の大断面集成材の梁を井桁状に組んだ直径 18 m・高さ 8 m のシリンドラーで、吹き抜け部分のハイサイドライトからは日光が軟らかく差し込み、夜間は内部照明が周辺に漏れ、光の塔になる。プロムナードに設けられた 4 つのシリンドラー状のトップライトも同じ役割をもつ。内部環境は二重床、アースチューブ、パッシブ換気を用いて計画され、安定した効率的な温熱環境を維持している。

基本構想段階から、町民の幅広い世代の参加によるワークショップ等を開催し、幅広い世代から親しまれる活動の場となり、きめ細やかな施設の企画運営が行われている。非常時には自家発電設備を備えた防災ボランティアセンターの役割もある。交通ターミナルが完成したが、本施設と周辺にある町役場・保健施設・認定こども園・健康増進センター等との関連性は、生涯学習センターを結節点として明らかにされるであろう。

以上の点を踏まえ、「上士幌町生涯学習センター わっか」は、地域社会の発展に貢献する創造豊かな建築であり、建築文化の振興や地域に根ざしたまちづくりに貢献し、意匠的にも優れ、あらたな町民の活動の場を創造した建築であることを評価して平成 30 年度の北海道赤レンガ建築賞を贈る。また、上士幌町は平成 25 年度(第 26 回)の「ひがし大雪自然館」に続き、北海道赤レンガ建築賞を 2 作品もつことになったが、建築を通したまちづくりを進めている証とも思われる。

平成 30 年度(第 31 回)北海道赤レンガ建築奨励賞 **白糠町立庶路学園 白糠町認定こども園 庶路こども園**

白糠町立庶路学園は、小・中学校の建替えを検討する中で、津波被害を避けるため海拔 30 m の高台を造成し、災害時に半径 3 km 以内の住民 3,500 人の防災拠点ともなる、こども園を統合した小中一貫校である。

小・中学校の 9 学年を 6・3 年制ではなく、4・3・2 年制の教育システムに再編した結果、1 階にこども園・多目的スペース・体育館・武道場、2 階に 1～4 学年の一般教室・理科室等の特別教室・小体育館・多目的スペース、3 階に 5～7 学年と 8～9 学年の一般教室・音楽室等の特別教室・多目的スペースが 3 階吹き抜けの中庭回りに配置されている。主要階の 2 階にある職員室と 1～4 学年のプレイルームとしての小体育館、2・3 階にある図書コーナーと特別支援学級は、一般教室・特別教室と組み合わせられ回遊性のある空間を生み出している。東側に 9 学年の玄関につながる大階段・エレベータ・吹き抜けのある多目的スペースがあり、垂直動線を確保しながら、各階から太平洋を望む眺望を楽しむことができる。こども園は車による送り迎えを考え、駐車場のある西側に玄関をもち、セキュリティ上も区分されている。立面 4 面の異なる意匠、中庭の多彩な外装と凹凸、地元材の木質素材が溢れる内部空間は一見複雑なデザインにも見えるが、設計者の経験から生まれた職人技とも理解できる。保育室や一般教室を南面させ、太陽光発電を利用した 1 階の土壤蓄熱暖房、GW200 mm の外断熱、木製断熱サッシ、灯油とペレットを併用した 2・3 階の床下暖房、ヒートパイプ給気・3 種換気としたことは、延べ床面積が 9,000 m² を超える外壁面積が大きい大規模建築にあって、四季を通じた温熱環境の確保に苦心した結果である。

計画段階で地元住民や学校関係者とのワークショップ行っているが、自家発電装置をもつ防災拠点、近隣住民の日常生活における活動の場としての利用・運用は、日々の教員と児童・生徒、近隣住民の意識が高まるなかで可能性が生まれ、自由度の高い余裕のある空間もまちのシンボルに育つであろう。

以上の点を踏まえ、「白糠町立庶路学園 白糠町認定こども園 庶路こども園」は、地域社会の発展に貢献する創造豊かな建築であり、建築文化の振興や地域に根ざしたまちづくりに貢献し、意匠的にも優れ、防災拠点も兼ねたあらたな学び舎を創造した建築であることを評価して平成 30 年度の北海道赤レンガ建築奨励賞を贈る。

北海道赤レンガ建築賞 審査委員長 羽深 久夫

平成 30 年度

高校生建築デザインコンクール

課題／「北海道立十勝エコロジーパーク内の屋外トイレ」

■はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や道民生活の向上、気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしています。

道では、道内の建築を志す高校生の勉学の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成を図るとともに、道民に愛され親しまれる施設整備を進めるため、道内の建築系学科に在籍する高校生を対象に、夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成 8 年度から実施しています。

平成 12 年度からは、公益社団法人日本建築家協会北海道支部、一般社団法人北海道建築士事務所協会、一般社団法人北海道建築士会との共催事業となり、今回で 23 回目の開催となります。

平成 30 年度は、音更町、幕別町、池田町の 3 町にまたがる道立公園である、北海道立十勝エコロジーパーク内の「ふわふわドーム」近くに整備を予定している「屋外トイレ」を設計課題として募集したところ、8 校 172 人から 111 作品の応募がありました。

屋外トイレは、主に「ふわふわドーム」の利用者が使用することを想定し、手洗い場のある男女別トイレを配置して、乳児や幼児、車いすでも使用できるよう配慮することなどを求めたところ、高校生らしい創造力豊かな作品が数多く寄せられました。

応募された皆様には、心からお礼申し上げます。

厳正な審査を経て、最優秀作品賞 1 作品、優秀作品賞 3 作品、佳作 4 作品、特別賞 2 作品が選定されました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。このコンクールに参加した皆様が公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になるものと期待しています。

平成30年度高校生建築デザインコンクールの実施概要

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、道において、設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

1 課題

「北海道立十勝エコロジーパーク内の屋外トイレ」音更町十勝川温泉に隣接する「北海道立十勝エコロジーパーク」内の「ふわふわドーム」の施設利用者が主に利用する屋外トイレを設計してください。

2 応募資格

道内高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ

3 提出図面

JIS規格 A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く

- (1) 作品タイトル
- (2) 設計主旨
- (3) 配置図兼平面図 1/50～1/100
- (4) 断面図 1/50～1/100（1面）
- (5) 立面図 1/50～1/100（1面）
- (6) スケッチ又は模型又は透視図
- (7) 面積表

4 応募作品

173名から111作品の応募

5 入選作品

最優秀作品1作品・優秀作品3作品・佳作4作品・特別賞2作品

6 経過

募集要項配付 平成30年6月1日

作品受付 平成30年8月20日から

平成30年8月31日まで

選定委員会 平成30年9月10日

作品展 平成31年1月15日から

平成31年1月16日まで

7 選定委員

十河 昌司（公益社団法人日本建築家協会北海道支部 教育委員会教育委員長）

重綱 博美（一般社団法人北海道建築士事務所協会 業務・技術委員会担当副会長）

針ヶ谷拓己（一般社団法人北海道建築士会 常務理事・まちづくり委員長）

山本 明敏（北海道教育庁学校教育局高校教育課長）

大野 雄一（北海道建設部建築局建築整備課長）



審査総評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の建築系学科の高等学校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するとともに優れた作品を表彰しているものです。

今年度は、音更町の十勝川温泉に隣接して整備された北海道立十勝エコロジーパーク内の利用者のために整備を予定している「屋外トイレ」を設計課題としたところ、111作品という昨年を上回る多くの応募がありました。今年度も多くの関係者のご協力により、高校生建築デザインコンクールを盛会に進めることができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

応募作品は、十勝地方の特産品などをモチーフとしたデザインや近接する遊具施設「ふわふわドーム」を連想させるデザインを用いながら、老若男女への使いやすさも配慮された魅力ある高校生らしい創造性あふれる作品が数多く見られました。

応募のあった作品については、「高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか」「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」「立地条件を活かしているか」「実施設計に反映させ得るデザインであるか」といった観点から厳正に審査を行い、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性にあふれたデザイン提案が数多くありました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心を高め、建築技術を学ぶ皆様の学習意欲の高揚や将来の建築関連分野への進路選択にもつながることを期待しております。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからのご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。

平成30年度高校生建築デザインコンクール選定委員会

委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 **大野 雄一**

平成30年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞（1作品）

鈴木 達也（北海道苫小牧工業高等学校 1年）
板垣 謙典（北海道苫小牧工業高等学校 1年）
松芳 大輔（北海道苫小牧工業高等学校 1年）

優秀作品賞（3作品）

笹森亜久里（北海道留萌高等学校 3年）
鈴木 大夢（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
志渡 智紀（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
田村 陵丞（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
坂本 透哉（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

佳 作（4作品）

中村 浩了（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
野島 佑介（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
高崎 春花（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
近村 萌（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
山家亜弥生（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
佐藤 輩斗（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
清水 広行（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

特 別 賞（2作品）

紺谷 匡乃（北海道函館工業高等学校 3年）
中谷 空（北海道函館工業高等学校 2年）

入賞作品

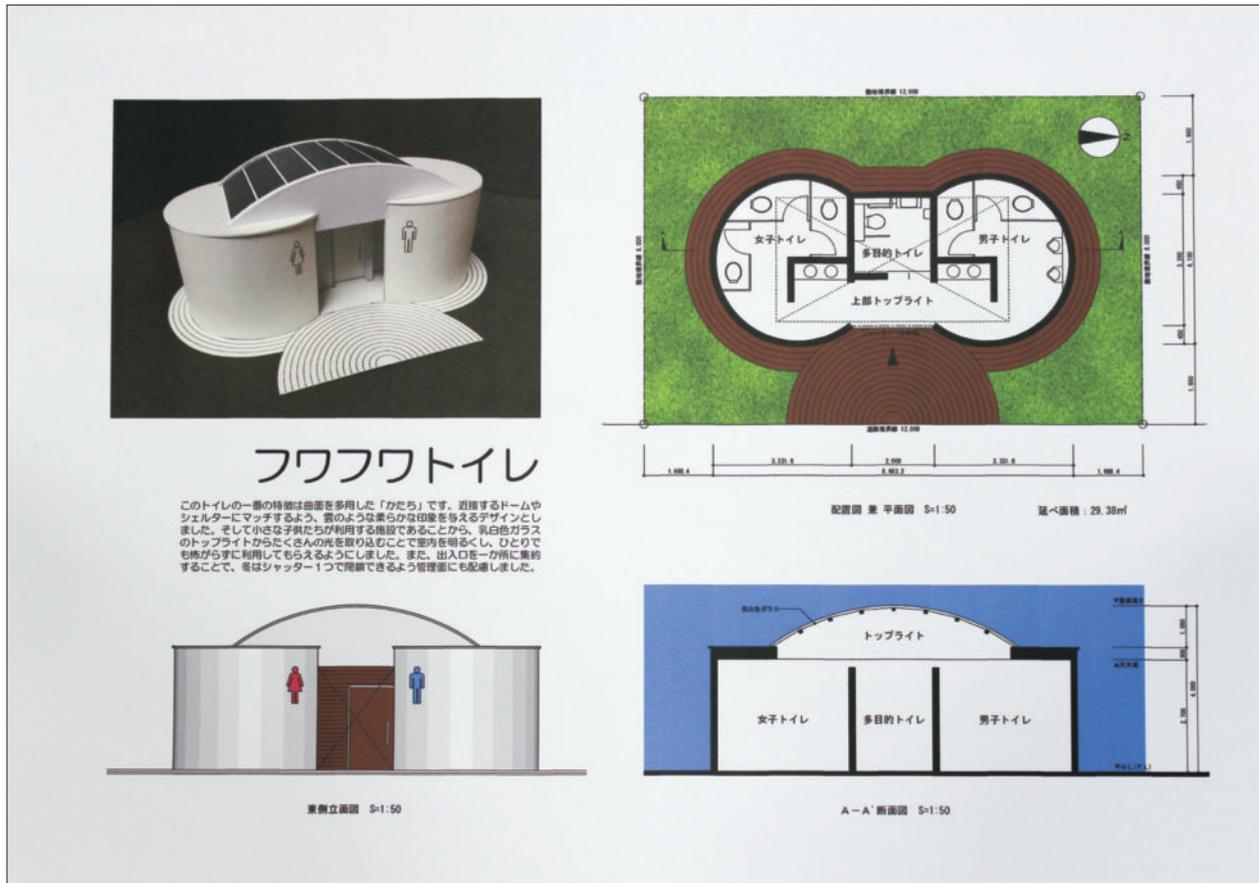
最優秀
作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

鈴木 達也 (1年)

板垣 謙典 (1年)

松芳 大輔 (1年)



作品名「フワフワトイレ」

設計主旨

このトイレの一番の特徴は曲面を多用した「かたち」です。近接するドームやシェルターにマッチするよう、雲のような柔らかな印象を与えるデザインとしました。そして小さな子どもたちが利用する施設であることから、乳白色ガラスのトップライトからたくさんの光を取り込むことで室内を明るくし、ひとりでも怖がらずに利用してもらえるようにしました。また、出入口を一カ所に集約することで、冬はシャッター1つで閉鎖できるよう管理面にも配慮しました。

審査講評

ふわふわドームと関連したデザインを上手に昇華させており、建築的に完成度が高い作品である。トップライトによる採光を含め、実現性が高く、平面プランがうまくまとめられた提案が高く評価された。

優秀
作品賞

北海道留萌高等学校

笹森 亜久里 (3年)



作品名「la natural」

設計主旨

今回のトイレを計画する場所が自然の中なので、木と木の間の空間に建築を溶け込ませたいと考え、ルーバーを採用しました。通路側の外壁には外から中が見えにくいように配慮しつつ、室内には木漏れ日のようにやわらかく光を取り入れることができます。
また、ルーバーを壁のように延長することで、連続性を持たせ森の中のランドスケープとしてもデザインをしました。
トイレは、男子・女子・多目的トイレの三つに分かれており、多目的トイレは、広くすることで車椅子の方でも利用しやすくできるようにしました。施設を利用する人たちにとって、風景の一部として利用できるようにトイレになっています。

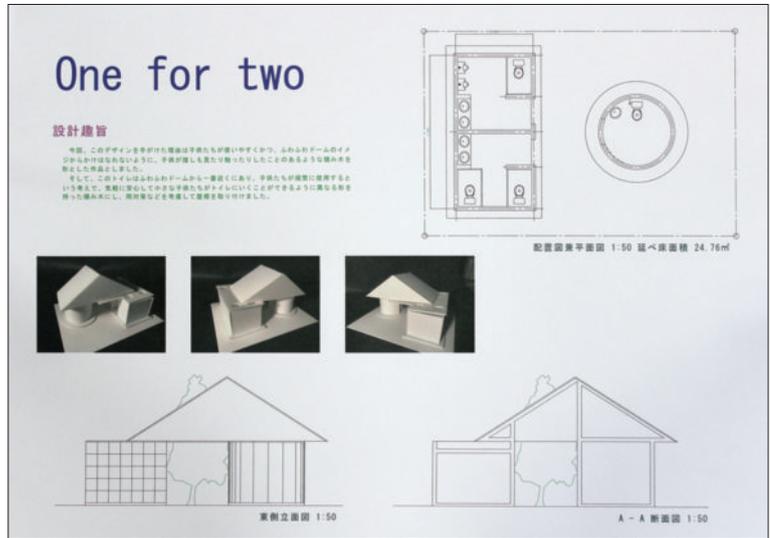
審査講評

森にマッチした美しいデザインであり、ルーバーを使った外部デザインとすっきりまとまった平面プランが評価された。

優秀
作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

鈴木 大夢 (3年)
志渡 智紀 (3年)
田村 陵丞 (3年)



作品名「One for two」

設計主旨

今回、このデザインを手がけた理由は子供たちが使いやすかつ、ふわふわドームのイメージからかけはなれないように、子供が誰も見たり触ったりしたことのあるような積み木を形とした作品としました。
そして、このトイレはふわふわドームから一番近くにあり、子供たちが頻繁に使用するという考えで、気軽に安心して小さな子供たちがトイレに行くことができるように異なる形を持った積み木にし、雨対策などを考慮して屋根を取り付けました。

審査講評

積み木の丸、三角、四角というプライマリーな形をトイレの設計に上手にいかしており、ユニークなデザインが評価された。

優秀 作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

坂本 透哉 (3年)



作品名「自然に調和した格子型公衆トイレ」

設計主旨

今回の設計コンセプトでは、自然の公衆トイレで自然とマッチする部分です。そこで、単純なブロック造ではなく、壁面及び天井部分に可能な限りの芝や葉を敷き詰めた1m×1mブロックにして景観を壊さないようにしました。このほかの役割としては、トイレ室内の温度上昇を防ぐ目的です。また、その他にも工夫がしてあり、トイレ室内からの採光はすべて天井からの自然を感じる採光にしました。他にもアプローチ部分には藤棚を想像させるような格子状のアーケードを設け植物の育成が可能となっています。このようにこのトイレには「自然を大切に」という設計主旨を考えた新たな調和型公衆トイレとしています。

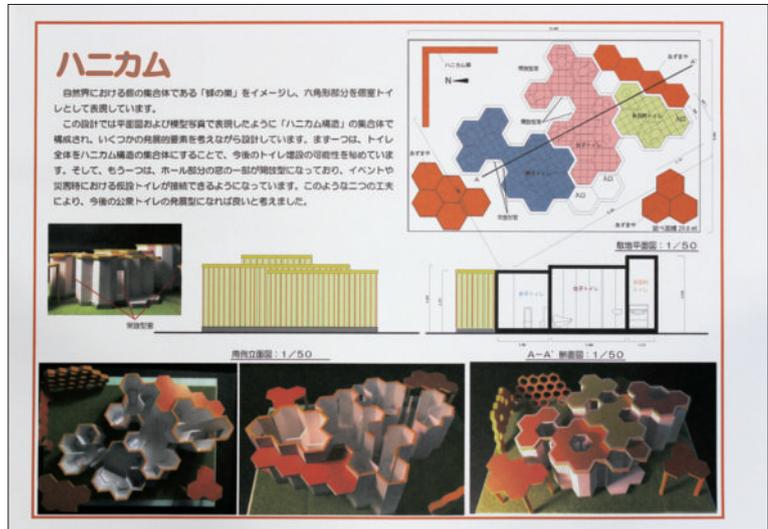
審査講評

自然との調和を、建築的に格子を用いながら美しく表現し、ホールを中心とした平面展開が評価された。

佳作

北海道苫小牧工業高等学校

中村 浩了 (3年)
野島 佑介 (3年)



作品名「ハニカム」

設計主旨

自然界における個の集合体である「蜂の巣」をイメージし、六角形部分を個室トイレとして表現しています。この設計では平面図および模型写真で表現したように「ハニカム構造」の集合体で構成され、いくつかの発展的要素を考えながら設計しています。まず一つは、トイレ全体をハニカム構造の集合体とすることで、今後のトイレ増設の可能性を秘めています。そして、もう一つは、ホール部分の窓の一部が開放型になっており、イベントや災害時における仮設トイレが接続できるようになっています。このような二つの工夫により、今後の公衆トイレの発展型になれば良いと考えました。

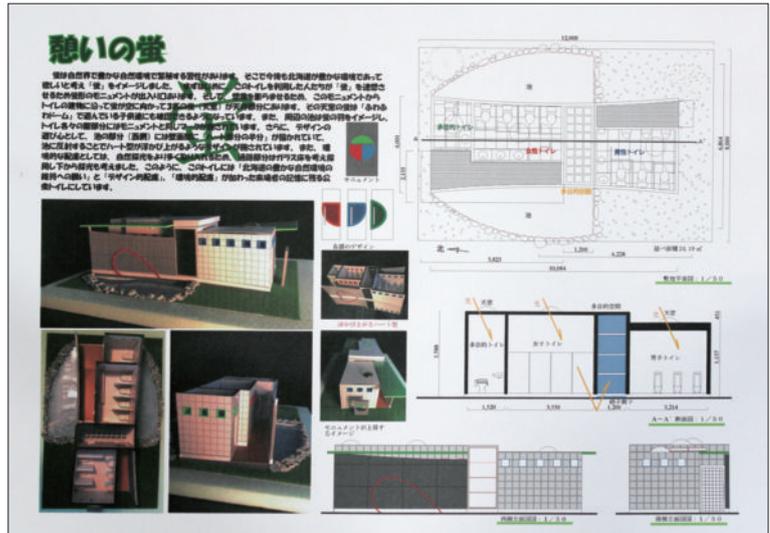
審査講評

蜂の巣をユニットにトイレとしての機能を確保しながら、トイレ増設の可能性を考えた提案が評価された。

佳作

北海道苫小牧工業高等学校

高崎 春花 (3年)
近村 萌 (3年)



作品名「憩いの蛭」

設計主旨

蛭は自然界で豊かな自然環境で繁殖する習性があります。そこで今後も北海道が豊かな環境であって欲しいと考え「蛭」をイメージしました。まずはじめに、このトイレを利用した人たちが「蛭」を連想させるため蛭型のモニュメントが出入口にあります。そして、想像を膨らませるため、このモニュメントからトイレの建物に沿って蛭が空に向かって3匹の蛭(天窓)が天井部分にあります。その天窓の蛭は「ふわふわドーム」で遊んでいる子供達にも確認できるようにしています。また、周辺の池は蛭の羽をイメージし、トイレ各々の扉部分にはモニュメントと同じマークが施されています。さらに、デザインの遊び心として、池の部分(西側)には壁面部に「ハート部分の半分」が描かれていて、池に反射することでハート型が浮かび上がるようなデザインが施されています。また、環境的な配慮としては、自然採光をより多く取り入れるため、通路部分はガラス床を考え採用し下から採光も考えました。このように、このトイレには「北海道の豊かな自然環境維持への願い」と「デザインの配慮」、「環境的配慮」が加わった来場者の記憶に残る公衆トイレにしています。

審査講評

うまく平面プランがまとめられ、池に反射した太陽光がガラス床下から採光を入れるアイデアが評価された。

佳作

北海道苫小牧工業高等学校

山家 亜弥生 (3年)



作品名「トイレタウン」

設計主旨

このトイレの大きな特徴は、敷地半分を占める大屋根と小屋根です。この屋根は十勝にある都市の関係性を表し、大きな三角形の屋根が帯広市、小さな三角形の屋根が今回建設される近隣の町(音更町、池田町、幕別町)を三角形で表現しました。そのイメージから「トイレタウン」というネーミングにしてみました。このトイレでは大屋根と小屋根の二つの屋根が重なることで「光の入り方」や「影の描き方」が時間の経過を楽しむことができると考えています。また、トイレ利用者は様々な角度からアクセスが可能となり、その時の入り方によっては利用者が壁面に導かれるような錯覚でトイレに行くことができると思います。

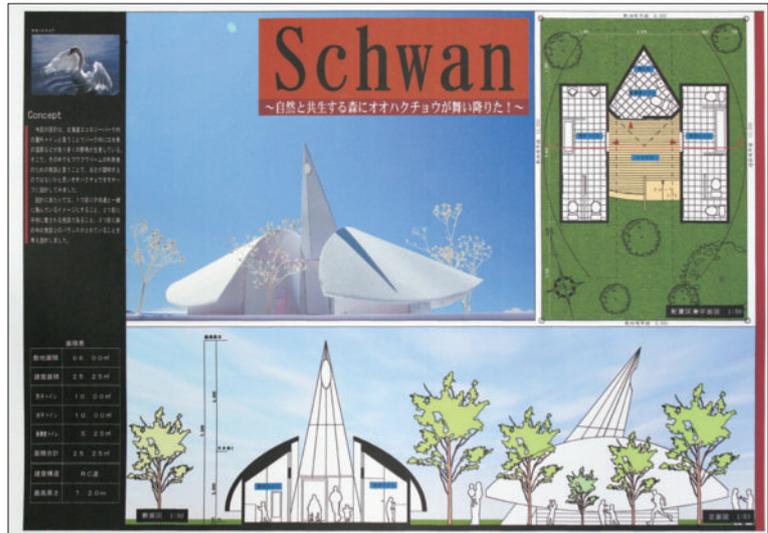
審査講評

大小2つの三角形を高さも変えて交わることで中央の廊下にも別の意味を持たせる美しい立面構成が評価された。

佳作

北海道苫小牧工業高等学校

佐藤 輩斗 (3年)
清水 広行 (3年)



作品名「Schwan」

設計主旨

今回の設計は、北海道エコロジーパーク内の屋外トイレと言うことでパーク内には水鳥の湿原などがあり多くの野鳥が生息している。そこで、その中でもフワフワドームの利用者のための施設と言うことで、白さが調和するのではないかと思いますオオハクチョウをモチーフに設計してみました。

設計にあたっては、1つ目に子供達と一緒に飛んでいるイメージにすること、2つ目に子供に愛される施設であること、3つ目に森の中の施設とのバランスがとれていることを考え設計しました。

審査講評

オオハクチョウをモチーフとしたデザインとコンセプト、作品全体の高い表現力が評価された。

特別賞

北海道函館工業高等学校

紺谷 匡乃 (3年)



作品名「走る！SLとかち！」

設計主旨

このトイレは子供にとって薄暗く怖いイメージがなくなるように十勝を走るSL十勝号をモデルにしてデザインしました。先頭の煙室ドアは開けられることができ、左右にも丸いドアがあってその全てが上の煙突に繋がっています。ドアの幅が狭く、小さな子供のみ利用することができるので体格違った子とのトラブルも避けることができます。さらに車椅子のスロープには線路のイラスト、外に踏切をモチーフにした時計をおいて楽しめる場所にしました。

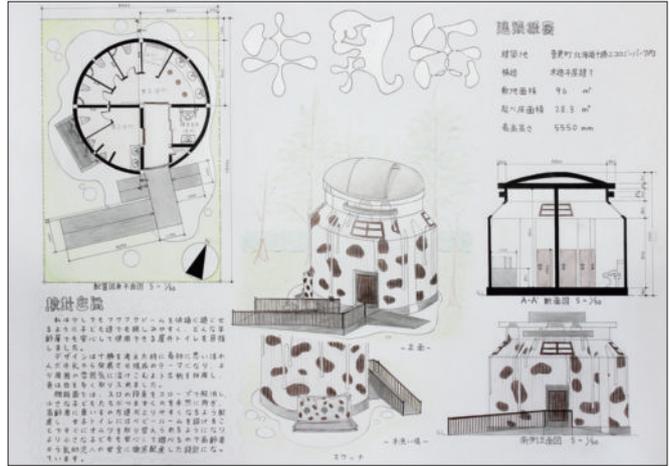
審査講評

平面プランが機能的であり、子どもが喜びそうなSLをモデルとした高校生らしい発想が評価された。

特別賞

北海道函館工業高等学校

中谷 空 (2年)



作品名「牛乳缶」

設計主旨

私は少しでもフワフワドームを快適に過ごせるように子ども達でも親しみやすく、どんな年齢層でも安心して使用できる屋外トイレを目指しました。

デザインは十勝を考えた時に最初に思い浮かんだ牛乳から発展させ現在のテーマになり、より周囲の雰囲気になじむよう牛柄を採用し、色は白を多く取り入れました。

機能面では、入口の段差をスロープで解消し、小さな子どもたちがつまずくのを未然に防ぎ、高齢者に車いすの方達が上りやすくなるように配慮し、女子トイレにはベビールームを設けることですぐにオムツを取り替えられるようになり、より小さな子どもも安心して遊べるので高齢者から乳幼児への安全に徹底配慮した設計になっています。

審査講評

円形の平面でスロープやベビールーム、外の洗い場などの機能性に配慮しながら、牛乳をイメージした可愛らしいデザインが評価された。

平成 30 年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

北海道札幌工業高等学校

- 新井美知瑠 [3年]
- 田中 秋来 [3年]
- 竹山 凜 [3年]
- 白石 航大 [3年]
- 中河 南瑠 [3年]

北海道函館工業高等学校

- 東 若菜 [3年]
- 伊山月秋乃 [3年]
- 菊池 奨真 [3年]
- 紺谷 匡乃 [3年]
- 佐々木愛可 [3年]
- 佐々木塔子 [3年]
- 佐々木楓華 [3年]
- 佐藤万菜保 [3年]
- 谷藤 らな [3年]
- 千葉奈々子 [3年]
- 中川詩生里 [3年]
- 中元 萌衣 [3年]
- 野村 多究 [3年]
- 藤広 瀬奈 [3年]
- 三浦茉奈果 [3年]
- 三浦未智花 [3年]
- 山本絵里佳 [3年]
- 石坂 彩乃 [2年]
- 龜井 すず [2年]
- 菊地 春花 [2年]
- 佐藤茉里亜 [2年]
- 佐藤 夕菜 [2年]
- 新保真紗稀 [2年]
- 高橋 もも [2年]
- 種田 隼斗 [2年]
- 永澤 上樹 [2年]
- 中谷 空 [2年]
- 藤田 大輝 [2年]
- 古館 舞 [2年]
- 紅谷 夏望 [2年]
- 守田 響 [2年]
- 山下朱々羽 [2年]
- 和田まゆか [2年]

北海道小樽未来創造高等学校

- 阪下朝加里 [2年]
- 藤田 亜美 [2年]
- 水原 啓吾 [2年]
- 安田 好汰 [2年]
- 本田 佳基 [2年]
- 今村 心 [2年]
- 宮下 剛輝 [2年]
- 西川 眞大 [2年]
- 鈴木 璃玖 [2年]
- 鈴木 太陽 [2年]
- 竹井 祐人 [2年]
- 干場 允瑠 [2年]
- 虹輝 [2年]
- 寺戸 理貴 [2年]
- 堀川 智慶 [2年]
- 中村 星輝 [2年]
- 小野 響妃 [2年]
- 越智夕姫乃 [2年]
- 佐藤 真衣 [2年]
- 市川 青空 [3年]
- 石黒 竜也 [3年]
- 大隅牙太朗 [3年]
- 坂本奈々美 [3年]
- 齊 麗奈 [3年]
- 徳保 光 [3年]
- 野呂 みう [3年]
- 滝澤実由希 [3年]
- 三上 一弥 [3年]
- 相原 悠希 [3年]
- 小野 龍介 [3年]
- 小野 爰地 [3年]
- 佐藤 友哉 [3年]
- 喜多 策也 [3年]
- 竹田 一輝 [3年]
- 松原小都里 [3年]

芳賀友里亜 [3年]

- 平野 温人 [3年]
- 嶋津 綾 [3年]
- 熊川蒼一朗 [3年]

北海道留萌高等学校

- 青山 龍斗 [3年]
- 新井 翔太 [3年]
- 大友 紀輝 [3年]
- 柿崎 雄斗 [3年]
- 工藤 美奈 [3年]
- 小間海翔真 [3年]
- 佐賀翔太朗 [3年]
- 笹森亜久里 [3年]
- 佐藤 花月 [3年]
- 澤田 尚哉 [3年]
- 高橋 拓斗 [3年]
- 館山 羽司 [3年]
- 星野 涼也 [3年]
- 松岡 琉惟 [3年]
- 山村 海斗 [3年]

北海道釧路工業高等学校

- 明石 奈央 [3年]
- 岳田 夏泉 [3年]
- 安池 蓮 [3年]
- 森 雄真 [3年]
- 南谷 玲音 [3年]
- 山口 淳 [3年]
- 松本 舜敏 [3年]
- 前川 歩夢 [3年]
- 松一楓 [3年]
- 堀田 駿平 [3年]
- 渡邊 力樹 [3年]
- 小山 伊吹 [3年]
- 高野 開斗 [3年]
- 工藤 悠介 [3年]
- 加藤 魁 [3年]
- 木村 拓樹 [3年]
- 澁谷 一葉 [3年]

北海道帯広工業高等学校

- 加藤 竜平 [3年]
- 橋爪 勇磨 [3年]
- 加藤 涼祐 [3年]
- 宮字 諒 [3年]
- 武長 祐弥 [3年]
- 中西 祥生 [3年]
- 西山 千夏 [3年]
- 佐藤 理恵 [3年]

北海道室蘭工業高等学校

- 新井 尚也 [3年]
- 西林 翔 [3年]
- 磯貝 竜也 [3年]
- 江良木菜々 [3年]
- 沖田 柁馬 [3年]
- 齋藤 涼 [3年]

北海道苫小牧工業高等学校

- 花岡 亮志 [3年]
- 高橋 京牙 [3年]
- 阿部理々香 [3年]
- 鈴木 大夢 [3年]
- 志波 智紀 [3年]
- 田村 陵丞 [3年]
- 小杉 尚汰 [3年]
- 晴被 勇翔 [3年]
- 山下 龍生 [3年]
- 岡本 悠佑 [3年]
- 齊藤 圭祐 [3年]
- 中村 浩了 [3年]
- 野島 佑介 [3年]
- 古河原尚貴 [3年]
- 上田 理久 [3年]
- 川原 悠斗 [3年]
- 澤 大也 [3年]
- 鎌田 竜弥 [3年]
- 竹田 悠人 [3年]
- 千上 大輔 [3年]
- 田川 陽大 [3年]
- 坂東 堯明 [3年]
- 田中 宥和 [3年]
- 福島 輝希 [3年]
- 高崎 春花 [3年]
- 近村 萌 [3年]
- 正木 佑汰 [3年]
- 山地 航平 [3年]
- 山下 凌 [3年]
- 田村 翔 [3年]
- 葛西 海人 [3年]
- 中山 裕太 [3年]
- 山本 隆生 [3年]
- 奥野 柗也 [3年]
- 安藤 樹 [3年]
- 坂本 透哉 [3年]
- 山家 亜弥生 [3年]
- 森重 莉奈 [3年]
- 古川 未果 [3年]

北海道苫小牧工業高等学校校定時制

- 高杉 后 [3年]
- 津田 美沙 [3年]
- 佐藤 龍斗 [3年]
- 清水 広行 [3年]
- 鈴木 達也 [1年]
- 板垣 謙典 [1年]
- 松芳 大輔 [1年]

高校別応募作品数一覧

学校名	応募作品数	参加人数
北海道札幌工業高等学校	5	5
北海道函館工業高等学校	33	33
北海道小樽未来創造高等学校 (旧小樽工業高等学校)	25	43
北海道留萌高等学校 (旧留萌希望高等学校)	15	15
北海道釧路工業高等学校	6	17
北海道帯広工業高等学校	3	8
北海道室蘭工業高等学校	3	6
北海道苫小牧工業高等学校 (全日制・定時制)	21	46
計	111	173

第43回建築士事務所全国大会（福島大会）

建築士事務所全国大会は、建築士事務所が一堂に会し、建築設計監理業の公共性と社会的役割に対する意識の高揚を図り、以て建築士事務所の業務の進捗改善に努め、社会の期待に応えるより良い環境づくりに積極的に貢献することを目的として毎年度、開催されています。今年も、福島市（福島会）で行われ、昭和51年に開催された第1回目から数えて43回目を迎えました。大会は、「七転び・八起～福島からのメッセージ」をテーマに「とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）」で開催されました。このテーマは、震災から復興・創生に向かって進んでいる「福島姿」と「将来への希望」を全国に発信するとともに、必ず復興を成し遂げるといふ福島の強い決意の表明です。平成23年に開催が予定されていたものの、東日本大震災、そして原子力発電所事故に見舞われ、開催を断念せざるを得なかった福島大会が、今回、開催されることになったものです。大会では、式典に先立ち、第1部「震災からの復興・創生」第2部「ふくしまの未来」をテーマにTBS放送でニュースキャスターを務める星浩^{ほしひろし}氏をコーディネーターに迎え、福島県飯館村^{かんののりお}長菅野典雄氏、福島大学名誉教授鈴木浩^{すずきひろし}氏、末廣酒造株式会社代表取締役社長新城猪乃吉^{しんじょうい のきち}氏、株式会社陽^ひと人代表取締役小林味愛^{こばやし みあい}氏による座談会が行われました。また、大会式典では、国土交通大臣（代理）、福島県知事、福島市長はじめ、多くの来賓者からの祝辞をいただくとともに日事連建築賞、年次功労者の表彰式が行われました。北海道会からは、庄司会長ほか67名の会員等が参加し、道日建・エヌ・ケー特定委託業務共同企業体が設計した「北見市立留辺薬小学校」が国土交通大臣賞（一般建築部門）を受賞し、また、日事連功労者表彰には函館支部の副支部長佐藤公郎氏が受賞しました。また、全国大会終了後には、福島市内の「クーラクーリアンテ サンパレス」において記念パーティが行われ盛會に終了しました。なお、今年の福島大会より、全国大会は通年地方開催に戻り、来年は、福井市（福井会）で開催される予定となっています。



全国大会のあゆみ

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
東京	京都	栃木	広島	山形	神奈川	大阪	北海道	福岡	愛知
第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
宮城	東京	岡山	沖縄	兵庫	秋田	石川	長野	鹿児島	香川
第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回
滋賀	岩手	静岡	千葉	長崎	山口	北海道	奈良	富山	埼玉
第31回	第32回	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回	第38回	第39回	第40回
東京	大分	東京	愛媛	東京	東京	三重	東京	茨木	東京
第41回	第42回	第43回							
和歌山	東京	福島							

■国土交通大臣賞（一般建築部門） 北見市立留辺蘂小学校

道日建・エヌ・ケー特定委託業務共同企業体

■令和元年度 日事連功労者表彰受賞者 函館支部 佐藤 公郎氏

わ 青年話創会 2019 福島大会「未来設計図」～共に築く未来のまちづくり～

日事連では、平成28年より全国大会に併せて、これからの建築士事務所をどのように経営していくのかを若い世代で考えてもらうため「青年話創会」を開催しています。今年は、この話創会も4回目の開催を迎えることとなり、建築士全国大会が行われた令和元年10月4日(金)の前日10月3日15時から13時まで、クーラクーリアンテ サンパレスにおいて全国から約100名超の若い会員が参加し、「災害に備える未来のまちづくり」をテーマに活発な意見交換が行われました。北海道会からは、木谷青年委員長、同委員会副委員長の岡田幸夫氏（札幌支部）、青年委員会委員の石井孝行氏（釧路支部）の3名が参加し、木谷委員長は北海道会の活動報告を行い、岡田副委員長は、討論会のテーブルコーディネーター、石井委員は、懇親会における北海道のPRなどを行いました。



国土大臣賞（一般建築部門）

北見市立留辺薬小学校

道日建・エヌ・ケー特定委託業務共同企業体（札幌支部）（北見支部）



撮影：北海道日建設計



※



※



※

建設地：北見市
用途：小学校・児童館
構造：木造 一部 鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造
階数：地上1階
面積：敷地面積／15,481.89 m²
建築面積／5,804.30 m² 延床面積／5,346.90 m²

※撮影：佐々木育弥

栄誉を称えて

本年度、以下のとおり、当協会の会員の方々がそれぞれ賞を受賞されました。この受賞は、受賞された方々がいずれも経営者として、また、業界の優れた指導者として、建築業界の発展や地域社会の振興に努力されてきたことが認められたもので、私たち会員にとって大変喜ばしいことです。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

今年、当協会顧問の西村武氏（第13代当協会会長）が黄綬褒章を受章された他、当協会顧問の吉田宏氏（第12代当協会会長）及び十勝支部会員の萩原一利氏が国土交通大臣表彰、当協会理事の大古正平氏（当協会松山支部長）が知事表彰（北海道産業貢献賞）を受賞するなど、多くの方が各賞を受賞されました。これは特に当協会を通じての社会的功績が認められたものであり、お慶び申し上げます。また、日事連年次功労者表彰を受賞された佐藤公郎氏、そして当協会永年勤続等表彰を受けられた相良敬治氏、藤原昇悟氏、西塚壯市氏、亀田宏氏、安丸定男氏、西島弘志氏、古屋昌廣氏の7名の方々には、長く当協会の発展にご尽力されてきたことについて、会員一同感謝申し上げます。受賞された方々、受賞された賞などについては以下のとおりです。

○ 叙勲・褒章

黄綬褒章

建設業、不動産業又は住宅産業その他の建設事業に30年以上の期間にわたり継続して従事し業務に精励するとともに、関係団体の役員として10年以上の期間にわたり在職し、斯業を通じて関係事業の向上発展に尽力した者

西村 武氏（顧問）

（一社）北海道建築士事務所協会顧問（第13代会長）
株式会社西村建築設計事務所代表取締役会長



○ 大臣表彰

国土交通大臣表彰

建設業に携わり、その推進にあたって顕著な功績がある等、他の模範として推奨に値する者（建設業、不動産業又は住宅産業等に30年以上従事し、業務に精励するとともに、関係団体の役員として5年以上在職し業界の発展に寄与した者）

吉田 宏氏（顧問）

（一社）北海道建築士事務所協会顧問（第12代会長）
元株式会社北海道日建設計代表取締役社長



萩原 一利 氏 (十勝支部)

十勝支部会員

萩原建設工業株式会社代表取締役社長



○ 知事表彰

北海道産業貢献賞 (建設関係功労者)

住宅都市行政全般にわたり長年業界の発展、行政の推進に努め、その功績が大きな個人又は団体(個人:不動産業、住宅産業又は都市整備に係る建設事業等に20年以上携わり、業務に精励し、他の模範となる者)

大古 正平 氏

理事・松山支部長

有限会社オオフル建築設計事務所代表取締役



○ 日事連表彰

日事連年次功労者表彰

日事連又は単位会の運営若しくは事業の実施に関して著しい功績を挙げ、日事連の発展に寄与した者

佐藤 公郎 氏

函館支部相談役

株式会社佐藤公郎建築設計事務所代表取締役会長



○ 協会表彰

永年勤続等表彰

本会の発展に特に功績・功労のあった者（役員及び支部役員として、通算 20 年以上在任した者）

相良 敬治 氏（札幌支部）

理事・総務委員長
株式会社さがら設計事務所常務取締役



西塚 壯市 氏（札幌支部）

札幌支部監事
株式会社西塚構造事務所代表取締役



藤原 昇悟 氏（札幌支部）

理事・広報委員長
株式会社中山設計事務所代表取締役



亀田 宏 氏（松山支部）

松山支部副支部長
亀田工業一級建築士事務所
代表取締役



安丸 定男 氏（空知支部）

空知支部理事
有限会社ヤスマル設計事務所代表取締役



西島 弘志 氏（空知支部）

空知支部理事
有限会社西島設計代表取締役



古屋 昌廣 氏 (北見支部)

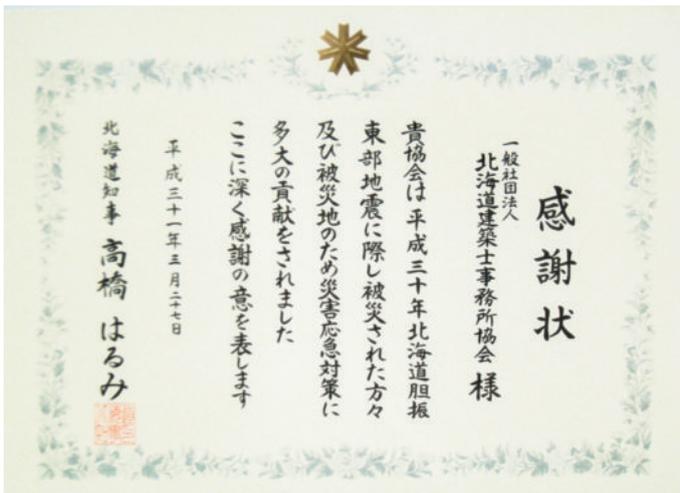
北見支部事務局長

有限会社アトリエロゴス取締役

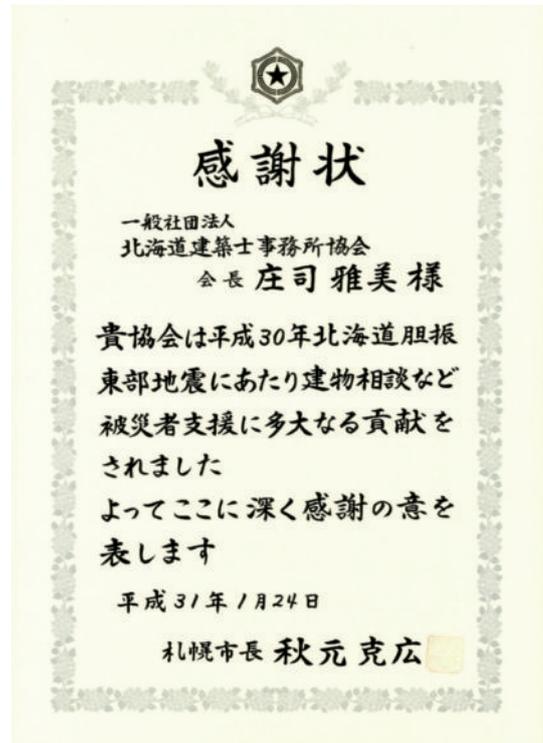


建築士事務所協会への表彰について

昨年9月6日(木)未明、胆振地方中東部を震源とする「平成30年北海道胆振東部地震」が発生し、胆振東部を中心に札幌市においても多くの人的被害、建物被害が発生しました。このため、当協会では、いち早く札幌市内に相談窓口を設置するとともに、被害が集中していた安平町、厚真町、むかわ町において、北海道及び関係団体とともに住宅相談窓口を設置しました。これは、当協会定款に定める協会の目的に沿って行ったことですが、これにより、札幌市と北海道から感謝状を頂きました。



北海道賞状



札幌市賞状

各支部からのおたより

青年委員会の活動

札幌支部副支部長 岡田 幸生（株式会社岡田設計 代表取締役社長）

札幌支部青年委員会では、毎年10月に札幌商工会議所主催の『ミニさっぽろ』建築設計ブースを行っています。ミニさっぽろとは、小学校3・4年生の子どもたちが職業体験や消費体験を通して、働くことの楽しさや大変さを身をもって経験し、社会の仕組みを学んでいくイベントです。2019年度は10/5・10/6に各日2,000人（計4,000人）の子どもたちが参加し盛大に開催されました。

会場内の様々な仕事の中の一つである建築設計ブースでは、長年ペーパークラフトの作成を行っていましたが、今年より一新し建築士会札幌支部青年委員会と共同で、『パズルを使って「住まい」を学ぼう!』を行いました。仕事内容は子どもたちには建築士になってもらい、家の考え方や機能・意味を学びながら家の設計をしてもらいます。まず、スライドで建築士の仕事・役割・重要性を説明し、住宅設計にあたっての動線など基礎を理解してもらいます。次に、“日当たりの良い居間からお庭を眺めたい。”など設計条件を提示し、パズルで自由に平面図をつくってもらいます。子どもたちは、真剣に試行錯誤を重ねながら各々の平面図をつくっていました。

子どもたちの大多数は、建築士という言葉を知っており、将来は建築士になりたいという子どもも多くいました。未来を担う子どもたちに建築士・建築士事務所の社会的役割やいかに生活に密着した夢のある仕事なのかを発信し、建築士の仕事に興味を抱いてもらうきっかけづくりになればと考えています。

最後に北海道本部では、平成30年4月に委員長以下9名で青年委員会を立ち上げ、釧路市で行政の方をお招きし、『時代の変化と建築士事務所～望まれる建築士事務所とは～』とのテーマでフォーラムを開催しました。また、建築士事務所全国大会に合わせて開催される青年話創会に参加し、全国の同世代同業者と懇親会を含め交流を図ることにより、地域毎に抱えている様々な問題点や課題を皆で共有することができました。青年話創会では概ね50歳未満と規定されていますが、北海道の青年委員会では年齢制限はありません。経営者の方、職員の方、ぜひ青年委員会の活動に参加し、情報の共有・意見交換・同世代間の交流を図り、建築設計業界の現状や将来性、事務所経営、人材確保・育成、働き方改革などを語り、横のつながりを作りませんか。



函館の「蔵と町家建築」

函館支部相談役 佐藤 公郎（株式会社佐藤公郎建築設計事務所 代表取締役会長）

～魅力度 No1 の街～

函館は2019年市区町村別の魅力度ランキング調査で2年連続6度目の1位となりました。
(北海道新聞10月8日付)

旅行先として選びたい観光意欲度でも1位となり、その主な要因としては地元産食材の豊富さと並び、函館山からの夜景と共に異国情緒漂う街並みが要因のひとつであります。函館山界隈の西部地区は歴史的建造物と共に、港に開けた20もの坂道があり、より魅力のある町並みを形成し、「歴史とロマン」を実感できる街でもあります。

～外国との交流～

函館は今から160年前（安政6年）横浜・長崎と共に開港し、早くから外国との交流の窓口のひとつとなり、領事館や教会等の洋式建築が建てられ、現在も「歴史的建造物」と「和洋折衷の町屋」が軒を連ね独特の景観を形成しております。

～町屋建築と「土蔵」～

函館の「町屋建築」は洋式建築の影響を受け、

別名「函館様式」とも言われており1階は和風で外壁は「ササラ子」下見板の格子戸、2階は洋風で縦長の「上げ下げ」窓の木造和洋折衷様式の町屋が軒を連ねています。

多くの町屋には「土蔵」が併設されており、当時の街の豊かさを表すと共に、今なお街並みにひっそりと佇む姿は道行く人々に安らぎを与える役割を担っています。

函館の「土蔵造り」の特色は、木造漆喰造・レンガ造・石造り・コンクリート造等その構造体の多様性も特色のひとつです。

多くの「土蔵」はその敷地の西方に建てられ、北西の季節風から住居部分を守ると共に延焼防止の役割も兼ねられていたと考えます。

函館散策の折りには、ぜひ函館様式の「蔵付きの和洋折衷様式」の町屋を見学され、「蔵」の中には「価値ある骨董品」か、それとも「我が家の蔵と同じく不用品ばかり」とか、思い廻らすのも楽しいものです。機会がありましたら、ぜひ魅力度 No1 の街へお運び下さい。



つくろう、建てよう in ひやま

松山支部長 大古 正平（有限会社オオフル建築設計事務所 代表取締役）

支部では、平成26年より 檜山振興局建設指導課、林務課が主体となって、江差町建設水道課、(一社)北海道建築士会松山支部と共同で、「つくろう、建てよう in ひやま」をテーマに、江差町産業まつりに参加をしています。今年は9月29日(日)えさし海の駅「開陽丸」で開催されましたが、前日の晩方から小雨が降り、9時30分頃には強い雨が降りましたが間もなく止み、10時から無事開催されました。

木造戸建住宅の耐震相談、地域特産の道南スギを活かした住宅の新築・リフォーム相談と共に、道南スギの普及促進を考えて、内装材に使用した見本パネル展示もしました。同じく普及推進として過去5年間はスギ材を使用して1人用のイスを、今年はラック（逆さにするとイスにもなる）をコーナーに来て頂いた方に、製作体験を抽選で300名の方にくじを引いてもらい50名の方に（子供からご年配の方まで、くじに外れて1人で7回並んだ方もおりました）作っ

て頂きました。

ラックの棚板には「道南スギ」の焼印を施してPRに努めました。中には家族4人で各1人毎のイスを持っている方もおり、評判は良いです。又、小学生の下級生以下の方には、水風船ヨーヨー釣りをしてもらい、約150個の水風船を釣り上げて持参してもらいました。午後2時まで檜山振興局両課長始め総勢17名でコーナーのPRとラック製作に励みましたが、住宅の耐震相談等を希望する方が、いなかったことが残念でしたが、後日檜山振興局建設指導課に2件の相談がありましたので一安心です。10月には上ノ国町、せたな町産業まつりでラック作りをしました。支部会員はせたな町のみ協力をしました。近年地震や風水に依る被害等が増えて来ており、既存住宅の耐震相談等が増える事と地場材の活用が少しでも広がる事を、願うばかりです。



ニセコヒラフ地区の景観 今昔

後志支部理事 佐藤 裕 (エスワークス建築設計事務所 代表)

ニセコ地区が国際リゾートとして世界的に認知されて倶知安町で G20 観光大臣会合が、10 月 25 日に開催された。各国の参加者、報道関係者は、会場から見た羊蹄山やニセコ連峰に魅了されたに違いない。

倶知安町のヒラフエリアに準都市計画 景観地区指定が施行されたのが 2008 年だからもう 10 年が過ぎた。「倶知安町の持つ美しい風景を無秩序な開発を防止しつつ守り育てる」ことを主たる目的としていた。当時はホテル、コンドミニアム等の建設ラッシュが続き高層のコンドホテルなどの計画が噂されて本州のスキー場リゾートのように住民のいない高層マンションが乱立するような場所にしたいくないとの考えもあり、都市計画審議会が開かれた。当時会長をしていたので、賛成派反対派が、町を二分するような状況下で議論を進めたのを覚えている。審議委員もそれぞれの立場で意見を出したが、ある程度の規制は必要と付帯意見をつけ原案のまま答申した。スイスサンモリッツのスキーリ

ゾートのイメージを皆持っていたと思う。

倶知安町は今、新幹線駅そして道央道の延伸が決定して開発ラッシュは留まることを知らない。ヒラフ周辺特に道道沿いの林は、伐採されて別荘地やホテルが建設されている。緑豊かな景観と言えない状況になってきた。

建物の形状も小規模な別荘は、我々の仲間が設計をしていたように思う、中規模以上は、オーストラリア系のデザインをもとに日本の設計事務所が設計するスタイルから近年は、アジア系のデザインが多くなってきている。エキゾチックというのか、オーナーが考える日本のイメージなのか、私たちの今まで見てきた観光地と全く違う景色が出来上がってきている。

自然景観に配慮した街並みといえるか 10 年を契機に見直しが必要な気がしている。

因みに外国人が考える日本的な建物のイメージは、石と白色と黒色らしく私たちの考える建物とは、違うらしい。

一度、見に来てはどうですか。



2019 小樽支部だより

小樽支部長 中野 隆二 (有限会社フォルムデザイン 代表取締役)

■序

小樽支部が2017年に50周年を迎えたことは先に「ひろば」で案内しましたが、そのおりにふれた市内の未来創造高校建築科の生徒へ小樽の貴重な財産である歴史的建築物をリレーしてゆく事業についてももう少し掘り下げて記録したいと思います。

■歴史的背景

古さで勝負するなら奈良、京都にかなうものではない。我が国には世界最大の木造建築物（東大寺）や世界最古の木造建築物（法隆寺）があります。ではなぜ小樽がこんなに注目を浴びるのでしょうか。一言でいうと近代建築の宝庫と言っても良いのかも知れません。江戸時代の鎖国状態から明治維新を経験しいきなり欧米列強の世界に放り込まれ、国内の内乱が鎮まったと思ったら日清（1894）、日露（1904）の戦い、そして第1次世界大戦（1914）と10年毎に戦争をやっている訳です。

■世界で活躍する小樽商人

ここに越後は刈羽郡出身の高橋直治という商人が登場します。彼は雑穀、特に十勝の小豆を買い占め、当時の世界の火薬庫セルビアで第1次世界大戦が勃発したとき、これら雑穀を放出し、一財産こさえたらそれら資金を惜しげもなく鯉漁場に投じ巨万の富を得、現在もその末裔たちが市役所近くに居を構え札幌で自動車会社の社長として勤んでいます。

直治を頼って同郷人の板谷宮吉がやってきます。始まりは荒物屋でしたが火事で丸裸になり直治に救われ、その後廻船業へ転向。日清戦争で船を徴用され、勝ったので戦勝による報奨金を手にします。その金で当時仲の良かったイギリスからボロ船を買い、やがて

日露戦争が始まると旅順港にロシア戦艦を釘付けにするべく秋山兄弟が活躍するのはこのあたりです。世界最強のバルチック艦隊が出てくる前に旅順港の湾口に例のボロ船を沈めてかろうじて勝ったのです、イギリスに中に入れてもらって。

戦争で露は負けた。勝った日は賠償金の話をもちだす

日「負けたんだからカネ払えヨ」

露「負けただけでカネはないヨー」

日本、イギリスに泣きつき当時北海道開拓庁舎は火事で焼け落ちてしまっていたので民間の事務所建築で一番豪華でピカピカの日本郵船を借りてここで日露国境画定会議を行ない、樺太の南半分を奪ったのでした。もひとつカムチャッカ半島の奥深くまで入りサケマス捕獲の権利も、当時冷凍技術は発達していなかったので船団を組んで獲った先から母船で缶詰にします。これが丸の内にある資本金203億のホッカンHDNGSの前身です。今でも臨港線の大カーブ脇に大正時代の工場がひっそりと操業を続けています。話は戻りますが島と漁業権を奪われたふくれっ面の露人たちをなだめるために小樽商人たちが連れて行った先はかの有名な魁洋亭でした。当時はこの漢字を当てていました。板谷宮吉です。

初代宮吉も直治のように戦争で大儲けをします。しかしこの戦争による景気もそう長続きしない、と読んだ宮吉は二代目には学問、と早稲田へ進学させます。二代目は親の期待に応じて学問で板谷商船を伸ばします。名誉市長に推され無報酬で小樽の街づくりに力をそそぎ、飛び込み台のある深いプール付きの長橋中学校を建て、惜しげもなく市にプレゼントです。初代の英語教師は「雪明かりの街」の伊藤整でした。





■銀行と御三家

こういった成金たちを相手にまず遊郭が次に銀行が次々と支店を建て始めます。さらには莫大な戦費を調達するのに紙幣を刷る、金と交換できないいわゆる不換紙幣を扱うこれでも国立です。銀行がどかどかと建てられました。現在小樽には第1銀行から第147銀行まで歯抜け状態ですが3、4棟残っています。

当時の日本は西洋に追いつき追い越せと熱気がありました。国家を飾る建物は日本様式ではいかに、各藩の優秀な弟子を4人集め、自前の教師をと見渡しても…いない。やむを得ずイギリスの若き建築家コンドルにこの4人を託したのでした。そのうちの一人宮廷建築で名を上げた片山東熊以外の作品が小樽の街にはまだ建っている、どころか立派に機能しています。もう113年も経っているというのに…。

丸の内に建てられた同時代の彼らの作品は平均47年です。かわいそうに、木造でも良かったのに、コンドルと国との契約の中に成績優秀なるものを卒業後3年間英国へ留学させる、という条文が入っています。日本に馴染んでゆくうちにいろいろな財閥、特に新興の三菱から国との契約が終わったら丸の内の赤レンガ街に我社の建物を是非、との依頼にコンドル先生やっちまいました。二番手の辰野を主席で卒業させイギリスへ、先生はお気に入りの曾禰を2番手にして赤レンガの設計の助手に。みなウィンウィンです。

小樽の御三家といえばそう、コンドル一家の旧日本郵船、旧日本銀行、旧三井銀行を指します。

当時銀行建築は2種類あり、三井銀行に代表されるルネッサンス様式のラチスカ積みと安田銀行に見られる列柱方式ですが小樽は圧倒的に列柱式が多く建っています。じつはそれ以外にも鯨の一大漁場のため東小樽の入り口にある豪壮な銀鱗荘、北の祝津に隠れるように建つ青山別邸、岬の先端に建つ勇壮な鯨御殿、小樽公園の脇にひっそりと建つ田上義也の坂牛邸皆それぞれに意義があり歴史があり、小樽という風土に根ざ



しています。

変わり行く街、札幌から見たら何も変わっていないようにみえる街小樽。11年後には新幹線が幸せか不幸を乗せてやってくる。

江戸時代から北前船が京、大阪の文化を乗せて運んできて現在の価値で1億円の荒稼ぎの出来た街。

岩見沢の石炭、室蘭の鉄、小樽の港、炭鉄港で日本の繁栄と底力を築いた街。

過去の栄光にすぎるだけの街、すぎるものがあるだけいいじゃないか。We love Otaru です。

この小樽で同じDNAを受け継いでいる若い建築士のタマゴたちに理解してもらえるよう、レトロの街小樽を高校生たちに伝えてゆこうと思っています。



過去5年間の出来事とこれからの事

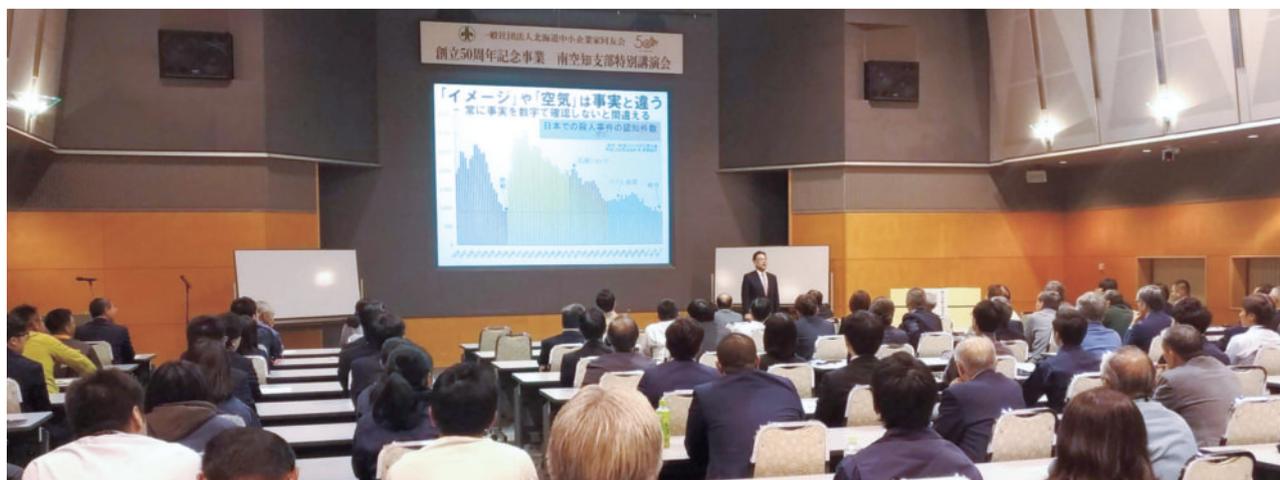
空知支部長 中田 信広 (株式会社中田建築設計 代表取締役)

先日楽しい話を聞きました。その内容の中で特に印象に残った事を簡単に披露させていただきます。札幌の人口は、2014年正月から2019年正月までの5年間に0～14歳は4,000人(その年代の△2%)減って、15～64歳は53,900人(その年代の△4%)減っているのに、65歳以上は83,000人(その年代の19%)増えているそうです。このような傾向は、日本国中の都市で起こっており、東京などの大都市はもっとひどい状況とのことでした。そして、岩見沢市も例外でないことでしたが、お隣の三笠市は0～14歳は30人(その年代の16%)増えて逆に65歳以上が300人(その年代の7%)減っているとのことでした。つまり、高齢者が便利さを求めて大都市に集中した結果、過疎地の医療福祉予算が減り始めていて、子育て支援の方に向けやすくなったことを示しているのではないかとのことでした。

私が設計事務所を開設している栗沢町は、開設した当初1万2千人位の人口でしたが、それが現在は5千人程度に減った過疎地です。そこ

に23年前に55坪の断熱・気密のしっかりした住宅を建てたのですが、4人家族だった家が完成してすぐ長女が札幌に就職。長男も2年後に東京に進学・就職。わずか3年後には夫婦2人になってしまったのです。妻からは「こんな大きな家を過疎地に建てて、私たちが亡くなったあと誰が住むの!」と怒られています。しかし、「日本の住宅が30年程で壊されるのは、小さな住宅を造ってきた結果。100年以上住み続けられている住宅は全て大きな住宅で、時代の大きな流れの変化にも対応できた結果。」との当時室蘭工大の助教授だった鎌田さんの言葉を信じて、多少大きな住宅を無理して建てたのでした。

そんなわけで私の心が内心萎えていたのですが、前段の過去5年間の話を聞いて「時代がまた大きく変わるかもしれない。私たちが亡くなっても4人の孫の内の誰かが住んでくれるかもしれないし、それがダメでも子育てをする若い人が借りてくれるかもしれない。」と。ひそかに希望の持てる楽しい話でした。



『建築と人の思い』

名寄支部 筒井 正敏 (中館建設株式会社 顧問)

昨年、36年間務めた管理建築士を後継に引き継ぎ一息ついた。

最近ゆっくり散歩すると古い建物が目に入る。古い建物が多くなったこともあるが、これまでは忙しくてあまり気にも留めなかったのだろう。建物の大小は別にして、いつ頃の完成だろう。社会情勢は、建て主・設計者・施工者・職人たちのこの建物にける思いはどうだったろう。また、修繕しながら人生を全うしただろうかなどと考える。

以前、出張などで時間があるとその町を散歩した。特に何処を観たいと言うわけではないが、歩くとその町の『におい(文化・生活)』が感じられた。商売柄、新しい建物に目が行き、デザイン・色彩・町に馴染んでいるか、建物の中に入って見ると動線は良いか等、建物の出来が気になってしまう。

10月31日の朝、首里城の焼け落ちる様子をテレビで見て絶句した。『何が起きた!』台風による災害が続いて、毎日のように風水害の様子が出ていたので火災は異様に見えた。

25年前沖縄へ旅行に行った時、完成して間もない首里城の限りなく赤に近い朱色の鮮やかさに衝撃を受けた。柱・壁に漆を塗ってあると聞

いてさらに驚いた。復元した建物なので、観光目的にずいぶん費用をかけたなと思ったが、そこに歴史を感じることができなかった。

しかし、今回焼失した首里城に対する沖縄の人々の思いは、私が考えていた程度のものとはかけ離れていた。歴史を知らなければ、沖縄県民・設計者・施工者・職人の思いは簡単に言葉にできないと思った。再建には長い時間と険しい道のりが予想されるが、沖縄県民と技術者集団は必ずやり遂げるだろう。

建物にはいろいろな人の思いがある。それは個人の思い、地域の思い、国家の思いであり、目的も様々である。共通して言えることは、大事な命と物を守り、人々の思いが込められている器であること。その器は天災や人災にひ弱なものであってはならない。だが、私たちは過去の経験でしか学べない。自然を恐れ、技術の限界を受け止めながら努力しなければならないと思う。



まちと建築

留萌支部副支部長 荒谷 順一（有限会社荒谷一級建築設計事務所 代表取締役）

日本史上最悪の海難事故と言われる洞爺丸台風という大きな災害が襲った65年前の昭和29年9月。洞爺丸の乗員乗客1,139名が死亡するなどの大惨事となりました。

また、北海道岩内町では、3,300戸が焼失する大火災が発生しました。さらに広い範囲で暴風となったため、被害は九州から北海道まで全国に及んだのも覚えている方も多いただろう。留萌市もその被害は甚大であった。

昭和30年以降、留萌の町はニシン漁の衰退があり、大きな転換期を迎えた。

町は一つの時代の変化に合わせて、経済の成長とともに、留萌市にも建築を生業とする企業が生まれた。

最盛期には、建築業の業者は30軒を超え、多くの市民が住宅を求め、企業も自社事業を拡げ、街には商店街やアーケードを持つ街並みが生まれた。

初めの頃は、快適さというよりも衣食足りて礼節を知るのことわざのごとく、一国一城の主となり、家庭を築いたものが主であったが、留

萌市にも高度経済成長とともに注文住宅などの依頼も増加し、街には個性を持った住宅や店舗、ビルなどが造成されていった。

建築業に携わる仲間が集い、意見交換の場を設け、時に情報収集や、先端技術の習得に熱い意見を交わす場が生まれ、現在の北海道建築士協会留萌支部が生まれることとなった。

街の至る所に、それぞれの思い入れを持った住宅が立ち並び、街の発展に少なからず寄与してきた自負と誇りがある。

建築業は人が住み働くところには、必ず少なからず存在し続けて行く事が使命となるであろう。

その昔、民のかまどを気にした城主がいたが、建築士はまさしく市民の暮らしが続いていく街にこれからも見守り続けて行くだろう。

私達のまちと建築の歴史の一端を知っていたことに感謝し、これからも精進していく事をお伝えし、私達の心意気としてお話を閉じさせていただきます。



人生 100 年時代

室蘭支部副支部長 半崎 敏裕 (有限会社はんざき建築事務所 代表取締役)



小生、只今 70 才、現役の設計士として走り回っている。あと何年やれるのか。工業高校建築科を卒業、ゼネコンの現場監督として 3 年、自分には工事現場

が合わない決め、設計の道へ。当時札幌の事務所に席を置いていたが、家の都合で 6 年で室蘭に戻る。事務所もすぐ見付き、9 年間世話になった。今自分で事務所を持ち、3 人のスタッフと共に 35 年ほどやってこれた。いつも経済的な心配が頭から離れず、現在も大変あるが、設計が好きゆえに今日までやってこれた。

さて、100 才まで残り 30 年、どんな人生になるのだろう。健康でないと意味がない。今のところ大きな病気はない。体の心配をしながら、周りから止められながら 4 年間、5 月の洞爺湖マラソン 10 km に挑戦した。ゴールと同時に完走賞をいただき、60 才代の部の順位と、タイムがすぐわかるのにはびっくりした。来年は

70 才代の部となる。順位は上がると思うがタイムはどうか。年があげたらトレーニングを始めようか。今思うと高校時代、補欠であったが、バスケットボールクラブで体力がつき、今もその影響があるのだろうと思う。

もう一つやっている事がある。朝の NHK ラジオ体操である。まだ数カ月であるが、肩こりもなくなり、体が軽くなったような気がする。

健康寿命が今、男 72 才、女 74 才。とりあえず 72 才まで体を動かすか。建築が好きだから、建築が面白いから、毎日が楽しい。

最近地元新聞に室蘭が、『住みよさランキング』全道 1 位という記事を見つけた。東京の新聞社が、①安心度 ②利便度 ③快適度 ④富裕度の 4 つの視点から、22 の指標について平均値を 50 として偏差値を算出した。その結果、快適度が総合全国 9 位となったため、全道 1 位となったとの事。何はともあれ室蘭人として、うれしい限りである。

これまでお世話になった多くの人に感謝である！

「規制緩和と地方分権さらには地方創生？」

十勝支部理事・業務委員長 小野寺一彦（有限会社 設計工房アーバンハウス 代表取締役）

1980年代以降、行われてきた規制緩和の数々。ご多分に漏れず建築界でもその緩和が行われ続けている。

その代表的なものが、民間建築基準審査機関と言えるだろう。

そして、内閣府の政策で地方分権が唱えられ25年が過ぎる。

北海道では2010年に、知事の権限に属する事務を分掌させるため条例を改正し、14支庁から9総合振興局及び5振興局へと機構改革が行われた。

その条例の第4条に「総合振興局長及び振興局長は、市町村と連携しつつ地域の課題に即応した行政運営並びに地域の特性及び道民の意向に配慮した政策を効果的かつ効率的に推進するものとする」とあるが、さてどうだろう。

身近なところでは、振興局での建築確認審査の面積が5,000㎡までだったものが、何の通知もなく、昨年4月1日から1,000㎡をこえると本庁審査となった。

この日を境に、振興局建設指導課との事前打ち合わせが反故となり、とかち広域消防局の緩和規定にまで話が広がりふりだしに戻る。そして地域の特性及び道民の意向にそぐわない方向

へと話が及んだ。

車で10分ほどの距離の振興局で打ち合わせができたところが、1日10往復しかない列車で、往復6時間近く費やすとなった。

そんなおり「畜舎建設 規制緩和へ」農水省、コスト削減へ特別法の新聞記事を目にする。畜舎・堆肥舎の基準は既に2003年に告示が改正され今日に至っている。記事によると、農水省は今夏、国交省や農業者、建築士などによる検討委員会を立ち上げるとある。農業施設は畜舎・堆肥舎だけではない。畑作農家の定温庫や格納庫他、事務所機能が加わった複合施設など種類は多い。

既に夏は過ぎ立冬を迎えたが、動きが何ら伝わってこない。

さらに「国産材の利用で地方創生を推進」全国の経済同友会や都道府県知事市町村らでつくる「木材利用推進全国会議」が11月7日発足とあった。

いったい誰のためのものか？ 自問が続く。

「木を見て森を見ず」とならないよう、我々の業界団体の舵のとりかたに期待を寄せざる得ないこんにちである。

釧路支部の委員会活動の一端について

釧路支部理事 業務・技術委員長 久保 伸裕(株式会社協立建築デザイン事務所 代表取締役)

釧路支部は、一昨年に創立 50 周年を経て現在も会員全員が、総務・親睦委員会、業務・技術委員会、情報委員会、指導委員会の 4 委員会の何れかに委員として所属し、役割を分担してそれぞれ担当の副支部長を頭に支部の発展のため、チームワークよく活動を続けています。

本稿では、私の担当する業務・技術委員会の本年度の活動の一端を紹介したいと思います。

当委員会の数ある役割の中で最も重要なのは、読んで字の如く「会員のための業務や技術に関する、新しい情報を提供すること」にあります。

本年度も例年通りに、賛助会員を交えて「新しい技術や法令の改正など」に関するセミナーを 6 講、開催しました。

他の活動としては、今年も 10 月に釧路総合振興局主催の「第 10 回くしろ安心住まいフェア」にも建築士会等と共に協力の立場で参加しました。1 日限りの催しですが、雨天にも拘わらず 300 余名の市民が足を運んでくれて事務所協会の PR もしっかり果たせ、成功裏に終わりました。

我が支部のある釧路市は、約 10 万 ha の森林から生み出される豊富な資源を擁する森林都市であり、他支部の地域事情と同様に木材の需要

拡大、循環と森林の再生が課題となっています。

今年は、「くしろ木づなフェスティバル」実行委員会（釧路市、釧路森林資源活用円卓会議）に川下（地域材利活用を進めるための提案ができる建築設計者集団）の立場から、これにも協賛しました。

フェスティバルは、「広報くしろ 11 月版」の一面記事にもなる大きなイベントで、11 月 9 日（土）から 2 日間にわたり、釧路市観光国際センターの大会場と前庭に 30 あまりのブースを設けて一般市民、近隣町村住民を対象にした、お祭りの雰囲気さながらに、延べ 4,000 人の参加がありました。

会場内は単なる展示のみならず、体験メニューも豊富に寸劇、音楽、ダンス、木のサイエンスショー、ゲームに加えて飲食ブース、と多彩な催しとなり大盛況でした。この中には、一角に我が事務士協会組織や活動などについての紹介パネルやパンフレット配布のスペースも確保し、アピールも怠りませんでした。

今後も、協会員のみを対象にした活動に限定することなく、外部に開かれた協会として他の委員会と協力し、続けていきたいと考えています。

さけ削りぶしで地域活性化に挑む

根室支部 田村 正範（丸和信和建設株式会社 代表取締役）

当社は北海道標津町の川北地区にある一般住宅の新築・リフォームから公共工事まで請け負う建設会社ですが、平成21年7月に「標津産ブナサケを原料とした手火山（てびやま）づくり製法を取り入れた削り節の開発・販売」という事業名で経済産業省と農林水産省から地域資源活用事業の認定を受けました。「なぜ建設会社がサケ節を？」と感じる方も多いと思いますが、きっかけは私が代表を務める「美しい村標津産蕎麦作り研究会」の活動にあります。

同会は手打ち蕎麦をきっかけに地域が元気になれば平成20年に設立。以降、毎年、蕎麦の作付けから収穫、蕎麦打ちまでを異業種の仲間と試行錯誤しながら行っています。その中で蕎麦つゆも作っていましたが「もっと美味しい蕎麦つゆは造れないか？」という発想から、標津の地域資源である鮭（未利用資源の鮭）で節は出来ないものかと鮭節製造案が持ち上がり、そこでご縁が重なり静岡県焼津市の㈱ヤマ増田商店に鱈節の伝統製法である「手火山（びやまづくり）製法」の技術伝授をして頂くことになりました。



手火山焙乾中

この製法は直火であることで熱伝達が輻射熱（遠赤外線）ですので、より美味しい節の製造が可能となり、「優しい美味しさが出ている」という感想を多く頂き製品化に自信を深めました。



平成22年5月、当社の空き倉庫に手火山式焙乾炉、急造庫、加工施設が完成して自社製さけ節の製造体制が整い、『手火山（てびやま）造り鮭節「華ふぶき」』としての本格販売が開始となりました。

主な販売先としては業務筋ですが、個人向けの小売要請も多かったため小売用パッケージを作った他、だしパックやご会葬用パックも商品化しています。

現在は展示商談会の営業活動や催事への出店活動など積極的に行っているところですが、「地方の資源を活かした地域活性化」という観点から幾つかのマスコミに取り上げて頂いたおかげ

もあり、現在のような厳しい経済下においても継続的に引き合いがある状況です。

今後は、標津町を全国に発信して地域経済の活性化に貢献したいと思っています。



2019.6.16 料理マスターズブランドに認定された華ふぶき

建築士事務所登録等事務の業務について

建築士又は建築士を使用する者は、他人の求めに応じ報酬を得て、次の業務を業として行おうとするときは、建築士事務所を定めて、その建築士事務所について、北海道知事が指定した指定事務所登録機関の登録を受けなければならない、その登録の有効期間は5年と定められています（建築士法第23条、第23条の2、第26条の4）。また、無登録業務は建築士法で禁止されており、違反した場合には罰則に処せられます（建築士法第23条の10、第38条）。

（建築士事務所の業務）

- 1 建築物の設計
- 2 建築物の工事監理
- 3 建築工事契約に関する事務
- 4 建築工事の指導監督
- 5 建築物に関する調査若しくは鑑定
- 6 建築物の建築に関する法令若しくは条例の規定に基づく手続きの代理

一般社団法人北海道建築士事務所協会では、平成2年4月1日より、北海道からの委託により、19支部が受付窓口となり、建築士事務所登録等事務の業務を実施してきましたが、改正建築士法（平成18年12月20日法律第114号）第26条の3第1項の規定に基づき、平成22年2月17日付け建指第2570号指令をもって北海道知事から指定事務所登録機関に指定され、平成22年4月1日から指定事務所登録機関としての業務を開始しました。

（指定事務所登録機関の業務）

- 1 業務内容
 - 建築士事務所の登録等事務
 - 登録簿及び所属建築士名簿の閲覧事務
- 2 業務の実施方法

事務所登録等の事務は、本部で行います。ただし、登録等の受付事務及び閲覧事務は、各支部で行うこととし、本部と19支部が専用パソコンによる回線で結ばれ、専用スキャナの活用により業務の厳正かつ公正な執行と迅速化を図ることとしています。

〔建築士事務所の登録の状況（令和元年9月30日）〕

		登録数	会員	会員以外
建築士事務所		4,338	1,022	3,316
一級・二級・木造別	一級	2,678	759	1,919
	二級	1,648	261	1,387
	木造	12	2	10
個人・法人別	個人	1,175	146	1,029
	法人	3,163	876	2,287
建築士事務所に属する建築士				
一級・二級・木造別	一級	4,225	1,757	2,468
	二級	4,362	1,246	3,116
	木造	27	10	17

設計等の業務に関する報告書に係る事務について

平成 19 年 6 月 20 日施行の改正建築士法により、建築士事務所の開設者は、毎事業年度経過後 3 カ月以内に、設計等の業務に関する報告書（業務報告書）を作成・提出することが義務付けられることになりました（改正建築士法第 23 条の 6）。

この業務報告書は、一般の閲覧に供せられることとされており、当該建築士事務所がどのような業務の実績があるかを建築主や消費者に情報開示することを目的としています。なお、未提出又は虚偽の記載をした場合には、罰則が規定されており行政処分の対象にもなります（建築士法第 41 条第 1 項）。

（報告内容）

1 業務の実績

当該事業年度における当該建築士事務所の実績の概要

2 所属建築士名簿

当該建築士事務所に属する建築士の氏名、一級・二級・木造建築士の別及び構造一級・設備一級建築士の別、登録番号並びに定期講習受講歴、管理建築士はその旨

3 所属建築士の業務の実績

所属建築士ごとの当該事業年度における業務の実績（当該建築士事務所におけるものに限る）

4 管理建築士による意見の概要

建築士事務所の開設者に対して述べられた意見（技術的観点からその業務が円滑かつ適正に行われるようにするための意見）の概要

なお、設計等の業務に関する報告書に係る事務については、平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までは、北海道からの委託事業として行い、平成 22 年 4 月 1 日以降は、北海道との協定により当協会が指定事務所登録機関として実施しています。北海道との協定では、次の業務を行っています（業務経費については、建築士事務所登録手数料より支出）。

（指定事務所登録機関の業務）

- 1 設計等の業務に関する報告書の受付、内容確認、総合振興局・振興局への進達（各支部）
- 2 建築行政共用データベースシステム（建築士・事務所登録閲覧システム）への入力（本部）
- 3 未提出の建築士事務所への文書による督促（本部）
- 4 設計等の業務に関する報告書の閲覧（各支部）

〔設計等の業務報告書の提出状況〕

	平成 30 年 4 月 1 日 ～平成 31 年 3 月 31 日	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和元年 9 月 30 日
建築士事務所数	4,364	4,338
業務報告書受付件数	3,615	2,437
提出率	82.8%	56.2%
業務報告書督促件数	2,094	1,711
督促率	48.0%	39.4%

改正建築士法業務報酬基準 講習会

平成 31 年 1 月 21 日に建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準が改正されました。この基準は、国土交通省が定めるもので、近年の建築物の設計・工事監理の多様化・複雑化、建築主等からの設計等の業務に対する要求基準の高まりなど建築士事務所の業務環境に大きな変化が生じてきていることから、業務報酬基準告示の見直しを行い、平成 31 年国土交通省告示第 98 号として公布・施行されました。新しい業務報酬基準では、略算方式に用いる略算表の刷新、設計等業務の難易度の反映、標準業務内容の明確化などが行われています。

当協会では、建築物の設計・工事監理が適切に行われるためには、業務応じた適切な報酬を得ることが重要なことから、各支部において所属会員への周知活動を行ったほか、札幌商工会議所建設部会建築設計分科会と合同で、下記のとおり講習会を実施しました。

第 1 回目 開催日時 平成 31 年 4 月 22 日(月) 14:00~15:30
開催場所 札幌商工会議所会議室
受講者数 28 名

第 2 回目 開催日時 平成 31 年 4 月 24 日(水) 14:00~15:30
開催場所 札幌商工会議所会議室
受講者数 12 名

建築士定期講習

平成 17 年 11 月に建築物の構造計算偽装事件をはじめ相次いで発覚した類似の事件によって失われた建築物の安全性と建築士制度に関する国民の信頼を回復するために、平成 18 年に建築基準法と建築士法がそれぞれ改正されました。このうち、「建築士の資質・能力の向上」、「高度な専門能力をもつ建築士による設計[構造設計・設備設計]」、「設計・工事監理業務の適正化と消費者への情報開示」等を目的とする平成 18 年 12 月改正建築士法は、平成 20 年 11 月 28 日に施行され、建築士を対象とした各種講習制度が創設されました。このことにより、設計・工事監理等の業務を「業」として行う建築士は、業務を実施するのに必要な能力を確実に身につけておく必要があることから、建築士事務所に所属している一級建築士、二級建築士又は木造建築士には、3 年ごとに定期講習を受講することが義務付けられ、受講しなかった場合には、戒告または 2 カ月間の業務停止処分の対象となりました（建築士法第 10 条第 1 項第 1 号、第 22 条の 2）。

なお、講習は、建築士法に基づき、登録講習機関である「公益財団法人建築技術教育普及センター」の実施協力機関として当協会及び一般社団法人北海道建築士会が実施しており、本年度は、令和元年 6 月 21 日(金)の札幌市を始めに、全道 8 市 10 会場で開催した。

[建築士定期講習の受講者数]

開催地	開催月日	開催会場	受講者数
札幌市	6月21日(金)	北海道第二水産ビル	212
	7月26日(金)	北海道第二水産ビル	142
	10月18日(金)	北海道第二水産ビル	178
函館市	7月11日(木)	北斗市総合文化センターかなで〜る	113
旭川市	7月18日(木)	旭川市勤労者福祉総合センター	78
北見市	7月5日(金)	北見市端野町公民館	85
室蘭市	7月11日(木)	室蘭市市民会館	51
苫小牧市	7月12日(金)	苫小牧市民会館	53
帯広市	7月5日(金)	とがち館	96
釧路市	7月16日(火)	釧路市生涯学習センター	99
合 計			1,107

管理建築士講習

管理建築士は、建築士事務所の業務に係る技術的な事項を総括する立場にあります。従前は、建築士であれば誰でもなることができましたが、平成 17 年 11 月に起きた建築物の構造計算偽装事件をはじめ相次いで発覚した類似の事件により、平成 20 年 11 月 28 日に改正建築士法が施行され、建築士事務所を管理する建築士（管理建築士）の要件が強化されました。この改正により、管理建築士となるには、建築士として 3 年以上の設計その他国土交通省令で定める業務に従事した後、国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う「管理建築士講習の課程を修了することとされました。

この講習は、当協会が、建築士法に基づく登録講習機関である公益財団法人建築技術教育普及センターの実施協力機関として、平成 20 年度は「管理建築士資格取得講習」、平成 21 年度からは「管理建築士講習」として実施しています。講習内容は、「建築士法その他関係法令に関する科目」及び「建築物の品質確保に関する科目」で、テキストを使用した講義と修了考査となっています。本年度は、札幌市で 6 回開催しました。

[管理建築士講習の受講者数]

開催地	開催月日	開催会場	受講者数
札幌市	1月23日(水)	大五ビル2階会議室	15
	3月20日(水)	大五ビル2階会議室	19
	5月15日(水)	大五ビル2階会議室	21
	7月10日(水)	大五ビル2階会議室	21
	9月18日(水)	協会会議室	10
	11月8日(金)	大五ビル2階会議室	22
合計			108

震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準 および復旧技術指針講習会

建築物の震災後対策としては、地震発生直後に、余震等による建築物の倒壊及び部材の落下等による二次災害から住民の安全を確保するために建築物への立ち入りの可否等を判定する「応急危険度判定」と、応急危険度判定が実施された後等に震災建築物の復旧を目的として震災建築物の主として構造躯体に関する被災度区分判定を行い継続使用するための復旧の要否を判定するための「被災度区分判定」があります。

応急危険度判定については、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災において我が国で初めて本格的に実施され、その有益性の認識と経験を踏まえ、その後都道府県において応急危険度判定士の養成登録が行われるとともに、応急危険度判定を迅速かつ確に実施するための全国組織として全国被災建築物応急危険度判定協議会が平成8年4月に設立されるなど体制の整備がなされています。

一方、応急危険度判定実施後等に、住宅相談も含め震災建築物の復旧のために必要な被災度区分判定の実施に関する体制の構築も急務の課題となっており、当協会では、平成17年度より被災度区分判定及び復旧業務を行うことができる建築士を育成することを目的に講習会を実施してきました。なお、講習会の受講修了者で希望する建築士に対し、一般財団法人日本建築防災協会より技術者証が発行され、さらにその建築士を有する建築士事務所で、希望する建築士事務所を対象に建築士事務所名簿を作成し日本建築防災協会及び日本建築士事務所連合会のホームページに掲載し、震災後対策として住宅相談や被災度区分判定等の活動が必要となった際の建築士事務所（建築士）の検索、協力要請等の資料として活用に供することとしています。

平成23年3月に発生した東日本大震災、平成28年4月に発生した熊本地震など、近年、大きな地震が相次いで発生しており、さらには、首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模な発生が危険視されているが、昨年は、北海道胆振東部を震源とする地震が、この北海道でも発生し、41名もの尊い命が失われる事態となり、この講習の必要性は、益々高まっています。

【震災復旧のための「震災建築物の被災度区分判定基準及び復旧技術指針」講習会】

開催地	開催時期	開催場所	講習種別	受講者数
札幌市	5月22日(水)	北海道自治労会館	全構造・全日講習	47
			木造編・半日講習	2
			計	49

開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会

平成 18 年 12 月に改正公布された改正建築士法のうち建築士事務所協会及び建築士事務所協会連合会の法定化に係る規定（第 7 章・第 27 条の 2 から 5）が平成 21 年 1 月 5 日に施行され、当協会は、建築士事務所業務の適正化と建築主の利益保護を担う団体として法律に位置づけられた所謂法定団体となりました。

この研修は、それまでの「建築士事務所の管理講習会・開設者研修会」に替え、建築士法に規定された法定団体である一般社団法人北海道建築士事務所協会及び一般社団法人日本建築士事務所協会連合会が、建築士法第 27 条の 2 第 7 項に基づく研修として実施したものです。

研修は、平成 25 年から実施していますが、建築士法の定めに基づくほか、北海道知事からの受講奨励の文書を発行してもらうほか、講師の派遣も受けて実施しています。また、研修は、建築士事務所の管理・運営を適切に進める上で把握しておくべき重要事項を網羅した内容となっており、5 年ごとの事務所登録更新の機会にあわせて受講することで、開設者、管理建築士の資質の維持向上を図り、業務委託者の期待に応えるべく業務の適正化や建築物の質の向上等を目指すことを目的としています。

本年度の研修会は、平成 31 年 2 月 28 日(木)の札幌市をかわきりに、全道 6 市 8 会場で開催した。

[開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会]

開催地	開催時期	開催場所	受講者予定数
札幌市	2 月 28 日(木)	北海道自治労会館	70
	10 月 10 日(木)	北海道自治労会館	41
	11 月 13 日(水)	北海道自治労会館	51
函館市	10 月 21 日(月)	北斗市総合文化センターかなで〜る	19
旭川市	10 月 25 日(金)	旭川市勤労者福祉総合センター	19
北見市	10 月 25 日(金)	北見市民会館	11
苫小牧市	10 月 16 日(水)	苫小牧市民会館	21
釧路市	10 月 18 日(金)	釧路市生涯学習センター	10
計 6 市 8 会場			242

既存住宅状況調査技術者講習

既存の建物の流通を促進するとともに、宅地又は建物の買主等の利益の保護を図るため、宅地建物取引業者に対し、建物の構造耐力上主要な部分等の状況の調査を実施する者のあっせんに関する事項の媒介契約書への記載、当該調査の結果の買主等への説明を義務付けるとともに、宅地建物取引業者を営業保証金等による弁済の対象から除外する等の措置を講ずることを目的に宅地建物取引業法の一部が改正されました（平成28年6月3日公布、平成30年4月1日施行）。

また、既存住宅の調査の担い手となる技術者の育成を進めることにより、宅地建物取引業法の改正による建物状況調査（インスペクション）の活用促進や既存住宅売買瑕疵保険の活用等とあわせて、売主・買主が安心して取引できる市場環境を整備し、既存住宅流通市場の活性化を推進するため、既存住宅状況調査技術者講習制度が創設されました（平成29年2月）。

この既存住宅状況調査技術者講習の実施については、国土交通大臣の登録を受けなければなりません。一般社団法人日本建築士事務所協会連合会（以下「日事連」という。）は、平成29年6月9日に国土交通大臣の登録を受けたことから、当協会も実施協力機関として、平成29年度から講習を実施しています。

なお、講習は、既にインスペクター登録をされている建築士を対象とする「移行講習」と登録されていない建築士を対象とする「新規講習」に分けられますが、今年度は、当協会副会長の重綱博美氏、地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所地域研究部長渡邊和之氏による新規講習が実施されました。

既存住宅状況調査技術者講習

[新規講習]

開催地	開催日時	開催場所	受講者
札幌市	11月15日(金)	大五ビル2階会議室	15名

建築士事務所キャンペーンについて

当協会及び建築士事務所の存在と活動を広く一般の方々に知っていただくため、毎年度、各支部主催で多彩な事業を行っている。今年度の「建築士事務所キャンペーン」事業は以下のとおりとなっている。

支部名	行 事 名	開 催 日	参加者数
札幌支部	木造住宅の耐震改修工事に関する市民向けセミナー	8月7日(水)	36
	第5回お菓子の家づくりコンテスト	10月20日(日)	61
	第19回「きらりと光る北の建築」	11月8日(金)～10日(日)	1,200
函館支部	第7回お菓子の家づくりコンテスト	6月9日(日)	60
後志支部	「第12回ふるさとを描こう」絵画コンクール	11月3日(日)	143作品
小樽支部	小樽未来創造高校生徒と市内歴史的建造物を巡る課外授業	9月12日(木)	27
	小樽未来創造高校生徒への歴史的建造物についての出前授業	10月10日(木)	26
空知支部	住宅新築&リフォームフェア	3月30日(土)～31日(日)	300
旭川支部	第29回旭川建築作品発表会	2月16日(土)	50
	バウハウスと旭川展	6月4日(火)～6月23日(日)	500
	北の恵み食ベマルシェ 2019 参加	9月14日(土)～16日(月)	766
	第17回お菓子の家づくりコンテスト	10月12日(土)	38
十勝支部	住宅の一次エネルギー消費量の算出講習会	6月27日(木)	23
	改正建築基準法・同施工例等の解説セミナー	8月30日(金)	71
	10士業合同 くらしの「よろず」無料・相談会	10月19日(土)	50
	防火設備の構造方法を定める件の告示改正に伴う説明会	10月25日(金)	50
釧路支部	住まいの無料建築相談会	9月5日(木)	4
	第10回くしろ安心住まいフェア	10月26日(土)	500
	くしろ木づなフェスティバル	11月9日(土)～10日(日)	4,000



札幌支部
木造住宅の耐震改修工事に関する
市民向けセミナー



札幌支部
第5回 お菓子の家づくりコンテスト



札幌支部
第19回 「きらりと光る北の建築」賞
パネル展



函館支部
第7回 お菓子の家づくりコンテスト



後志支部
「第12回 ふるさとを描こう」
絵画コンクール



小樽支部
小樽未来創造高校生と市内歴史的
建造物を巡る課外授業



小樽支部
小樽未来創造高校生への歴史的建造物に
ついての出前講座



空知支部
住宅新築&リフォームフェア



旭川支部
第29回建築作品発表会



旭川支部
バウハウスと旭川展



旭川支部
北の恵み
食ベマルシェ 2019 参加



旭川支部
第17回お菓子の家づくりコンテスト



十勝支部
住宅の一次エネルギー
消費量の算出講習会



十勝支部
改正建築基準法・同施工例等の
解説セミナー



十勝支部
10土業合同
くらしの「よろず」無料・相談会



十勝支部
防火設備の構造方法を定める件の
告示改正に伴う説明会



釧路支部
住まいの無料建築相談会



釧路支部
第10回 くしろ安心住まいフェア



釧路支部
くしろ木づなフェスティバル

平成 31 年度・令和元年度 委員会開催状況

当協会には、8つの委員会が設置されています。それぞれの委員会は、全道各支部から委員が参集し、協会運営についての様々な課題を検討するとともに「社会」「建築業会」「会員」に役立つ一般社団法人北海道建築士事務所協会であることを目指しています。

委員会名	開催日	議 題
総務委員会	① 2月 6日(水) ② 5月 21日(火) ③ 7月 16日(火) ④ 11月 29日(金) ⑤ 12月 13日(金)	・ H30 監査資料審査 ・ 定款の変更 ・ 理事会提出議案審査 ・ 日事連年次功労者表彰の選考 ・ 日事連建築賞一次審査 ・ 理事会提出議案審査 ・ 諸規定の見直し ・ 会員増強キャンペーン ・ 知事表彰の推薦 ・ 理事会提出議案審査
業務・技術委員会	① 7月 4日(木) ② 9月 10日(火) (WG) ③ 10月 17日(木) ④ 11月 20日(水)	・ 改正業務報酬基準の適用 ・ 地方公共団体等への共同要望 ・ 設備設計事務所不足問題 ・ 設備設計事務所協会との連携 ・ 北総研との技術交流
広報委員会	① 5月 30日(木)	・ 会誌「hiroba (ひろば)」の構成
教育・情報委員会	① 7月 1日(月) ② 11月 20日(水)	・ 建研修会の実施検討 ・ 管理研修会の受講者 UP 対策 ・ 北総研との技術交流
指導委員会	① 9月 3日(火)	・ 建築相談調査登録事務講習会について
IT 委員会	① 5月 30日(木)	・ 協会ホームページの改修
青年委員会	① 5月 14日(火) ② 8月 23日(金) ③ 11月 20日(水)	・ 青年委員会の活動検討 ・ 青年委員会アンケート結果 ・ 北総研との技術交流
倫理委員会	開催なし	

行政等への要望活動

当協会では、建築士事務所の健全な発展と建築文化の向上を図るため、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会（略称「日事連」）との連名で、毎年度、北海道開発局営繕部長、北海道建設部建築企画監、札幌市都市局長へ当協会単独の要望書と併せて提出し、また、道内の全市町村に対しては同要望書を郵送しております。また、自民党北海道支部連合会との「団体要望懇談会」に参加し、建築士事務所の現状や当協会からの要望などについて意見交換を行っています。

1 北海道開発局への要望

要 望 日 令和元年 8 月 8 日(木)
出 席 者 (相手方) 北海道開発局営繕部長ほか
(協 会) 庄司会長、柳館副会長、中島副会長、中川事務局長
要望項目 下記のとおり

2 北海道への要望

要 望 日 令和元年 8 月 8 日(木)
出 席 者 (相手方) 北海道建設部建築企画監ほか
(協 会) 庄司会長、柳館副会長、中島副会長、中川事務局長
要望項目 下記のとおり

3 札幌市への要望

要 望 日 令和元年 8 月 8 日(木)
出 席 者 (相手方) 札幌市都市局長ほか
(協 会) 庄司会長、柳館副会長、松田業務・技術委員長、山田札幌支部事務局長
要望項目 下記のとおり

【共同要望項目】

- ① 建築物の設計・工事監理業務及び耐震診断・耐震改修に係る業務の発注に際しては、建築士法の規定に基づき、国土交通大臣が定めた業務報酬基準（告示 98 号及び告示 670 号）に準拠のうえ、業務委託内容を明確化した契約を行い、追加的な業務が発生した場合は適正な経費の積み上げがなされるよう強く要望します。
- ② 建築物の設計・工事監理業務の設計者選定に際しては、品確法等の趣旨に則り、建築物の規模や特性等に応じ技術的能力、提案内容、実績などを参考に、入札方式によらず、プロポーザル方式、設計競技方式、資質評価方式などを採用し、その際価格による評価をしないよう、もしくはその比重を極力抑えるよう要望いたします。
やむを得ず価格競争による入札方式で設計者の選定をする場合は、適正な価格による「最低制限価格」の設定・引上げ等を実施されますよう強く要望いたします。
- ③ 建築物の設計・工事監理業務の設計者選定に際しては、建築士事務所の賠償責任保険への加入を条件としていただくよう要望いたします。
- ④ 建築物の設計・工事監理業務の設計者の選定に際しては、プロポーザル方式や総合評価方式等における評価基準として、品質確保の観点から「建築 CPD 情報提供制度」の実績を活用していただくよう要望いたします。

【北海道単独要望】

- (開発局) ① 国土交通省電子入札システムの運用時間を拡大していただきたい。
(北海道) ① 最低制限価格の設定範囲を予定価格の90%以上に引き上げていただきたい。
(札幌市) 上記①に同じ

4 自由民主党北海道支部連合会との懇談

日 時 令和元年10月9日(水)10:00～

場 所 北海道議会1F「第2委員会室」

出席者 (相手方) 自民党道連中司哲雄政務調査会長ほか

(協 会) 庄司会長、柳館副会長、松田業務・技術委員長、中川事務局長

【自民党への要望】

① 業務量の確保と事業の平準化

建築設計業の持続的な発展が図られるよう、安定的な公共工事業量及び設計委託事業量確保するとともに、働き方改革が求められる今日、所員の労働環境を改善するためにも事業量の平準化に取り組んでいただきたい。

② 設計と工事監理の一体的発注

公共建築工事における建築工事監理業務の委託については、その第三者性を確保するため、建築物の設計を行った設計事務所と異なる設計事務所に工事監理が委託されています。しかし、設計内容を最も熟知しているのは設計を行った設計者であり、これを正確に施工者に伝えるためには、設計と工事監理の一体的発注が最も効果的であることから、工事監理の発注にあたっては、設計との一体的発注に配慮していただきたい。

③ 管理研修会の義務化

建築士法第27条の2第7項で規程されている「建築士事務所の開設者に対する建築士事務所の業務の運営に関する研修について、受講を義務化するとともに、建築士事務所登録（更新を含む。）の要件にしていきたい。



「頭と尾」

山田 良

札幌市立大学デザイン学部教授

39回目の北海道建築作品発表会も多くのおもしろい作品が並んだ。本稿ではその中でも「動物の住み心地」を探求した円山動物園の2作品を取り上げさせて頂きたい。今回同時に動物園内の建築2件が登録された。札幌市民に愛され続ける動物園内からの作品の登壇により、発表会全体の魅力とオリジナリティ増幅に繋がったことは間違いないと思う。また筆者も息子らと施設を訪問し味わった一市民である。

「円山動物園 ゾウ舎／建築設計：株式会社大建設設計、設備設計：ビーゴーイング」

市民が待ち焦がれていたゾウの再来である。ゾウがいきいきと過ごす環境づくりについては設計者が触れている。ゾウの園舎は、そう「ゾウのた

めの建築」であり、建築の優先機能にゾウの過ごしやすさを置く。あらためて建築の役割が人のためだけではないことにも気付かされる。動物のための名建築としてリュベトキン+アラップ設計による「ペンギンプール」(ロンドン動物園、1932)を思い浮かべる人も多いかと思う。人のための合理でないことが、むしろ建築提案の可能性を広げることにも繋がることを認識させる。ゾウの歩き回る動作と平面形状を重ね合わせ、動物の歩みに沿う「行き止まりのない曲面」に新しさと可能性を感じた。

「円山動物園 ホッキョクグマ館／建築設計：株式会社大建設設計、設備設計：山道設備設計」

訪問したホッキョクグマ館は、いろいろな方向



南西側からの俯瞰。国内最大級の放飼場面積。ゾウが群れて動きやすい、行き止まりのない曲面で囲まれた形状



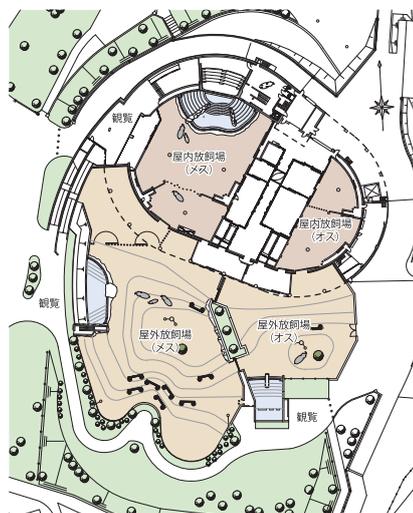
冬期間もゾウを群れて飼育できるように、様々な工夫を凝らしている。



ゾウの実物大模型を見ながら周囲の説明展示を見る



ゾウの匂いや空気感を感じながらベンチでゆっくり観覧



1階平面図・配置図



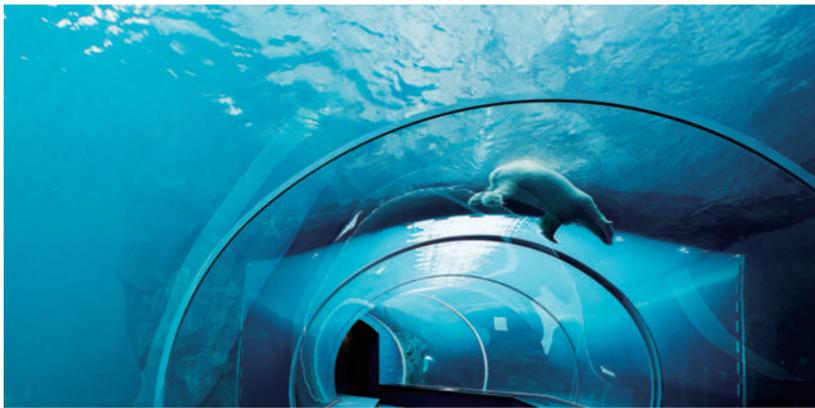
北東側からの俯瞰。飼育エリアと観覧エリア交錯する建物形状



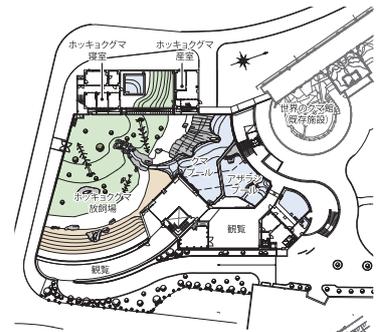
観覧窓横の壁に設置した展示で
ホッキョクグマを知る



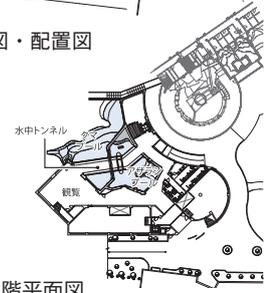
半水位部分で水中・陸上のホッキョク
グマを見る。



水中トンネルからホッキョクグマを見上げる。トンネル奥側はアザラシプールとなる。



2階平面図・配置図



1階平面図

からアプローチ可能であった。周遊する動物園内に適した動線計画になっていて、学習のための順路はありながらも来館者に方向性を強いていない。「動物がのびのびと過ごす」ための役割は前者のゾウ舎と共通である。敷地のレベル差を生かしながら起伏のある飼育場と深いプールがホッキョクグマのダイナミックな動きを誘っている(筆者にはそう見える)。本来は捕食・被食の関係にあるホッキョクグマとアザラシのフィールドが併設され、北極圏の動物を同時に観察することができる。実際に歩くと、自然と階を超える動線計画となっていて、ホッキョクグマだけでなく動物園全体の風景や散策する人々を眺めながら再度観覧に引き込まれる。水中トンネルでは人とホッキョクグマの「見る・見られる」の関係が逆転しているようでもあり、ホッキョクグマの住まいの隙間に人が入り込むような感覚を持った。

『頭と尾』アルヴァー・アールト／マイレア邸

A. アールトの代表作のひとつである「マイレア邸」(1939 竣工)では、アールトがモチーフにしていた「頭と尾」のデザイン手法を見ることができる※。アールトの他の建築作品でも見ることができる手法であるが、マイレア邸ではアトリエ

が「頭」、サウナ小屋が「尾」として配置されている。また、頭に当たる部分から尾へ向かい高さも徐々に低くなり、断面的にも頭と尾と見て捉えることができるものである。上述2作品、特に平面図をこの「頭と尾」のモチーフを思い浮かべながらゆっくりと拝見した。

「ゾウ舎」「ホッキョクグマ館」は、群れのゾウの歩き回りから導いた曲線、ホッキョクグマがのびのびと過ごすための空間をもとに実現された。平面の形状は、誤解を恐れずに言えば建築設計者が問われることの多い「意匠の必然性」から解放されているようでもある。頭と尻尾の手法は偶然にも動物に例えた解釈となるが、実は「動物のための」空間にも援用可能なのかもしれない。この2作品のどこが頭で尻尾に見えるかは人それぞれ、皆さんに委ねるとして、2作品の平面図を示しながら「何に見えますか？」と来館した子供たちに聞いてみたい。「建築の平面図が何か生き物のように見える」なる魅力的な捉えと観点がそういえばあったなと思い出し、本稿のタイトルにしたのである。

※参考文献：松本淳(2009)「ヘヴンリーハウス—20世紀名作住宅をめぐる旅4 マイレア邸／アルヴァー・アールト」東京書籍

新入会員の紹介（平成30年12月～令和元年11月）

支部名	名 称	代表者又は開設者	所 在 地	電 話	FAX
札幌	三和航測(株)	大西 錦城	〒003-0026 札幌市白石区本通 12 丁目南 5-18 プレスタール 301	011-598-8375	011-598-8376
札幌	(株)IC 技術コンサルタント 一級建築士事務所	横須賀英司	〒060-0032 札幌市中央区北 2 条東 12 丁目 98 番地 42	011-205-0390	011-205-0393
札幌	(株)アルファ水工 コンサルタンツ	川森 晃	〒063-0829 札幌市西区発寒 9 条 14 丁目 516 番 336 号	011-662-3331	011-662-3408
札幌	ライフサポート札幌(株)	相馬 康志	〒062-0933 札幌市豊平区平岸 3 条 5 丁目 4 番 22 号 平岸グランドビル 1 階	011-815-2255	011-815-1833
札幌	GLA	高野 現太	〒006-0006 札幌市手稲区西宮の沢 6 条 1 丁目 13 番 10 号	090-6697-3896	-
札幌	(株)広瀬技建札幌支店	廣瀬 真生	〒001-0024 札幌市北区北 24 条西 19 丁目 5 番 12 号	011-792-0680	011-792-0681
札幌	ユーアンドエー(株)	宇野 直樹	〒065-0021 札幌市東区北 21 条東 2 丁目 2 番 12 号	011-711-2841	011-711-2842
札幌	(株)リーベンホーム 建築士事務所	野村 幸宏	〒002-8054 札幌市北区篠路町拓北 2 番地 27	011-699-5291	011-699-5294
札幌	ルミナス技術 コンサルタント(株)	山本 哲	〒001-0030 札幌市北区北 30 条西 11 丁目 3 番 11 号	011-374-8479	011-594-8697
札幌	(株)FP コーポレーション	前川 康雄	〒007-0842 札幌市東区北 42 条東 15 丁目 1 番 1 号	011-751-5339	011-751-5319
札幌	(株)K-ATELIER	辻 和永	〒064-0946 札幌市中央区双子山 3 丁目 3-26	011-624-6268	011-624-6267
札幌	(株)TYT 工房建築士事務所	金家 保治	〒062-0937 札幌市豊平区平岸 7 条 18 丁目 4 番 24 号	011-826-6232	011-826-6344
札幌	(株)Bplanning	馬場 正敏	〒003-0029 札幌市白石区平和通 9 丁目北 16 番 20 号	011-863-2766	011-863-2766
札幌	成田建築設計室	成田 仁志	〒062-0054 札幌市豊平区月寒東 4 条 9 丁目 10 番 8 号 302	011-853-2852	011-853-2852
札幌	(株)クローバー	滝川 孝明	〒002-0865 札幌市北区屯田町 1027 番地	011-299-7751	011-299-7741
札幌	(有)なごみ地所	竹原 正年	〒066-0062 千歳市千代田町 2 丁目 15 番地 MARU A ビル 3 階	0123-25-8030	0120-24-8032
札幌	高桑建築設計	高桑 章朗	〒063-0036 札幌市西区西野 6 条 4 丁目 7 番 16 号	080-4047-0776	-
札幌	(株)Sin 建築工房	佐々木信一	〒062-0934 札幌市豊平区平岸 4 条 18 丁目 1 番 53-307	011-812-0266	011-812-0254

支部名	名 称	代表者又は開設者	所 在 地	電 話	FAX
小樽	(株)伴設備	伴 一夫	〒047-0031 小樽市色内1丁目12番21号	0134-32-3255	0134-32-4880
空知	むらかみ建設(株)	木村 恒夫	〒079-1101 赤平市共和町199番地	0125-32-2146	0125-32-2288
旭川	(株)大東建築設計事務所	佐藤 隆政	〒071-1423 上川郡東川町東町3丁目6番13号	0166-33-5588	0166-22-3120
留萌	大場建築設計事務所	大場 久基	〒078-4103 苫前郡羽幌町南3条3丁目4番地	0164-62-5438	0164-62-5438
留萌	(有)本堂建設建築士事務所	本堂 克仁	〒078-4431 苫前郡初山別村字豊岬213番地	0164-67-2321	0164-67-2197
室蘭	(株)壮匠建設	加藤 靖将	〒052-0101 有珠郡壮瞥町字滝之町229番地	0142-66-2304	0142-66-2384
室蘭	(株)渡辺工務店 二級建築士事務所	齋藤 竜次	〒050-0074 室蘭市中島町2丁目10-7	0143-83-7639	0143-83-7663
室蘭	(株)出田建設建築士事務所	下元 修	〒052-0112 有珠郡壮瞥町字久保内47番地	0142-66-6011	0142-66-6012
室蘭	(有)コバケンホーム 二級建築士事務所	久保 博一	〒052-0014 伊達市舟岡町187番地62	0142-23-5203	0142-22-1632
苫小牧	(株)自由工房 一級建築士事務所	園部 敏行	〒059-1951 勇払郡安平町追分若草1丁目75番地2	0145-29-7737	0145-29-7761
苫小牧	(株)オガサワラ	小笠原國廣	〒053-0823 苫小牧市柏木町6丁目16番10号	0144-72-7873	0144-74-9884
十勝	(株)エーアイホームズ 一級建築士事務所	岡田 英樹	〒080-0803 帯広市東3条南10丁目4番地	0155-20-5533	0155-20-5566
十勝	Einbuild(株) 建築設計事務所	嶋 大輔	〒080-0862 帯広市南の森西7丁目10番6号	080-1862-6959	0155-67-1985
十勝	(株)建築工房	矢野 博	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目19番地11	0155-67-0020	0155-67-0030
十勝	(有)ウッドライフ	富原 利光	〒080-0027 帯広市西17条南4丁目50番16号	0155-33-3888	0155-33-1133
十勝	(株)プラスワイド PW Design	清水 英貴	〒080-2469 帯広市西19条南3丁目4番地12 レインボーヴィレッジ2F	0155-67-5412	0155-67-5412
十勝	K's arc	美濃 和弥	〒080-0014 帯広市西4条南33丁目14番地 Road & Sky I 105	090-6993-2401	0155-29-2265
釧路	北一建築(株)	北島 幹久	〒085-0847 釧路市大町1丁目1番13号 大町第二水産ビル	0154-68-5631	0154-68-5632
釧路	(株)畑中産業 建築設計事務所	畑中 光文	〒088-3215 川上郡弟子屈町美里2丁目9番3号	015-482-3352	015-482-5156
釧路	丸善木材(株) 一級建築士事務所	鈴木 一浩	〒088-0626 釧路郡釧路町桂4丁目15番地	0154-37-1561	0154-36-3834

令和元年度 一般社団法人北海道建築士事務所協会 名簿

役員

役職名	氏名	所属
会長	庄司 雅美	(株)ホクテイ建築事務所
副会長	柳館 直人	(株)ドーコン
〃	川幡 宏一	(株)総合開発設計
〃	中島 勉	(株)中島設計コンサルタント
〃	中野 隆二	(有)フォルムデザイン
〃	松見 修二	(株)北匠建築設計事務所
〃	重綱 博美	(株)Fan 建築設計
〃	三浦 啓	三浦建築設計事務所
〃	笹木 勇一	(株)清和設計事務所
専務理事	中川 國義	(一社)北海道建築士事務所協会
理事	木谷 靖孫	(株)北海道日建設計
〃	相良 敬治	(株)さがら設計事務所
〃	中原 隆一	(株)札幌日総建
〃	奈良 顕子	(有)奈良建築環境設計室
〃	藤原 昇悟	(株)中山設計事務所
〃	松田 真人	(株)都市設計研究所
〃	三栖 博	(株)アトリエブク
〃	大古 正平	(有)オオフル建築設計事務所

役職名	氏名	所属
理事	榊 政信	北の杜合同会社建築設計事務所
〃	中田 信広	(株)中田建築設計
〃	柴野 修一	(株)柴滝建築設計事務所
〃	大野真一郎	大野土建(株)
〃	原田 欣典	興北建設(株)
〃	阿部 裕	(有)阿部設計事務所
〃	土屋善治郎	土屋工業(株)
〃	栞原 一夫	(有)栞原測量設計事務所
〃	菅 俊治	(株)菅設計企画
〃	本田不二夫	(有)本田建築事務所
〃	木原 宗孝	エーシー企画
〃	太田 豊	(株)創造設計舎
〃	高橋 正明	(有)タカ・アーキテック一級建築士事務所
〃	志田 純司	第一宅建設計(株)
監事	福本 雅之	(株)福本構造設計
〃	寺西 政二	(有)設計同人アルファ
〃	鈴木 貞司	新田・鈴木法律事務所

支部長

支部名	氏名	所属
札幌	柳館 直人	(株)ドーコン
函館	松見 修二	(株)北匠建築設計事務所
桧山	大古 正平	(有)オオフル建築設計事務所
後志	榊 政信	北の杜合同会社建築設計事務所
小樽	中野 隆二	(有)フォルムデザイン
空知	中田 信広	(株)中田建築設計
旭川	重綱 博美	(株)Fan 建築設計
名寄	大野真一郎	大野土建(株)
留萌	原田 欣典	興北建設(株)
宗谷	阿部 裕	(有)阿部設計事務所

支部名	氏名	所属
網走	土屋善治郎	土屋工業(株)
北見	笹木 勇一	(株)清和設計事務所
紋別	栞原 一夫	(有)栞原測量設計事務所
室蘭	菅 俊治	(株)菅設計企画
苫小牧	本田不二夫	(有)本田建築事務所
日高	木原 宗孝	エーシー企画
十勝	太田 豊	(株)創造設計舎
釧路	三浦 啓	三浦建築設計事務所
根室	志田 純司	第一宅建設計(株)

委 員 会

総務委員会

役職	氏名	所 属
担当副会長	川幡 宏一	(株)総合開発設計
委員長	相良 敬治	(株)さがら設計事務所
副委員長	田所 裕司	(株)アクティ建築設計
〃	本久 公洋	(株)M・A設計工房
委員	金山 研一	(株)福島工務店一級建築士事務所
〃	菊地 峰生	(株)ヤマト建設設計事務所
〃	池本 裕治	空間工房シリウス(有)
〃	神田 光英	(株)神田設計
〃	塩川 顕児	塩川建設(株)

業務・技術委員会

役職	氏名	所 属
担当副会長	重綱 博美	(株)Fan 建築設計
委員長	松田 真人	(株)都市設計研究所
副委員長	遠田 雅宏	(株)浅井建築設計事務所
委員	鈴木 吉嗣	(株)ビーゴーイング
〃	三ツ江元治	一級建築士事務所(株)三ツ江建築測量事務所
〃	亀田 宏	亀田工業一級建築士事務所
〃	柳 雅人	柳雅人建築設計工房
〃	眞壁 喜男	くりえいと創
〃	中川 勝一	(株)エヌ・ケー建築設計室

(設計競技専門委員会)

役職	氏名	所 属
委員長	澤田 貞和	(株)日本工房
委員	小西 彦仁	ヒココニシアーキテクチュア(株)
〃	三ツ江元治	一級建築士事務所(株)三ツ江建築測量事務所

(建築物耐震診断等評価委員会)

役職名	氏名	所 属
委員長	石山 祐二	北海道大学名誉教授
副委員長	遠藤 淳治	(株)あい設計札幌支社 技術顧問
〃	小田 信一	(株)竹中工務店北海道支店 品質部部长付
〃	後藤 隆之	(一社)日本建築構造技術者協会 北海道支部顧問
委員	荒井 一博	魁建築設計事務所 代表
〃	五百蔵健行	(一社)日本建築構造技術者協会 北海道支部元監査役
〃	内山 晴夫	(株)久米設計札幌支社 支社長
〃	久次米 薫	(株)北海道日建設計 構造設計室長
〃	佐々木克也	(株)NTT ファシリティズ北海道 営業部 NTT 営業部門長
〃	城 攻	北海道大学名誉教授
〃	武田 寛	北海道科学大学名誉教授
〃	福井 勉	鹿島建設(株)北海道支店 建築部専任職
〃	真柄 祥吾	北海学園大学工学部 建築学科 教授

広報委員会

役職	氏名	所属
担当副会長	三浦 啓	三浦建築設計事務所
委員長	藤原 昇悟	(株)中山設計事務所
副委員長	蒔田 淳一	(株)白樺設計
委員	宮房 晋矢	(有)ハース設計一級建築士事務所
〃	西島 弘志	(有)西島設計
〃	徳留 裕敏	(有) Rize international
〃	山田 利彦	(株)ひのき
〃	佐藤 徳文	(有)さとう建築デザイン室
〃	高橋 成造	高橋建築設計事務所

教育・情報委員会

役職	氏名	所属
担当副会長	松見 修二	(株)北匠建築設計事務所
委員長	中原 隆一	(株)札幌日総建
副委員長	中藪 則喜	(株)中藪建築工房
委員	小倉 治郎	(株)二葉設計事務所
〃	佐藤 裕	エスワークス建築設計事務所
〃	中原 茂人	(株)渡辺建築設計 苫小牧本社
〃	柴田 茂嘉	(有)柴田建設一級建築士事務所
〃	小沢 昌博	(株)小澤建設
〃	栞原 一夫	(有)栞原測量設計事務所

指導委員会

役職	氏名	所属
担当副会長	中島 勉	(株)中島設計コンサルタント
委員長	奈良 顕子	(有)奈良建築環境設計室
副委員長	荒川 治通	(株)荒川建築設計事務所
委員	河村 和義	(株)アトリエK
〃	中岡 正憲	(株)アトリエブク
〃	山本 明恵	恵和建築設計事務所
〃	鈴木 貞司	新田・鈴木法律事務所

(建築相談調査委員会)

役職名	氏名	所属
委員長	柳館 直人	(株)ドーコン
副委員長	中島 勉	(株)中島設計コンサルタント
道ブロック委員	中野 隆二	(有)フォルムデザイン
道ブロック委員	松見 修二	(株)北匠建築設計事務所
道ブロック委員	重綱 博美	(株)Fan 建築設計
オホーツク道ブロック委員	笹木 勇一	(株)清和設計事務所
道ブロック委員	三浦 啓	三浦建築設計事務所

倫理委員会

構成委員は5名とし、会長が指名する副会長3名、当該地域の支部長1名、弁護士等の外部委員1名とする。

I T 委員会

役職名	氏名	所属
担当副会長	中野 隆二	(有)フォルムデザイン
委員長	三栖 博	(株)アトリエブク
副委員長	澤田 貞和	(株)日本工房
委員	田所 裕司	(株)アクティ建築設計
〃	石丸 修二	(株)北海道日建設計

青年委員会

役職名	氏名	所属
担当副会長	笹木 勇一	(株)清和設計事務所
委員長	木谷 靖孫	(株)北海道日建設計
副委員長	岡田 幸生	(株)岡田設計
委員	梅原 博大	伊藤組土建(株)一級建築士事務所
〃	金田 貴彦	(株)金田設計
〃	深瀬 正人	須藤建設(株) SUDO 設計
〃	齋藤 弘源	H.S.A
〃	神田 光英	(株)神田設計
〃	石井 孝行	(株)武田建築設計事務所
〃	安原 英司	安原建築設計

A R C

作品集

2 0 1 9

目次 CONTENTS

楽しい煉屋（焼肉店舗） 77



設計
監理 株式会社アキバ設計

施工 笹木産業株式会社

札幌市中央体育館 北ガスアリーナ札幌 46 78



設計
監理 フジタ・北海道日建設計設計共同体

施工 フジタ・岩田地崎建設・田中組特定建設工事共同企業体

北海道銀行名寄支店 79



設計
監理 (株)北海道日建設計

施工 (株)五十嵐組

駒澤大学附属苫小牧高等学校 敬愛寮 80



設計
監理 株式会社 西村建築設計事務所

施工 岩倉建設株式会社

苫小牧市沼ノ端交流センター 81



設計
監理 西村・渡辺共同企業体

施工 盛興・丸彦渡辺・青地・秋村 特定建設工事共同企業体

いせの里保育園・いせの里児童センター 82



設計
監理 株式会社清和設計事務所

施工 丸田・中一特定建設工事共同企業体

北見信用金庫卸町支店..... 83



設計
監理 株式会社清和設計事務所

施工 天内・岡村特定建設共同企業体

創成イーストビル..... 84



設計
監理 株式会社 DESIGN FIELD

施工 株式会社 藤井工務店

楽しい煉屋（焼肉店舗）

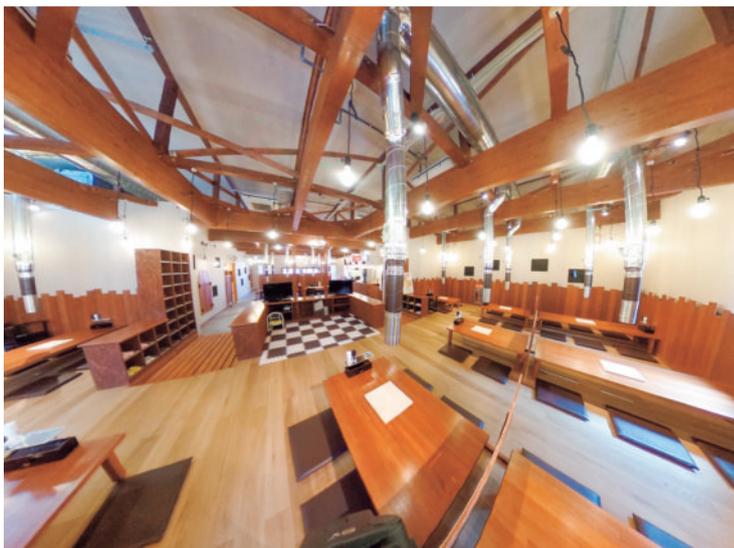
発注者 有限会社岩井畜産
設計監理 株式会社アキバ設計
施工 笹木産業株式会社



外観



テラス席エリア



店舗内部



外観



カウンター席

《建築概要》

建設地 滝川市本町2丁目7-4
規模構造 木造平屋 266.64 m²
用途 飲食店
外部仕上 長尺カラーガルバリウム鋼板瓦棒葺きなど
内部仕上 床防塵塗装・壁天井PB塗装

《設計主旨》

以前営業していた煉瓦倉庫のイメージを基調に幅広い客層の確保が計画と条件だった。
客席に柱・間仕切りを設けず開放感のある店舗空間とした。

札幌市中央体育館 北ガスアリーナ札幌 46

発注者 札幌市（北4東6周辺地区市街地再開発組合）
設計監理 フジタ・北海道日建設計設計共同体
施工 フジタ・岩田地崎建設・田中組特定建設工事共同企業体



《設計概要》

面積 延べ 14,802.08 m²
構造 RC造一部SRC造、S造・地上4階
外観仕上 コンクリート化粧打ち放し（出目地）
工期 平成29年4月～令和元年7月
建設地 北海道札幌市中央区
写真撮影 佐々木育弥

《設計主旨》

旧中央体育館の建替計画。『北4東6周辺地区第一種市街地再開発事業』の一環である。1階に各種競技室群を、2～3階に観覧席、アリーナを配置、各階の面積の差異を逆さ台形状の建物外形として現した。外装は外壁垂直面を現場打ち、傾斜面をハーフPCによるRC化粧打放しとした。幅の異なる化粧型枠を組み合わせた出目地により、コンクリート面に豊かな表情を作り出している。アリーナの架構は張弦梁+片持ち梁によるハイブリッドな鉄骨架構で構成することで大空間にありがちな大断面材ではなく、部材寸法を抑えることが可能となった。傾斜した外壁、ダイナミックな架構、コンクリートのテクスチャによりスポーツ施設としての躍動感や力強さを持つ建築を実現した。
設計担当：佐藤教明 中村友紀 濱口芳郎

北海道銀行名寄支店

発注者 (株)北海道銀行
設計監理 (株)北海道日建設計
施工 (株)五十嵐組



《設計概要》

面積 延べ 199.98㎡
構造 RC造・地上1階
外観仕上 コンクリート化粧打ち放し
工期 平成30年10月～平成31年5月
建設地 北海道名寄市

《設計主旨》

必要な機能を凝縮したコンパクトな銀行支店の新築計画。国道と駅前通りが交差する角地で、隣地は商業施設の駐車場であるため全方向からの見え方に配慮した。四周に開いた外壁面を“顔”と捉え、店舗機能を構成する4つのゾーニングがボリュームとして外観に現れるデザインとした。もっとも人通りの多い国道側には横連窓を設け、通りがかる人も銀行のアクティビティを直に感じられるようにした。外装は名寄の豊かな自然、すなわち山々の起伏や木々の揺らめきをモチーフにし、陰影のある化粧打ち放し仕上げは見る角度の変化や時間の移ろいを捉えた豊かな表情を創出する。地域の社会や風景に根差した銀行店舗を体現した。
設計担当：川東 隆、阿久津翼

駒澤大学附属苫小牧高等学校 敬愛寮

発注者 学校法人 駒澤大学
設計監理 株式会社 西村建築設計事務所
施工 岩倉建設株式会社



女子ダイニングホール



女子ラウンジ



男子ダイニングホール



男子ラウンジ

《設計概要》

面積 延べ 2,820.95 m²
構造 RC造・地上4階
外観仕上 磁器質45二丁掛タイル他
工期 平成30年3月～平成31年1月
建設地 北海道苫小牧市明野新町6丁目35番1、2、3
設備業者 電気設備 株式会社 錦戸電気
空調・衛生設備 株式会社 進興工業

《設計主旨》

本建物は、全国から多くの生徒が入学する駒苦高校の新たな生徒寮として、女子寮と男子寮を合築した建物として計画。中央に男女双方へ供給・利用できる厨房・縦動線と管理エリアを集約し、その左右に男子棟と女子棟を接続することで、

合築による面積の縮減と男女間の明確な管理区画を図った。

また、アプローチ・駐車場が見渡せる宿直室に加え、防犯カメラ・居室のキーレックス錠や建物への出入は静脈認証による最新のセキュリティシステムを導入など、高度な防犯性により生徒の安全と保護者への安心感を実現。2階から4階の居室エリアは、中心に男女の水廻りと階段を集約することで、利用動線の短縮と設備コスト縮減や維持管理に配慮。また、セミパブリックスペースとして、各階に生徒間のコミュニケーションを促すラウンジスペースを設け、日常生活にゆとりを与える設えとした。

内装計画においては、一般的な寮のイメージに囚われず、カフェやホテルを意識したインテリアとし、快適で豊かな生活が送れるように、潤いのある空間デザインとした。

設計担当：高橋嘉宏、岡部宏祐

苫小牧市沼ノ端交流センター

発注者 苫小牧市
設計監理 西村・渡辺 共同企業体
施工 盛興・丸彦渡辺・青地・秋村 特定建設工事共同企業体



外観全景



多目的ホール

《設計概要》

面積 延べ 2,402.00 m²
構造 RC造・地上1階
外観仕上 磁器質ポードータイル他
工期 平成29年9月～平成30年9月
建設地 北海道苫小牧市北栄町3-3-3
設備業者 電気設備 錦戸・西川・山西 特定建設工事共同企業体
空調・衛生設備 進興・東成・新王 特定建設工事共同企業体

《設計主旨》

本建物は、苫小牧市において今なお発展を続けている沼ノ端東部地区の拠点施設として児童センター・集会場のほか行政窓口や多目的スペースの機能を兼ね備えた複合施設として計画。

図書コーナーや調理室を内包した、ガラス張りのシンボリックな楕円ホールを中心に、児童センターと集会場を左右に配した明快な建物構成とした。複合化のメリットである、各々の施設の積極的な相互利用を促すため、利便性の良い動線計画と容易な管理区画により、稼働率の向上と安心して施設を利用できる安全性の確保に努めた。また、屋外空間においても地域が自由に行き来する広場と児童センターの子どもが利用する広場を緩やかに分離することで安全に活動できる屋外空間とした。

ガラス張りの開放的なホールが地域コミュニティの新しい風景となり、幼児から高齢者まで多世代が「遊び」「学び」「集い」そして「つながる」。生きがいと賑わいが交流を創出し、多様化する市民の生活・文化・学習・子育てなどの活動を柔軟にサポートする施設づくりを目指した。

設計担当：高橋嘉宏、茅森 昭

いせの里保育園・いせの里児童センター

発注者 社会福祉法人網走愛育会
 設計監理 株式会社清和設計事務所
 施工 丸田・中一特定建設工事共同企業体



体育館



外観



多目的ホール

《設計概要》

面積 延べ 1,752.86 m²
 構造 RC造・地上2階・地下0階
 外観仕上 コンクリート打放し補修の上、浸透性着色クリア塗装

工期 平成30年6月～平成31年2月
 建設地 北海道網走市北10条西4丁目14-4、北11条西4丁目1-4の内、1-5の内、北12条西2丁目2-29の内

設備業者 電気設備：株式会社道北電気
 機械設備：株式会社そうけん

《設計主旨》

網走市は老朽化が進んだ保育園数園と児童館を統合し、移転改築することを決定。公募型プロポーザルにより、社会福祉法人網走愛育会が施設整備と運営を行うこととなった。

基本的な階構成は1階を保育園、2階を児童館とし、エントランス前のポーチから各々のエントランスへアクセスする明解なゾーニングとした。

外観は児童館を併設していることから、公共施設的な落ち着いたデザインとした。

体育館は1階に設け、独立したエントランスを設けるなど、保育園、児童館からの利用はもちろん、施設管理の区画を考慮し、夜間開放なども可能な設えとした。

保育園は腰に羽目板貼を用い温かみのある空間とし、児童館はエントランスを入ってすぐに多目的ホールを設け、明るく楽しい設えとし、子供たちの笑顔が見える施設造りを目指した。設計担当・笹木勇一、笹木圭輔

北見信用金庫卸町支店

発注者 北見信用金庫
設計監理 株式会社清和設計事務所
施工 天内・岡村特定建設共同企業体



外観



内観



内観

《設計概要》

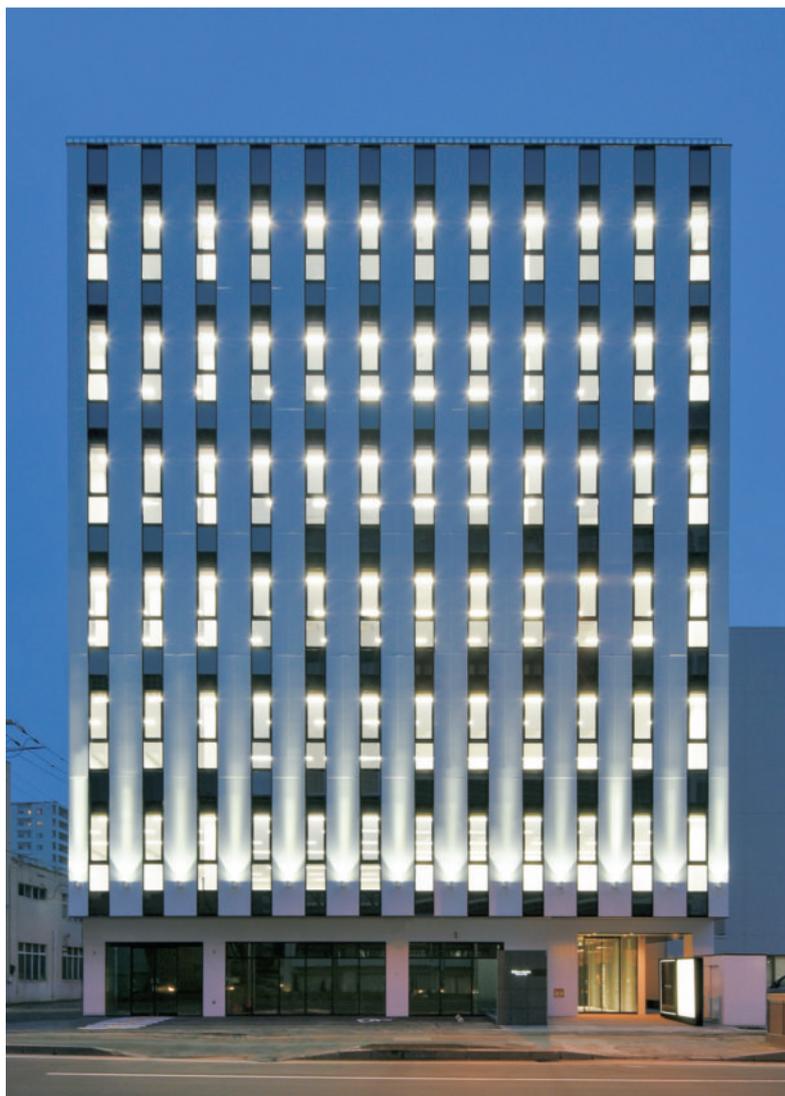
面積 延べ740.44 m²
構造 S造・地上2階・地下0階
外観仕上 押出成形セメント板 アクリルシリコン塗装、50角タイル貼
工期 平成31年4月～令和1年10月
建設地 北海道北見市卸町1丁目1-7
設備業者 電気設備：エスケー電気株式会社
機械設備：天内工業株式会社

《設計主旨》

新店舗は30～40年経過した北見信用金庫の卸町支店と若葉支店を統合し、夕陽ヶ丘通り沿いに駐車台数30台を確保し、新店舗を建設した。
外観は北見市駅前のシンボルとなっている本店のイメージを基に、どこからでも北見信金の店舗とわかるデザインとした。
店内は相談や融資のブースを含め、7箇所のカウンター窓口を備え、3台のATM設置など、従来の店舗のほぼ2倍の規模とした。
ゆったりとして木の温もりが感じられ、入りやすい永く地域に愛される店舗となる事を目指した。
設計担当・笹木勇一

創成イーストビル

設計監理 株式会社 DESIGN FIELD
施 工 株式会社 藤井工務店



外観（正面・夜景）



1階 ホール



2～7階 オフィス



ポーチ（夜景）

《設計概要》

面積 延べ 3,525.36 m²
構造 鉄骨造 一部RC造 地下1階／地上7階
外観仕上 押出成形セメント板
工期 平成30年2月～平成31年3月
建設地 札幌市中央区南1条東3丁目12-4、-5、-6

《設計主旨》

本建物は創成川東地区に位置し、今後地区開発により発展していく地域であることを考慮したオフィスビルを設計した。

外観にはガラススリットをリズムカルに配置し賑やかさを演出しつつ、白と黒を基調とし景観に馴染むシンプルなデザインとした。夜間のライトアップでは、より一層空間に溶け込み、夜空に浮かび上がるような雰囲気仕上を仕上げた。

内部の2階～7階はオフィス用の入居スペースになっており、約15mスパンを無柱にすることでフレキシブルな空間にした。また、1階にはコンビニエンスストアを併設し、オフィスとビル内部で繋がっているため便利に利用できる。

地下には24台分の機械式駐車場を設置し、必要台数を確保した。

総じて、ビルで働く人、地域の人々、それぞれにとって居心地よく利用しやすいビルを目指した設計である。

設計担当・神田雅章

豊かな技術で 未来を創造する



三谷セキサン株式会社

福井本社 / 福井市豊島1丁目3番1号

TEL(0776)20-3333(代)

札幌支店 / 札幌市中央区南1条東1-3(パークイースト札幌8F) TEL(011)206-7771(代)

<http://www.m-sekisan.co.jp/>

電気設備工事一式設計・施工



北電工業株式会社

代表取締役 新妻 繁 市

釧路市柳町9番20号 電話(0154)22-0204

URL <http://www.hokuden.com/>

様々なシーンに確実に応える、東翔の地盤改良工法

www.tousho-jp.com

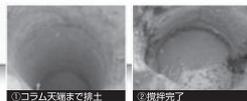
S-Maxコラム工法

垂直反復攪拌 深層混合処理工法 GBRC第12-27号

2014年6月 性能証明追加取得 φ1,300まで施工可能に!

上下攪拌による均一な
高強度の改良コラムを築造

- 1 TSヘッドの使用により垂直攪拌性能大幅アップ
- 2 改良体の可視施工による確実な改良施工
- 3 全長垂直攪拌により改良体強度の均質施工
- 4 TSヘッドによる改良不適土の排除及び良質土への置換施工
- 5 未固結改良体の品質管理に電気比抵抗試験を導入



独自開発せん断スパイラルヘッド(TSヘッド)



ブロック状改良で施工費の削減

- 1 ブロック状に改良するので施工効率アップ
- 2 支持層・改良土質が目視確認でき、確実な施工が可能
- 3 ライジングテスターによる確かな品質管理
- 4 改良体寸法0.7m以上~5.0m以下

ロータリー A 型

ブロック状混合処理工法 ライジングW工法

スケルトン A 型

TOUSHO 株式会社 東 翔

札幌本社 〒007-0928 札幌市東区東雁来8条2丁目1番45号
TEL.011-790-5858 FAX.011-790-5392
函館営業所 〒040-0076 函館市浅野町4番8号
TEL.0138-42-0077 FAX.0138-42-0028

仙台営業所 〒981-1106 宮城県仙台市太白区柳生2丁目5番1号
TEL.022-797-9530 FAX.022-797-9531

確かな技術と情熱で お客様の暮らしに貢献する



1951年創業

株式会社

奥原商会



設備工事関連事業:空調設備・衛生設備・冷暖房設備・消火設備・厨房設備・温風暖房機

産業機械関連事業

自動車用品関連事業

本社/工場

帯広市西20条北1丁目3番30号
TEL. 0155-33-3421
FAX.0155-33-3426

情報通信関連事業

ドコモショップとがち店 TEL. 0155-33-2777
帯広市西19条南3丁目54番地1号 FAX.0155-35-3222

設備工事関連事業

情報通信関連事業

産業機械関連事業

自動車用品関連事業

ドコモショップ星が浦店 TEL. 0154-65-6811
釧路市星が浦大通2丁目7番12 FAX.0154-51-6801

STIHL Shop

帯広市西20条北1丁目3番30号 本社敷地内
TEL. 0155-33-3421
FAX.0155-33-3426

釧路営業所

釧路市星が浦大通2丁目7番11号
TEL.0154-55-0510
FAX.0154-55-0511

くらしの安全を支える基礎に。

ビル、住宅、橋梁など、建築物や道路構造物にしっかりとした基礎工事は非常に重要です。

さらに昨今は、地震などの不慮の災害に強いまちづくりが急務。

クローバーシステムは住宅基礎から耐震補強、地盤・地質調査に至るまで、基礎工事の
スペシャル企業です。

経験豊富な営業マンが自慢のネットワークで北海道全域をカバー致します。

私たちにお任せください！



地盤、地質調査・基礎工事各種・LED照明

 **CLOVER SYSTEM CORP.** クローバーシステム株式会社

Sapporo

〒065-0022 札幌市東区北 22 条東 2 丁目 1 番 20 号 ヴィラ・ポレール 1F

TEL:011-741-2687 FAX:011-741-5073

Asahikawa

〒070-0032 旭川市 2 条通 2 丁目 54-1 中根ビル 2F

TEL:0166-23-9680 FAX:0166-23-9681

E-mail:eigy@clover-sys.co.jp http://www.clover-sys.co.jp



北海道アルミ建材工業株式会社

〒053-0055 北海道苫小牧市新明町4丁目21番6号

TEL 0144-55-5161 FAX 0144-55-5284

人と自然との調和を基本に、建設を通して社会の発展に貢献する会社です。



SEIKO

盛興建設株式会社

代表取締役社長 原 広 吉

〒053-0043 苫小牧市日の出町2丁目13番23号

TEL 0144(36)6111 (代) FAX 0144(33)1792

<http://www.seikoh-kk.co.jp>

建築士事務所協会の会員の皆様へ

おすすめ
します!

日事連・
建築士事務所 **賠償責任保険**
〈建築家賠償責任保険〉

Topics

2019年
4月1日保険始期
より

スタート!!

▶ **ネットでお手続き**

保険料試算から申込みまでインターネットで
手続きが完了します。

▶ **弁護士相談^{無料}サービス**

建築士事務所のお悩み解決をサポートします!

<https://njs-ins.com/>

アクセス

中途
加入
受付中

▶ 日事連・建築士事務所 賠償責任保険とは・・・

**団体割引で
加入可能**

(一社)日本建築士
事務所協会連合会
会員のための制度

**発注者から
大きな信頼**

国内建築物の設計・
監理業務を
包括的にカバー

選べる5タイプ

基本補償プランの
支払限度額は
事務所の実態に合わせて
選択可能

**保険料は
損金処理可能**

保険料は経費として
損金処理可能、お支払いは
便利な自動口座引落し

さらに

特約(オプション)で安心をプラス

※会員のみ加入可能、別途特約保険料が必要

- ① 構造設計業務ミスによる「構造基準未達」時の賠償事故を補償
- ② 建築基準法等における「法令基準未達」時の賠償事故を補償
- ③ 建物調査業務(耐震診断等)中の賠償事故を補償

●この広告は、日事連・建築士事務所賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。ご加入(同じ内容で更新する場合を含みます。)にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。「重要事項説明書」には、ご加入または更新される保険の商品内容をご理解いただくために特に重要な情報、および、お客様にとっては不利益となる事項等、特にご注意いただきたい情報を記載しております。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

資料請求、お問い合わせは下記にお申し付けください。

日事連・賠償責任保険 取扱指定代理店

有限会社 日事連サービス

〈幹事引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社〉

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-9-4 東京STビル3階

TEL.03-3552-1077 FAX.03-3552-1066

E-mail : njs@nichijiren-service.com

19-TC00662 2019年5月作成

空間創造建材

イスターカーテン

TOKO
東五シャッター株式会社

北海道地区総代理店
のお問合せは、株式会社 **タカフジ** へ



あけてんで
深呼吸したくなる扉

コーナー柱なしで全開できます

まるで外のような開放感

- CLOSE -

- OPEN -



建物に、常識を超えた開放感をもたらす折りたたみ式扉「あけてんで」。自然の気配を感じながら毎日を通し、豊かな感性を育む空間づくりの新しいスタンダードです。



Open ← Close



Open ← Close



設計から製造・販売・施工まで製販一体の取組み、北海道を地場とした42年の実績でお応えします。

「信頼を築く」

株式会社 タカフジ

営業内容 ● 金属製建具工事 ● 硝子工事 ● イスターカーテン工事

本社・工場

札幌市白石区米里1条3丁目6番8号

〒003-0871 電話代表 (011) 871-0666

FAX (011) 871-0519

E-mail: info@takafujinet.jp

HP: http://www.takafujinet.jp/

釧路営業所

釧路市新栄町13番18号

〒085-0032 電話 (0154) 68-4351

FAX (0154) 68-4352

当社は明治 23 年創業・大正 5 年より北海道にて総合園芸商社として都市緑化の拡大に努めています。

※ 屋内外緑化関係の設計・施工・管理。

※ 樹木・草花・球根・盆栽・プランターなど・資材販売。

○緑化に関するご相談お待ちしております。



ISHIYA 白い恋人パーク 様



壁面緑化設計・施工



札幌時計台特殊剪定



横浜植木株式会社北海道支店

〒003-0029 札幌市白石区平和通 14 丁目北 2 番 16 号 <https://www.yokohamaueki.co.jp>
 TEL 011-862-3561 FAX 011-864-3634



株式会社イーエス・テクノ工業



**創業
経営
必要**

常に創業時の意識を忘れない。
常に経営者意識を持つ。
常に世間から信頼され
必要とされる仕事により継続を計る。

会社概要

会社名	株式会社イーエス・テクノ工業
所在地	〒007-0850 札幌市東区北50条東7丁目4番地13号 電話(011)711-7181 FAX(011)711-7225 ホームページ:http://www.es-techno.jp E-mail:es-techno@mx35.tiki.ne.jp

床埋設式降下型避難機器

UD ESCAPE With

UDエスケープ ウィズ

2020年春発売予定

UDエスケープに
新しい仲間が加わります。



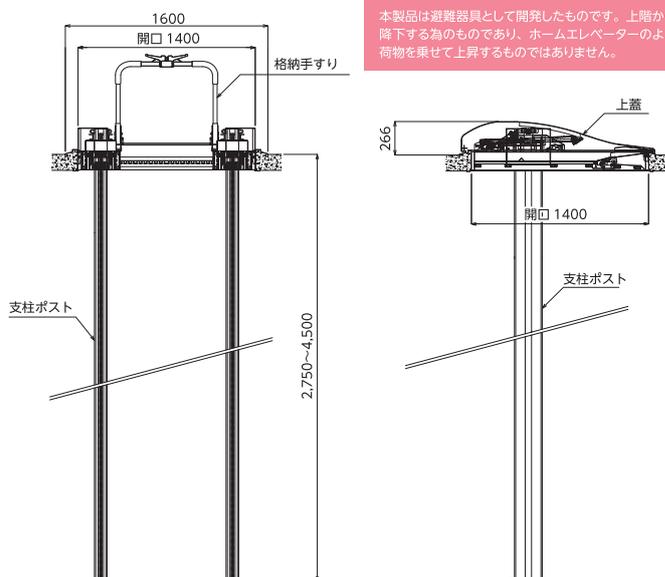
車いす対応 UDエスケープWith

ナカ工業は、降下型避難器具UDエスケープのバリアフリー化をさらに進め、
ついに来春、**車いすも搭乗可能な大型タイプ**が登場。

今までのUDエスケープでは自立歩行できる事を前提としていましたが、新タイプウィズのUDエスケープWithは車いすごと乗り込む事ができ、**手元の操作で降下**を始めます。

本製品はエレベーターではありませんので
ご注意ください。

本製品は避難器具として開発したものです。上階から下階へ
降下する為のものであり、ホームエレベーターのように人や
荷物を乗せて上昇するものではありません。



 **ナカ工業株式会社** <http://www.naka-kogyo.co.jp>

札幌支店 〒063-0836北海道札幌市西区発寒16条13-2-50 Tel.011-662-7611 Fax.011-666-1350

●このカタログの情報は2019年9月現在のものです。商品改良のため、仕様外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。●無断転載を禁じます。

2019年9月 TR-JI

建設分野の新工法・新技術をご提案

防水・防食・外壁改修工事・塗床
スポーツ施設・アスベスト処理
コンクリート構造物補修・補強・耐震

株式会社 アイ・ディー・エフ

私たちアイ・ディー・エフは、防水工事を主とした建物改修の専門会社です。防水の他にも、外壁改修、アスベスト対策等、高度な知識と確かな技術力でお客様のご要望にお応えします。

防水工事

専門システムによる超速硬化ウレタン吹き付け工法は従来のアスファルト防水では施工が難しかった勾配・傾斜部・複雑な形状にも対応し極めて水密性の高い防水膜を形成します。



外壁改修

- ①外壁タイル剥落防止工法、エバーガードSG工法(美しい外壁タイル仕上げを保全する)
- ②外壁タイルの色・柄・艶を忠実に再現する貼り替え工法『クローンタイル』工法
- ③タイルをラディカル・リノベーション、無清掃100年の輝き石材を超えた人造石百年外壁『ハマキャスト仕上+タイル脱落防止工法』

アスベスト対策

老朽化した建物の解体時に必要なアスベスト調査もお任せください。

(株)アイ・ディー・エフは
バレーボールチーム
ヴォレアス北海道を応援しています。



本社

旭川市東鷹栖4線10号3-12
TEL:0166-57-1831 FAX:0166-57-1833

札幌営業所

札幌市東区北20条東2丁目1-23
TEL:011-711-5171 FAX:011-711-5172

<http://www.idf.co.jp>



VOREAS FAMILY

2019-20 season PartnerShip

2019-20シーズンパートナーシップ参加ご案内 (法人様向け)

パートナーシップ入会 24,000円～/年

試合会場でのサンプリング配布やコートサイド・2階席バナー、LEDビジョン広告、会場配布パンフレットに御社ロゴ掲載など他にもご活用いただけるメニューを用意しております。



ヴォレアス北海道と一緒に北海道を盛り上げて楽しもう!

パートナーシップ優待チケット FAXまたはメールで受付可能!

お申込・お問合せはコチラ FAX: 0166-57-8229 Email: info@voreas.jp

三和のBCP対象商品



シャッター開放用電源供給システム

Eコネクト

手動式シャッターの開放や停電時の電動シャッターの開放が管理者様で容易に可能!!

Eco **設置コストを低減**

複数の防火・防煙シャッターの手動による開放作業を電動化。作業効率が大幅にアップ。シャッターごとの一次側電源が不要。電気工事のコスト低減。

Easy **管理者の方が開放可能**

手動式シャッターは点検や検査で一度シャッターを降ろすと、その度にメーカーを呼んで、足場を組んでの作業が必要でした。Eコネクトによりその作業を管理者の方が可能に。

Energy **非常時の電源確保 (BCP 対策)**

管理併用の電動式防火・防煙シャッターでは、災害等により停電が発生しても、バッテリー装置または発電機により手元での電動開放が可能。既設のシャッターにも設置可能。



ウォーターガード 防水シャッター・防水ドア



業界初!! ※1
防水シャッター 特許出願中

防水機能付き電動パネルシャッター。地下鉄や地下街の出入口に最適。

- 管理用シャッターとしても使用可能。
- 浸水高さ最大3mまで対応可能。*2
- (一財)建材試験センターの技術評価を取得。

防水性: 20ℓ/h・m²以下
【実験値】1.7ℓ/h・m²



Wタイトドア 特許出願中

設備室や機械室の出入口に最適。

- 防水・気密・水密性を備えた二重構造。
- 浸水高さ最大3mまで対応可能。
- (一財)建材試験センターの技術評価を取得。

防水性: 20ℓ/h・m²以下
【実験値】片開き: 0.8ℓ/h・m² (水没あり)
両開き: 2.7ℓ/h・m² (水没なし)
7.7ℓ/h・m² (水没あり)

- 浸水高さ最大1mまで対応可能な簡易防水ドア「Sタイトドア」もご用意しています。

※1 防水機能を有するパネル式シャッターは、業界初です。(当社調べ) ※2 開口幅3m以下の場合。

三和シャッター工業株式会社 北海道事業部 011-233-3011

基礎杭の専門メーカーとして、土と地盤の知識と経験を駆使し、
安全性と経済性にすぐれたご提案を迅速に皆様にお届けします



- HY-BSパイル・FP-BESTEX工法
(筋付PHC杭・国土交通大臣認定工法)
- G-ECSパイル工法 北海道地区総代理店
(羽根付鋼管杭・国土交通大臣認定工法)
- HiFB工法
(PHC杭・国土交通大臣認定工法)
- NEWスーパーFK工法
(筋付PHC杭・国土交通大臣認定工法)
- コロンブス工法
(地盤置換工法)

株式会社 北雄産業

<http://www.hokuvuu.com>

本社

北海道札幌市豊平区豊平4条9丁目2番18号
TEL : 011(824)0111 FAX : 011(824)0115

東京営業所・函館営業所・茨城営業所・函館福島工場



美しく住みよい環境を創造る、溶融亜鉛めっき



日本産業規格表示認証取得工場 認証番号TC 01 07 087

日本鍍金工業株式会社
HOT DIP GALVANIZING

めっき槽 L13,000 × W2,100 × D2,700

代表取締役社長 藤岡 義尚

〒063-0833

札幌市西区発寒13条13丁目2番1号

TEL 011-661-2368 FAX 011-665-6006

WEB <http://www.nihonmekki.co.jp/>

E-mail info@nihonmekki.co.jp

豊かな人間環境の創造に貢献

清流 [美々川]

地下水から川が始まり、湿原の中を蛇行し、生き物の宝庫ウトナイ湖につながるこの美々川は、広大な石狩低地帯においても唯一の原始河川として、その美しい姿を残しています。



総合建設コンサルタント

株式会社 ドーコン

URL <http://www.docon.jp>

水性・水系塗料用ダンボール容器
塗装業界のリサイクルに貢献

オミリパック (PAT)

北海道発注塗装工事等における加点评価対象製品



認定・登録・その他

- 北海道リサイクルブランド認定製品
- 北海道グリーン購入特定調達品目指定製品
- グリーンマーク登録製品
- 日本環境協会エコマーク認定塗料入れ容器該当製品

特徴

- 一斗缶同様 現場での一般的段積ができます
- 一斗缶同様 片手で持てます(U-1) (M-1)

用途

- 水性塗料 ● 水系塗料 ● 水系木材保護塗料
- 水系木部用塗料 ● その他水性・水系全般

水性・水系塗料用ダンボール容器 **オミリパック** 情報

北海道建設部> 建築局> 建築保全課営繕工事特記事項、調達方針の記載内容について

環境への配慮

環境物品等の調達

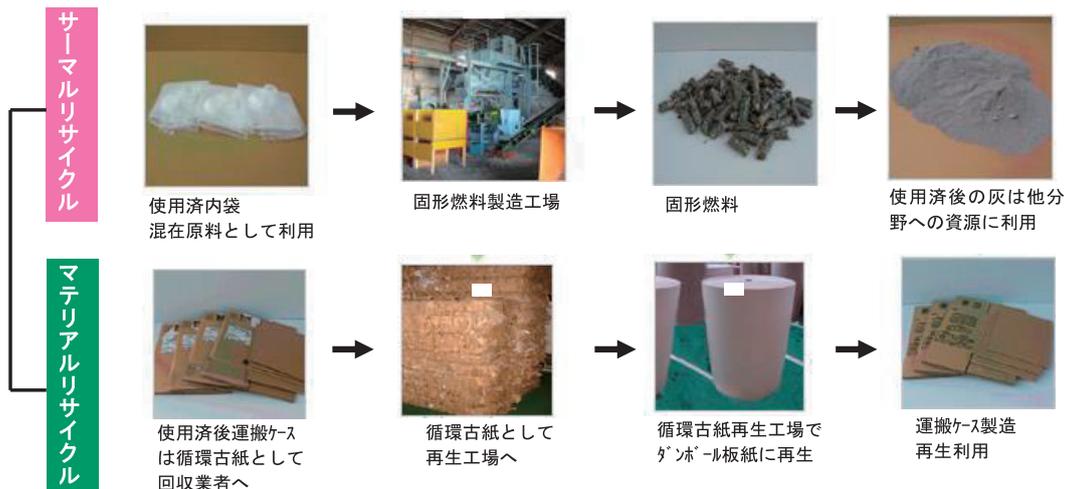
(内容抜粋)

調達方針として資材(材料及び機材を含む)のこん包及び容器は可能な限り簡易であって再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷軽減に配慮したものを積極的に選択・使用するように努めること。

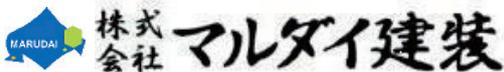
上記、北海道発注塗装工事における1斗缶に替る塗料用容器等の調達方針について

- 工事受注者は容器等を積極的に選択・使用するように努めること。
 - 工事発注者は工事受注者が選択した容器等の確認を積極的に努めなければならない。
- ※ 環境対策として関係法令その他等に基づき発注者及び受注者は、積極的に努めなければならない。

オミリパック 塗装業界のリサイクルに貢献



製造・販売元



〒084-0923 北海道釧路市鶴野東 3-20-26

TEL 0154-51-9284 FAX 0154-52-2211

【Mail】 marudai@abelia.ocn.ne.jp

【URL】 <http://www.omiri.jp/>

当社比較

編集後記

令和最初の「ひろば」をお届けいたします。

5月1日に新天皇がご即位され、新しい令和の時代がスタートしました。皆様も新しい時代を清々しい気持ちで迎えられたことと思います。

これで私の生まれた昭和は2つ前の元号になり、自分に置き換えると「明治」ということになってしまいました。

この明治という時代、またそこに生きた人々については、例えば司馬遼太郎が「坂の上の雲」の登場人物で描いたような真っ直ぐな気概で真面目、勤勉なイメージを抱かれることが多いのではないのでしょうか。

同じように、これから生まれてくる令和の若者たちの目には私が遊び、学び、社会への一步を踏み出した昭和という時代、人はどのように映るのでしょうか。気になるところです。

ところで、「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。

平成が令和になっても急に世の中が変わるわけではないでしょうが、ぜひとも元号に込められた願いのように、良い方向に変わってほしいものですね。

新しい時代になっても会員の皆様が益々ご発展されますことを～私も含めさせていただいて～お祈り申し上げます。

最後になりますが、事務局の皆様をはじめたくさんの方々のおかげで本号も無事発行することができました。感謝しております。誠にありがとうございました。

(広報委員会委員 宮房晋矢)

一般社団法人 北海道建築士事務所協会 ひろば No.92 / ARC 2019 No.52 建築作品集

発行 令和元年12月

発行人 専務理事 中川 國義

編集人 広報委員会

担当副会長 三浦 啓

委員長 藤原 昇悟

副委員長 蒔田 淳一

委員 宮房 晋矢 西島 弘志

徳留 裕敏 山田 利彦

佐藤 徳文 高橋 成造

事務局 佐藤ひとみ

発行所 一般社団法人北海道建築士事務所協会

会長 庄司 雅美

〒060-0042

札幌市中央区大通西5丁目11番地

大五ビル6F

TEL : 011-231-3165

FAX : 011-241-1517

HP <http://www.do-kjk.or.jp>

E-mail hokkaido@do-kjk.or.jp

印刷 株式会社アイワード

上士幌町生涯学習センター わっか

上士幌町生涯学習センター わっか は、「まちが 町民が 元気になる 集いや出会いにあふれる ふれあいの場」を基本コンセプトに、町内に分散していた機能の異なる公共施設を統合することにより、サークル活動に来たお年寄りや図書館に来た親子、学童保育所に通う小学生など様々な世代や目的を持った利用者が集い、新たなふれあいが生まれる施設として建設いたしました。

開館以来、子どもたちやお年寄りの会話や笑い声が館内にあふれ、世代間交流の場として機能していることを実感しているところです。理想とする施設の実現のために、設計者、施工者を始めとして本施設の建設にご尽力いただきました皆様方に心より感謝申し上げますとともに、これからも、生涯学習によるまちづくりの拠点施設としての役割が十分果たせるよう、町民が利用しやすい施設づくりを目指していく所存でございます。

上士幌町長 竹中 貢



一般社団法人 北海道建築士事務所協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目・大五ビル6F TEL:011-231-3165 FAX:011-241-1517
<http://www.do-kjk.or.jp> E-mail:hokkaido@do-kjk.or.jp